MICROLINE 5350SE ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

水平インサータプリンタ
MICROLINE 5350SE

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

はじめに

このたびは､沖データのMICROLINE 5350SEをお買い求めいただきまして､誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 5350SEの操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
この装置にオプションを使用した場合の適合レベルは、以下のとおりです。
オプション　カットシートフィーダ　クラスB　正規

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社 沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。

（1） 本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
（2） 本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
（3） 当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。
お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。
5. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
（1） 本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
（2） 本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。
（3） 第三者の権利を侵害していないこと。
（4） 特定の目的に適合していること。
またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

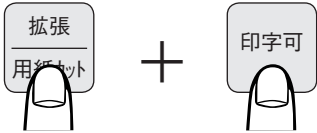
商標について

各会社名、製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の略語について

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5350SE → ML5350SE
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版)※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版)※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Microsoft® Windows® operating system Version3.1 日本語版 → Windows3.1
- Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows 95、Windows2000、WindowsNT4.0、Windows3.1 の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2003、WindowsXP には 64bit 版も含みます。

マニュアルの版権について

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の6つの構成になっています。

第1章〜第3章	ご使用上の注意、プリンタの設置からテスト印刷、ホストコンピュータとの接続について説明しています。プリンタの基本的な使い方がわかります。
第4章〜第5章	いろいろな用紙の印刷のしかたと、知っていると便利ないろいろな機能について説明しています。
第6章	オプション品の取り付けから操作方法、使用方法について説明しています。
第7章	リボンカートリッジの交換方法、困ったときの処置方法について説明しています。
第8章	プリンタおよびカットシートフィーダの清掃のしかたについて説明しています。
付録	このプリンタの仕様、文字コード表、制御コードの一覧表、アフターサービスについて説明しています。

図の表記のしかた

印字可	「印字可」スイッチを押します。
拡張／用紙カット ＋ 印字可	「拡張／用紙カット」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。

本書での説明のマーク

注	プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。 誤った操作をしないため、必ずお読みください。
参考	プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。 お読みになることをおすすめします。

安全上の注意、表示の説明が別途ｉページに記載してありますので、お読みください。

目　次

1　ご使用前に必ずお読みください

MICROLINE 5350SEの特長

◎連続紙が1枚目から無駄なく印刷できます

印字範囲がとても広く（用紙の端から6.35mmまで印字可能）、連続紙でも1枚目から印刷できます。

◎用紙を自動的にセットします

オートロードにより、連続紙や単票を自動的に印字位置にセットします。

◎いろいろな用紙に印刷できます

連続紙や単票をはじめ、はがき、封筒、のし紙、百貨店／チェーンストア統一伝票などの複写紙、その他いろいろな用紙に印刷できます。

◎単票、はがき、封筒を自動給紙します

オプションのカットシートフィーダを装着すると、単票、はがき、封筒を自動給紙します。

◎自動紙厚調整機能で最適な印字を行います。

用紙をセットすると、用紙の厚さを自動的に測定し、最適な印字圧に調整します。

◎単票の排出方向が選べます

用紙を前へ排出したり、後へ排出したり、スイッチ1つで切り替えできます。

◎バーコードを印刷できます

JAN、NW7、CODE_39、カスタマバーコードなど、6種類のバーコードが印刷できます。

各部の名称と機能

〔前面〕

リボンカートリッジ
印字に必要なインクリボンが入っています。

シートスタッカ
排出した単票を一時的にためておきます。

印字ヘッド
文字を印字する部分です。

アクセスカバー
リボンカートリッジを交換する際などに開閉します。

ギアカバー
オプションのカットシートフィーダを取り付ける場合に開きます。

ペーパガイド
単票の左端の位置を決める支えです。

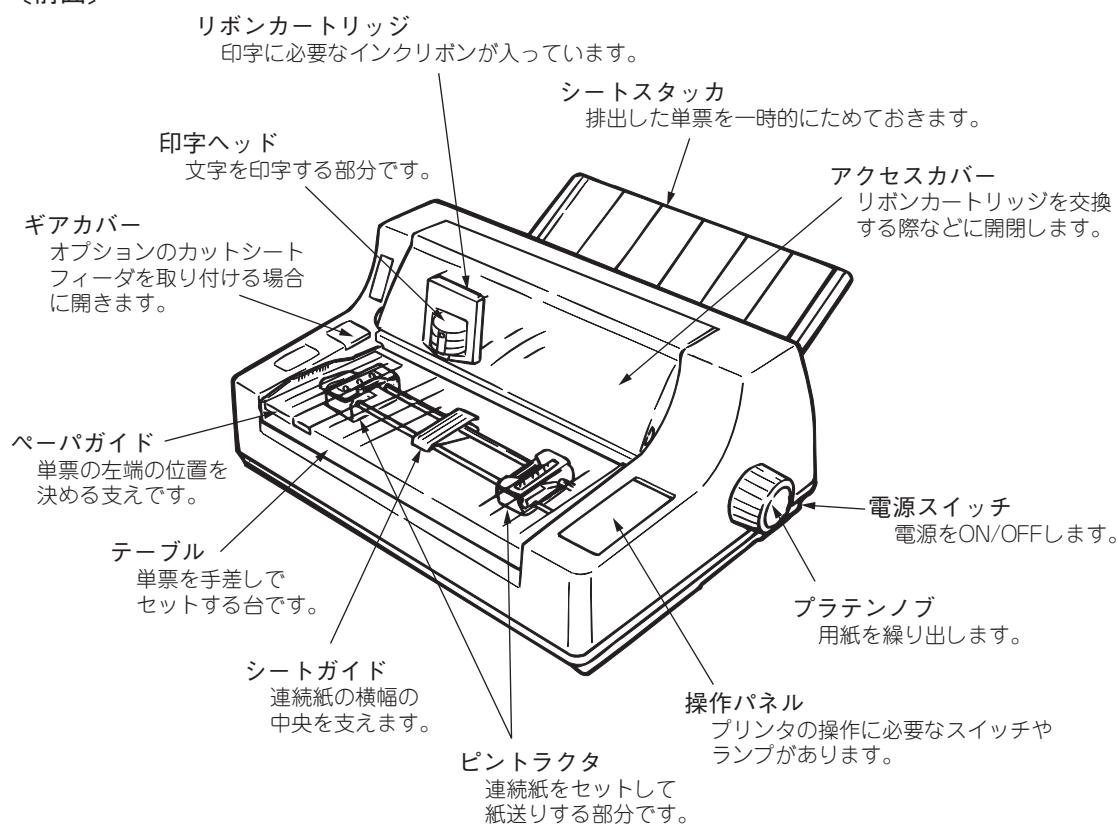
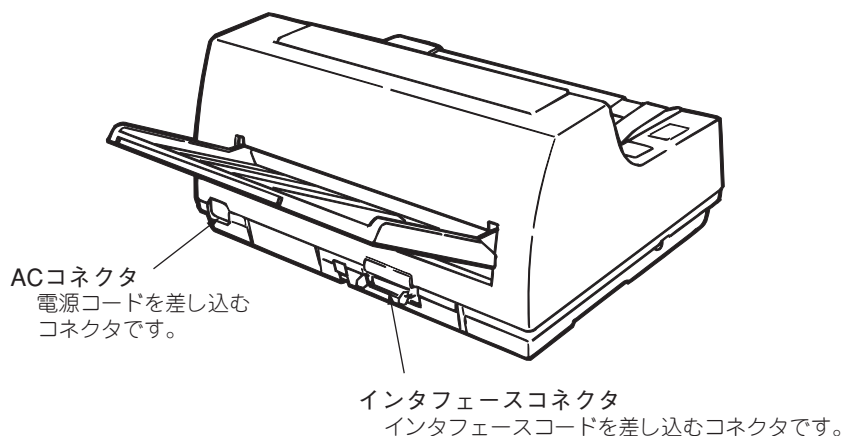
電源スイッチ
電源をON/OFFします。

テーブル
単票を手差しでセットする台です。

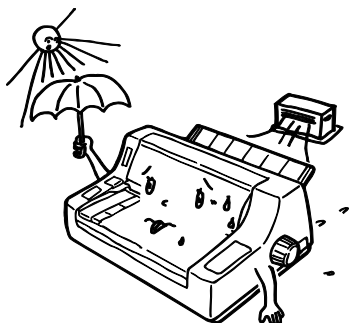
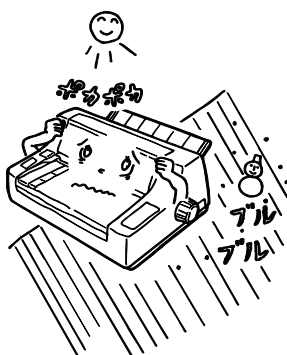
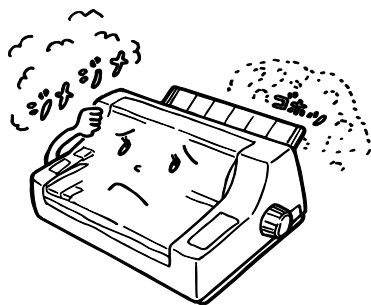
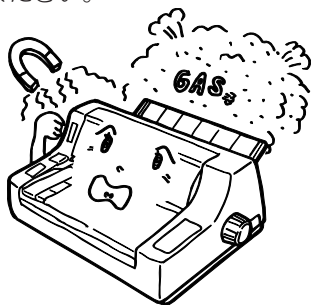
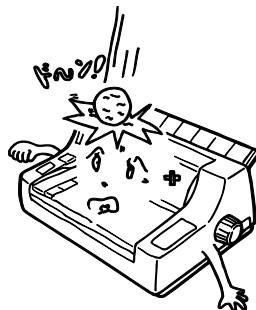
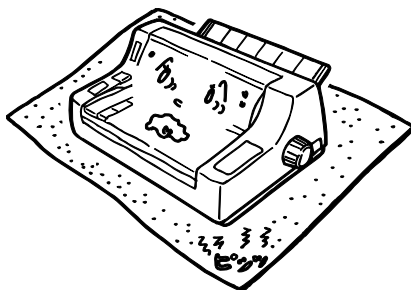
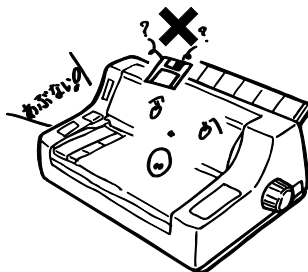
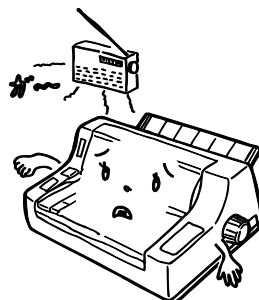
プラテンノブ
用紙を繰り出します。

シートガイド
連続紙の横幅の中央を支えます。

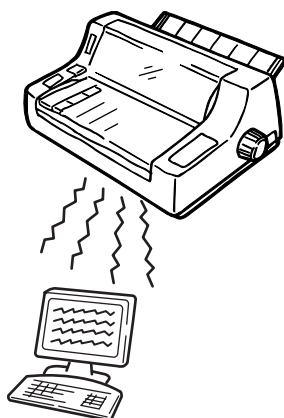
操作パネル
プリンタの操作に必要なスイッチやランプがあります。

ピントラクタ
連続紙をセットして紙送りする部分です。

〔背面〕

1
章

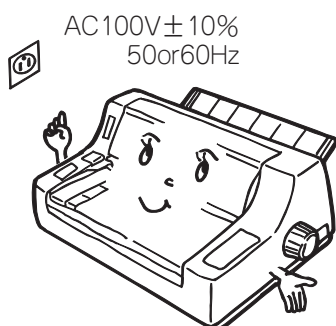
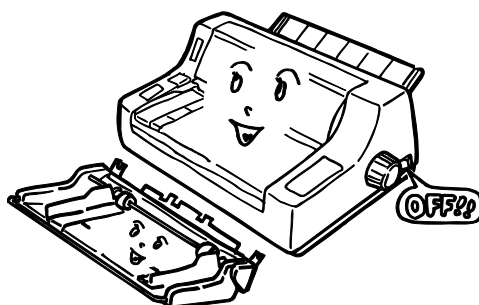
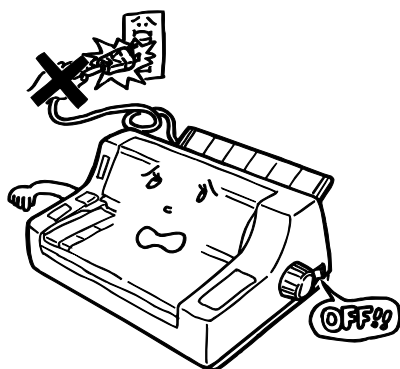
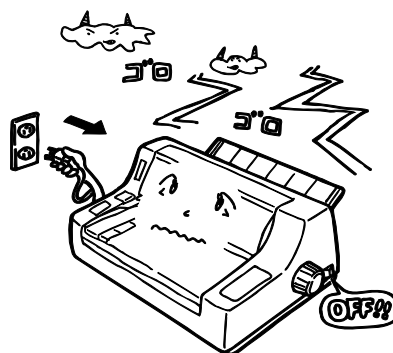
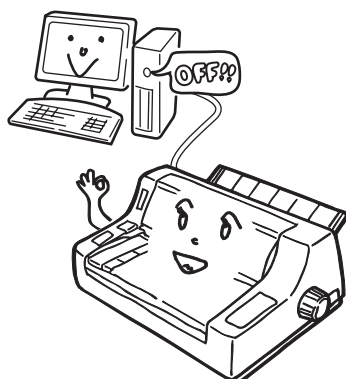
設置場所について

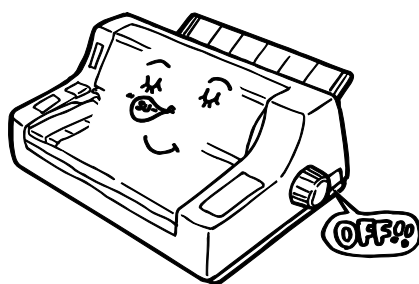
◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。

◎急激な温度変化のある場所は避けてください。

◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。

◎強い電磁界、腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。

◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。

◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。

◎CRTの近くは避けてください。
電磁界の影響により、画面に歪みが発生することがあります。

◎プリンタを設置する台、机は、プリンタの振動で動く場合がありますので、キャスタ付きのものは避けてください。

1章

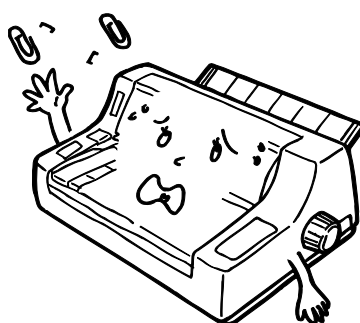
電源について

◎電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。

◎オプションを取り付けるときは、電源を「OFF」にしてください。

◎電源コードの抜き差しは、必ず電源を「OFF」にし、電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張らないでください。

◎雷が鳴っているときは電源を「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

◎プリンタとホストコンピュータを接続するときは、両方の電源を「OFF」にしてください。

◎長時間プリンタを使用しないときは、電源を「OFF」にしてください。

1
章

ご使用時の注意

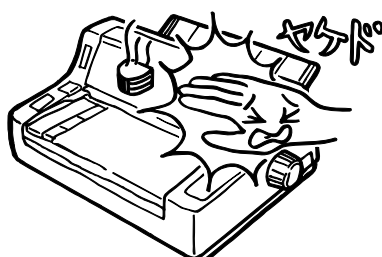
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

⚠注意	装置が壊れる恐れがあります。	

プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。
もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

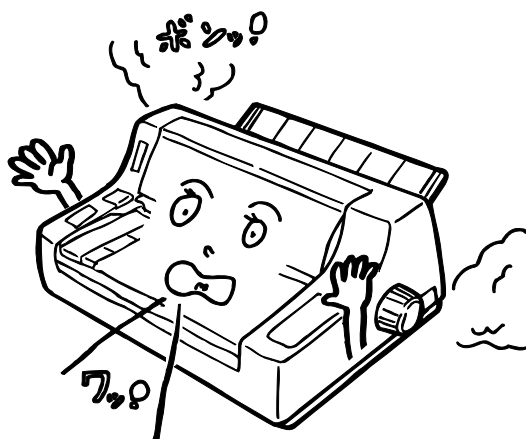
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

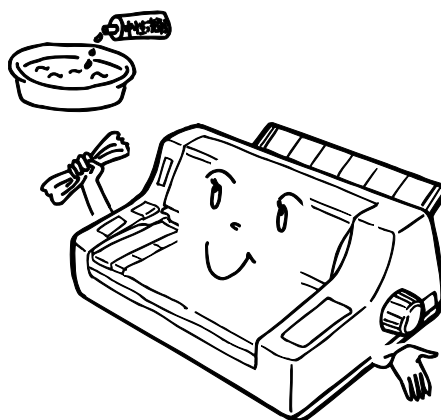
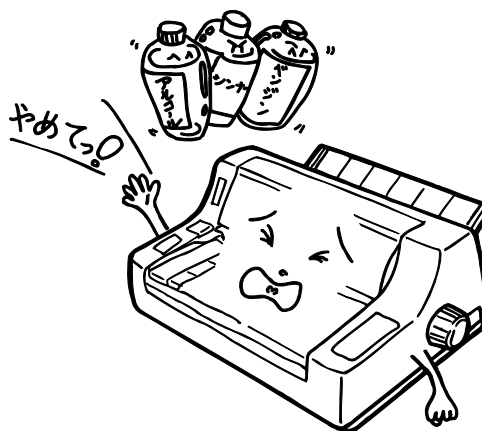
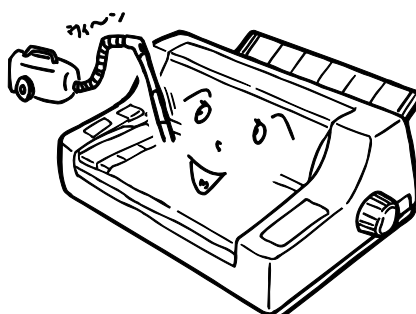
印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

1章

- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、印字させないでください。
  また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。
  印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には、リボンカートリッジを交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付ける」（15ページ）を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「付録　用紙規格および印字範囲」（173ページ）を参照してください。

故障や異常のときは

⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなった）に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターか、お買い上げの販売店にご連絡ください。
ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

プリンタのお手入れ

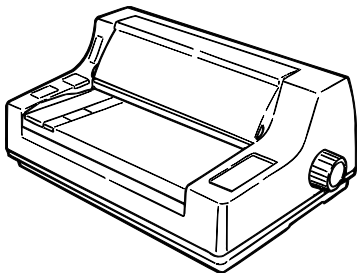
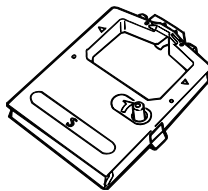
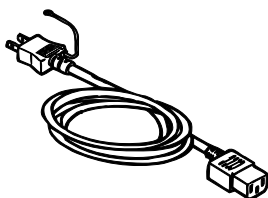
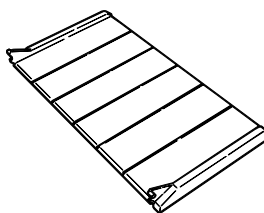
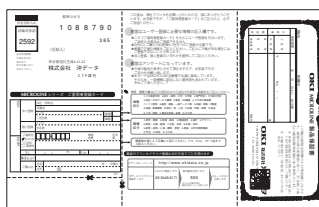
◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。

◎堅い布やアルコール、シンナー、ベンジンなどでふかないでください。

◎プリンタ内部にごみやほこりが目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。

注 ごみやほこり・紙紛がたまるとセンサの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

2　プリンタの準備

～箱を開けてからテスト印刷するまで～

2
章

梱包を開く

プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。

プリンタ　リボンカートリッジ

電源コード　シートスタッカ

ユーザーズマニュアル　保証書

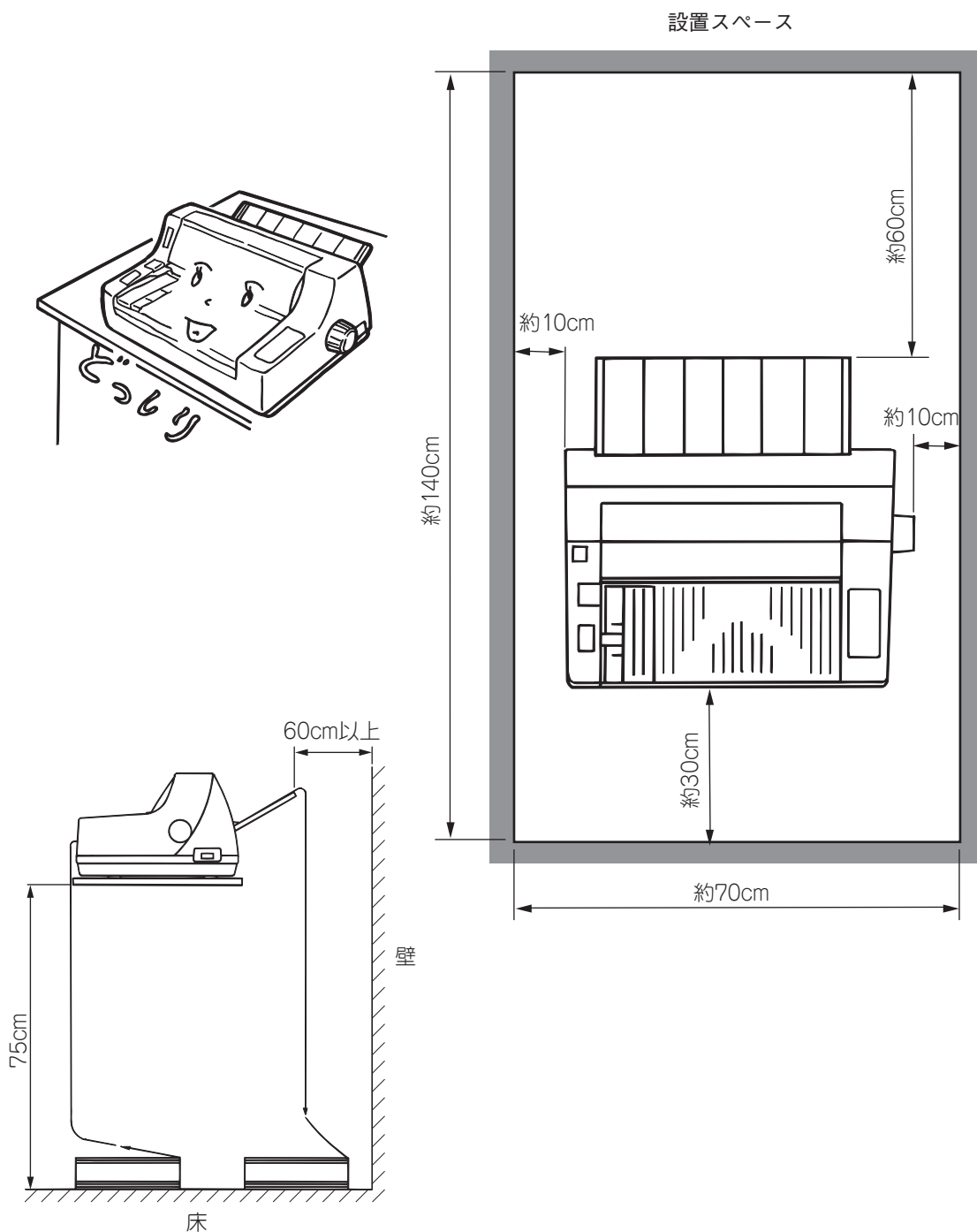
プリンタソフトウェアCD-ROM

注

- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
  正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱、梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。

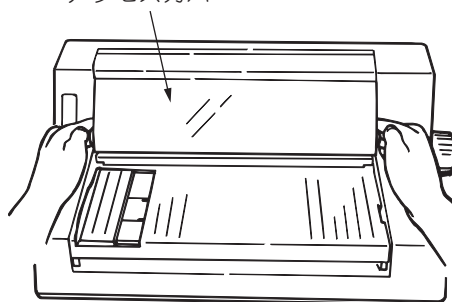
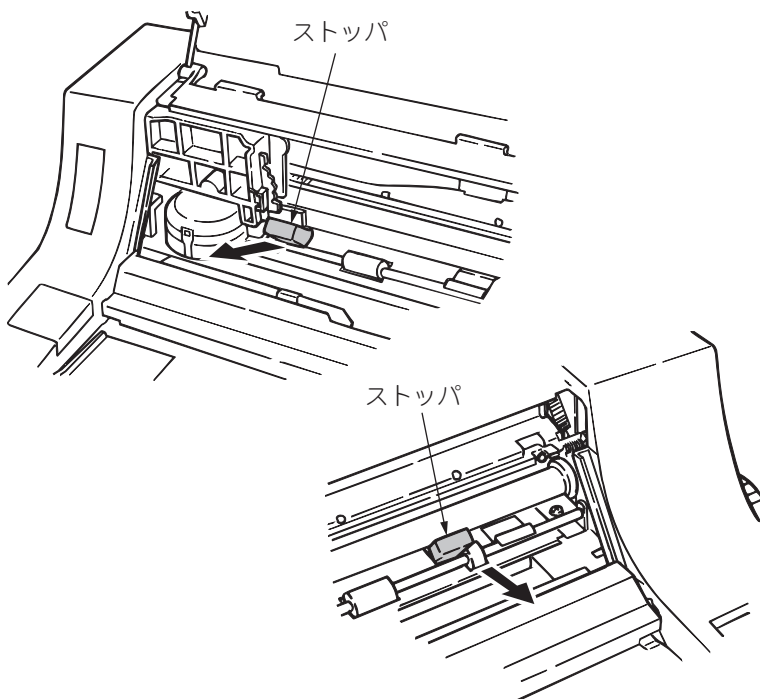
プリンタを設置する

プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作、日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

2
章

固定具を外す

輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドをストッパで固定してあります。
ご使用になる前に、このストッパを外してください。

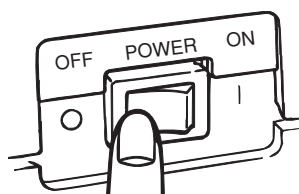
注✓ 輸送時には、印字ヘッドを左側に寄せて、ストッパで固定してください。

1 アクセスカバーを開きます。

2 ストッパを2か所外します。

3 アクセスカバーを閉じます。

リボンカートリッジを取り付ける

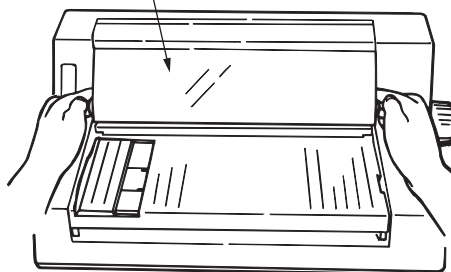
最初にリボンカートリッジを取り付けます。

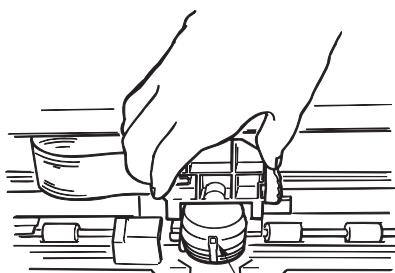
注 リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

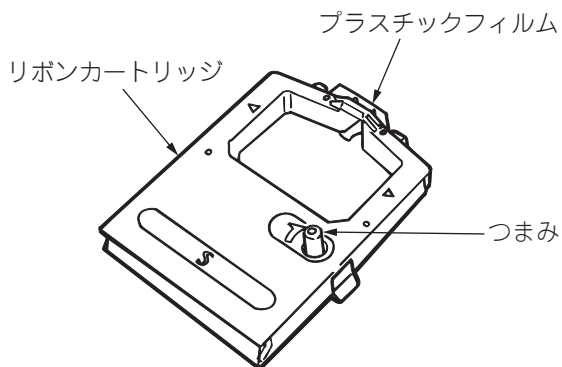
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 電源スイッチを「**ON**」にして、印字ヘッドの位置が上がったところで電源スイッチを「**OFF**」にします。

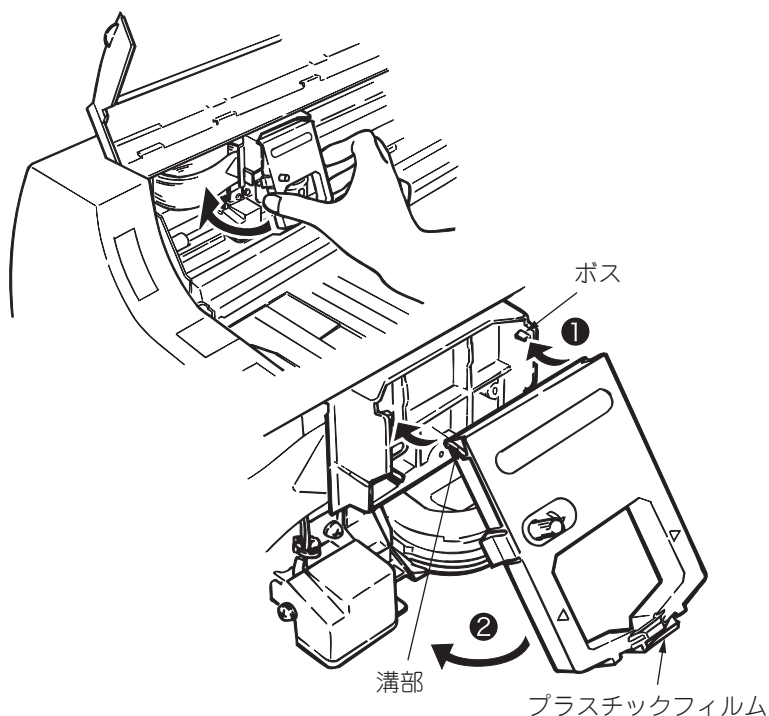
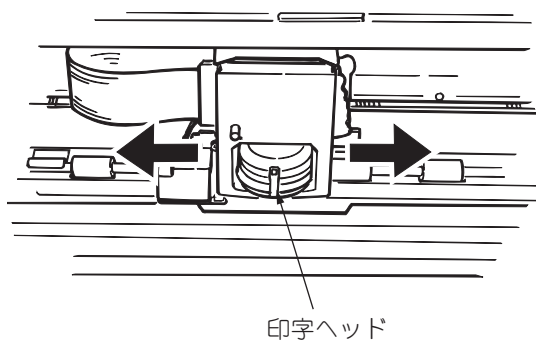
⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

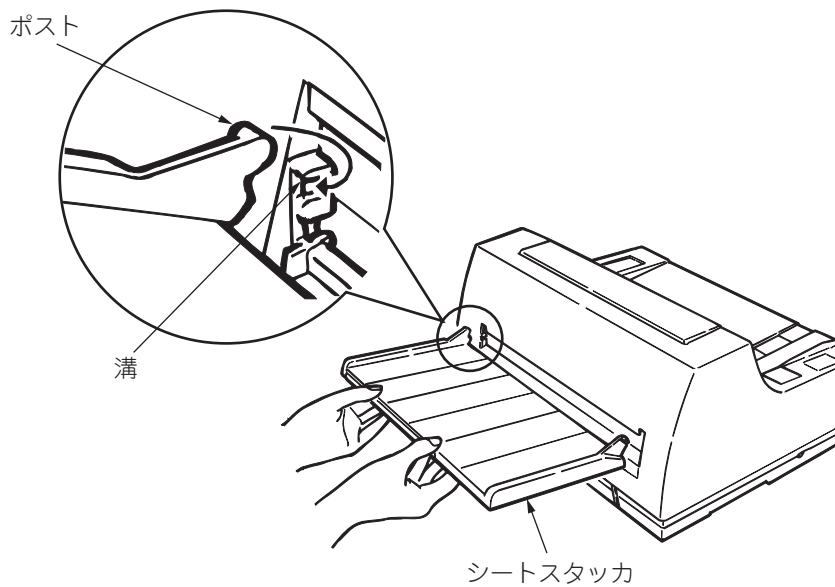
3 アクセスカバーを開きます。

4 印字ヘッドを、プリンタの中央へ手で移動します。

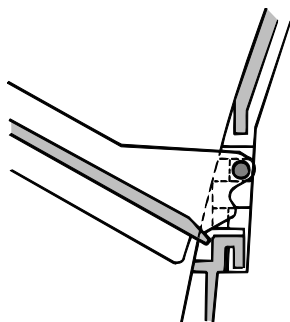
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

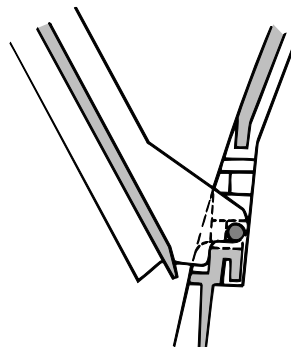
5 リボンカートリッジを袋から出し、つまみを矢印方向に回して、インクリボンのたるみを取ります。

注 リボンカートリッジの先端についているプラスチックフィルムは、リボンカートリッジの一部ですので取り外さないでください。

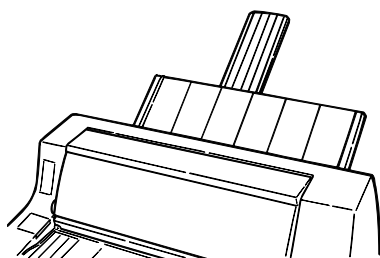
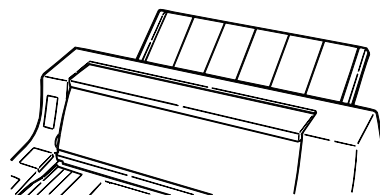
6 リボンカートリッジ両側の三角マーク（◀、▶）の部分を持ち、溝部をボスに引っ掛け（❶)、そのまま奥に押し込みます（❷)。
このとき、印字ヘッド先端部でプラスチックフィルムを変形させないでください。

7 リボンカートリッジをセット後、印字ヘッドがスムーズに移動することを確認してください。

8 アクセスカバーを閉じます。

シートスタッカを取り付ける

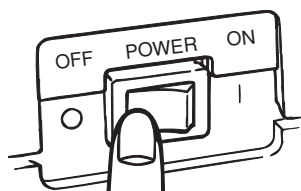
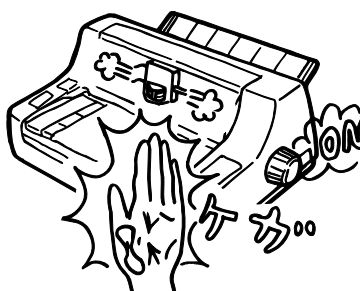
プリンタの後方から、アッパカバー両側の溝にシートスタッカのポストを引っ掛けます。

● シートスタッカの使用方法

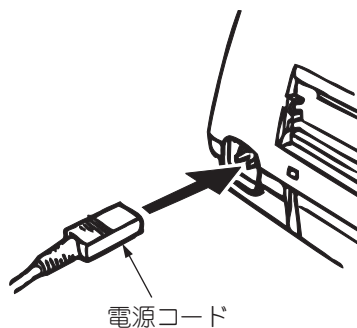
通常のセット状態

後方に余裕がないとき

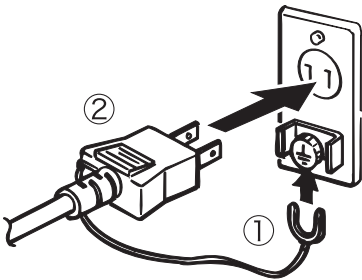
※ 厚い用紙やはがきの印刷時にはこの状態にセットしないでください。

● シートサポータの使用方法

単票を使用するとき

連続紙を使用するとき

電源コードを取り付ける

電源コードとアース線を接続します。

1 電源スイッチが「OFF」（○側）になっていることを確認します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

プリンタが突然動作することがあります。
必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。

2 電源コードをプリンタのACコネクタに接続します。

3 アース線をアース端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠警告	感電の恐れがあります。	

万一の危険防止のため、アースは必ず接続してください。ガス管には接続しないでください。
電源プラグのアースが接続できない場合は、電気工事店へご相談ください。
電源プラグを外すときは逆の手順で行ってください。

注

- 電源は必ずAC100V（50Hzまたは60Hz）を使用してください。
- 電源を入れたとき、一瞬大きな電流が流れます。
  電圧低下を避けるため、空調機や電動機器など、大電流を使う系統との電源共用は避けてください。
- このプリンタは、ドット密度の高い印字（黒ベタ印字など）を行うと、最大6Aの電流が流れます。パソコンなどのサービスコンセントには接続しないでください。タコ足配線はしないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードは、本プリンタ専用です。他の製品には使用しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから、電源プラグを持って行ってください。電源コードを引っ張らないでください。
- UPS（無停電電源）およびインバータを使用した場合の動作は保障していません。故障のおそれがあります。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

⚠警告	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長時間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	

テスト印字をする

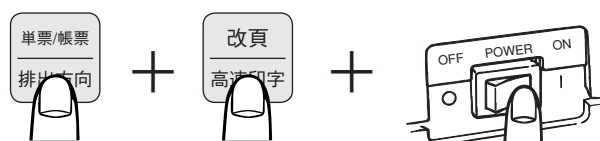
プリンタが正確に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4サイズ以上の単票の縦置、または10～12インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、オートギャップモードでA4サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

1 電源スイッチを「**ON**」にします。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押して単票モードにします。

単票モードのとき「単票」ランプが点灯します。

3 電源スイッチを「**OFF**」にします。

4 「**単票/帳票／排出方向**」スイッチと「**改頁／高速印字**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

5 単票をセットします。

単票の左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
約2秒後、単票を自動給紙します。

プリンタが印字を開始します。

6 「**印字可**」スイッチを押して、印字を中断します。

もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

2
章

7 **「改頁／高速印字」**スイッチを押して、単票を排出します。

8 電源スイッチを「**OFF**」にします。

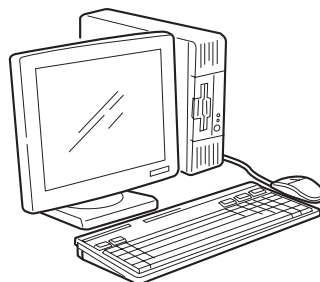
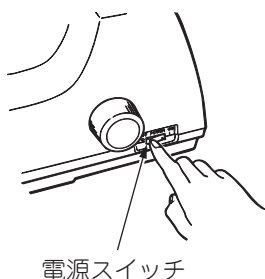
注 テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」（149ページ）を参照してください。

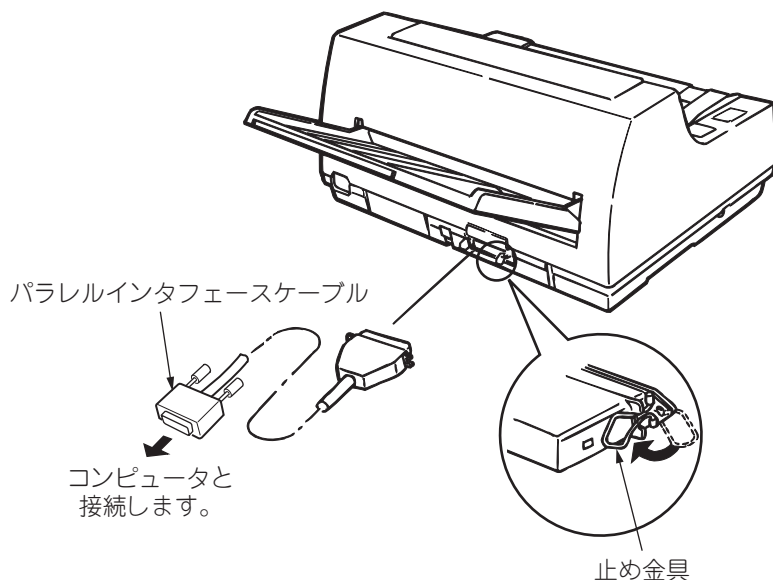
3　ホストコンピュータに接続する

ホストコンピュータに接続する

このプリンタは、パラレルインタフェースを装備しています。
インタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合わせてIEEE 1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルをご用意ください。
パラレルインタフェースの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース」（167ページ）をご覧ください。

3章

1 電源スイッチを「OFF」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「OFF」にします。

2 パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。

3 コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

Windows Vista 環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsVista から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116 ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsVista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外の OS には対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- ご使用のインタフェースケーブルでのセットアップ手順に従ってセットアップしてください。
- Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）が必要です。

セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 Windows Vista を起動します。
すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、さらに、『管理者として実行』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。
入力後、『用紙の保存』をクリックします。
「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。
●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

注 OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsServer2003環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsServer2003から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsServer2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- 通常はプリンタドライバ CD-ROM の沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  WindowsServer2003 付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- パラレルインタフェースでWindowsServer2003と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsServer2003を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SEプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

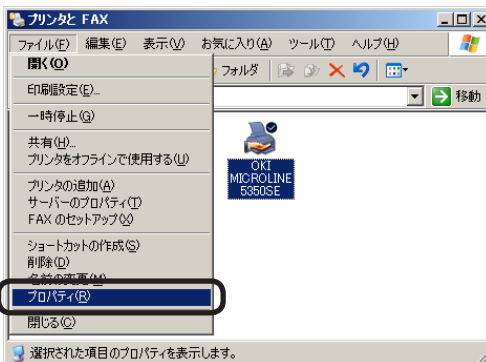
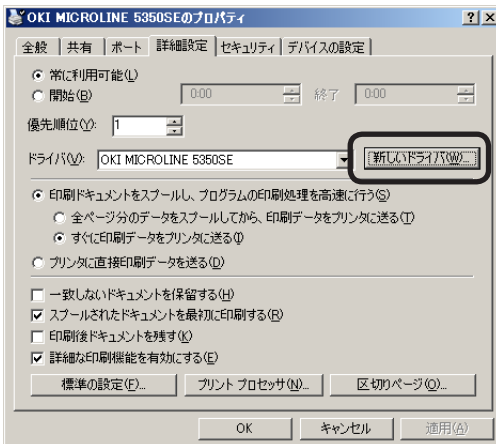
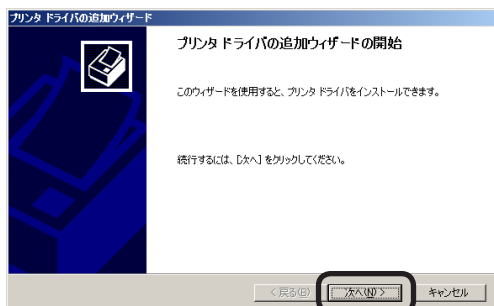
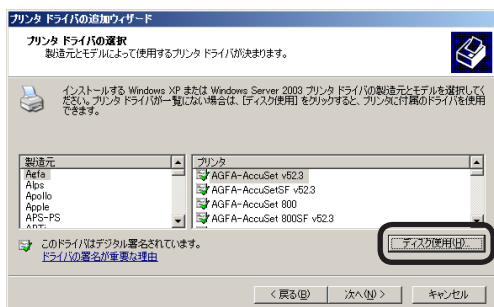
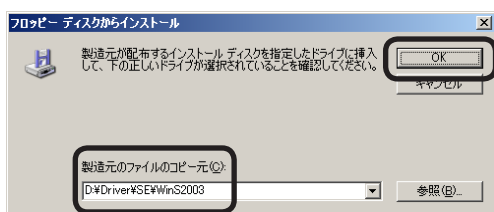
セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 WindowsServer2003を起動します。
すでにWindowsServer2003が起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

5 『スタート』-『プリンタとFAX』を選択します。
『プリンタとFAX』フォルダに作成されたプリンタアイコンを選択し、「ファイル」メニューより「プロパティ」を選択します。

6 「詳細設定」タブを選択し、「新しいドライバ」をクリックします。

7　「プリンタドライバの追加ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

8　「プリンタドライバの選択」が表示されたら、「ディスクの使用」をクリックします。

9　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「製造元のファイルのコピー元：」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥SE¥WinS2003

10　「プリンタ」リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

11 「プリンタドライバの追加ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックします。

12 「ハードウェアのインストール」画面で「Windowsロゴテストに合格していません」と表示されたら、「続行」をクリックします。

13 「詳細設定」画面で、「OK」をクリックします。

これでセットアップは終了です。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

3章

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1　『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2　『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。
入力後、『用紙の保存』をクリックします。
「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。
●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注　OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3　作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsXP環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsXPから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsXP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- 通常はプリンタドライバ CD-ROM の沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  WindowsXP 付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- パラレルインタフェースでWindowsXPと接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、WindowsXPを起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SEプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

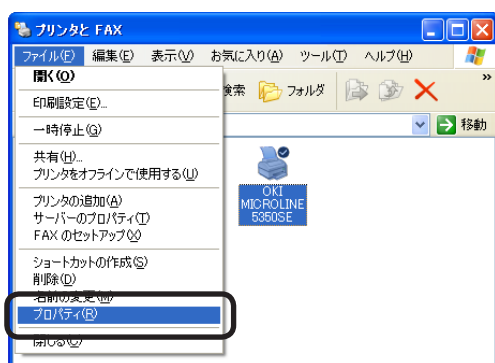
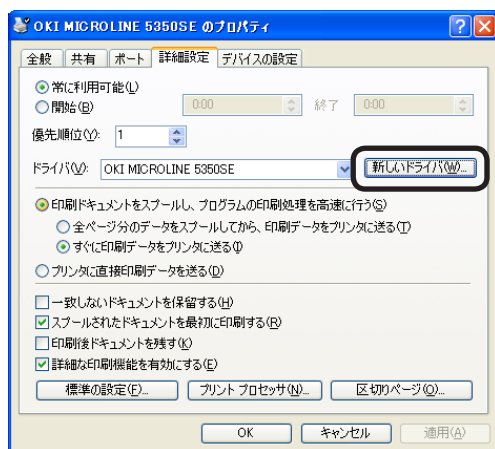
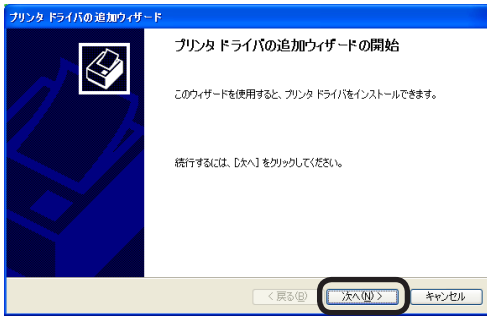
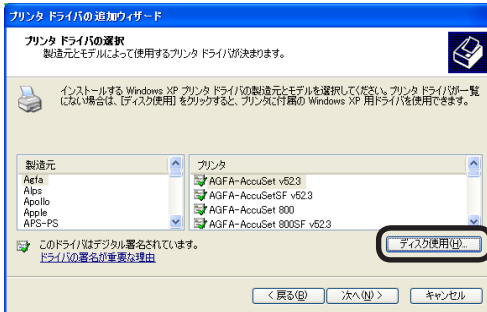
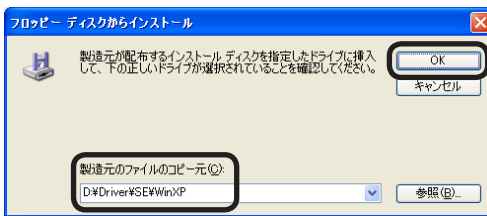
3
章

1　プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2　パラレルケーブルを接続します。

3　プリンタの電源を「ON」にします。

4　WindowsXPを起動します。
すでにWindowsXPが起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

5　『スタート』-『プリンタとFAX』を選択します。
『プリンタとFAX』フォルダに作成されたプリンタアイコンを選択し、「ファイル」メニューより「プロパティ」を選択します。

6　「詳細設定」タブを選択し、「新しいドライバ」をクリックします。

7 「プリンタドライバの追加ウィザードの開始」が表示されたら、「次へ」をクリックします。

8 「プリンタドライバの選択」が表示されたら、「ディスクの使用」をクリックします。

9 プリンタドライバ CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットし、「製造元のファイルのコピー元：」に次のように入力して、「OK」をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥SE¥WinXP

10 「プリンタ」リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、「次へ」をクリックします。

11 「プリンタドライバの追加ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」をクリックします。

12 「ハードウェアのインストール」画面で「Windowsロゴテストに合格していません」と表示されたら、「続行」をクリックします。

13 「詳細設定」画面で、「OK」をクリックします。

これでセットアップは終了です。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。
- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

3
章

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。
入力後、『用紙の保存』をクリックします。
「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。
●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕 または 〔明朝倍角〕 を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows2000環境で使用する

●プリンタの設定

Windows2000から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows2000日本語版の動作するコンピュータ

- 日本語版以外のOSには対応していません。
- ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注

- プリンタドライバのセットアップは「プリンタの追加」から行います。
- Administratorの権限が必要です。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

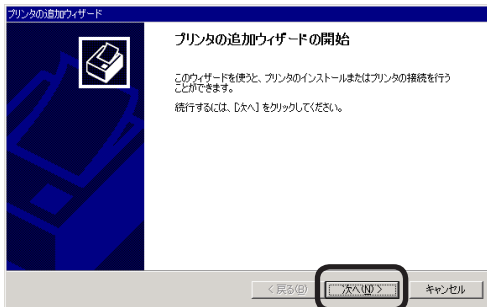
2 パラレルケーブルを接続します。

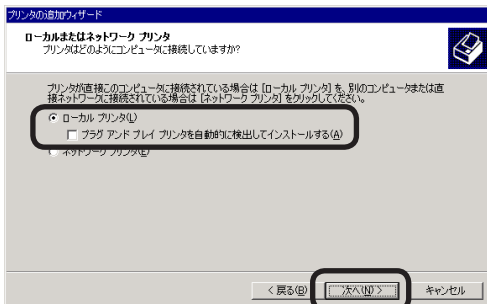
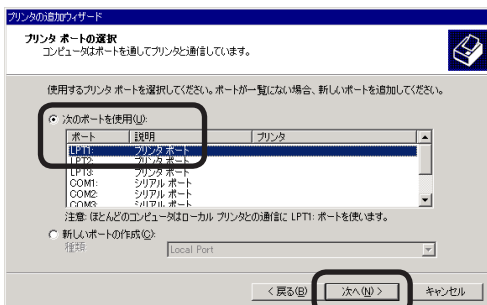
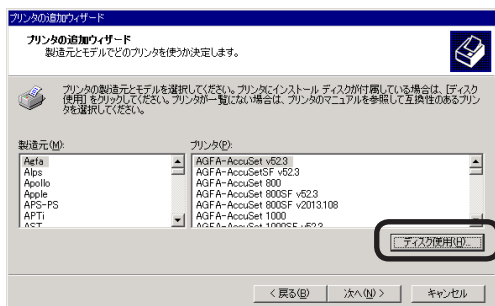
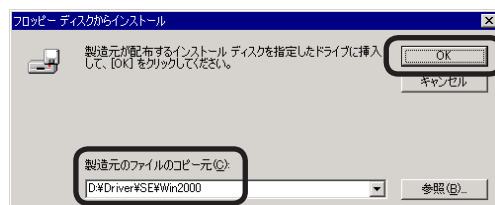
3 プリンタの電源を「ON」にします。

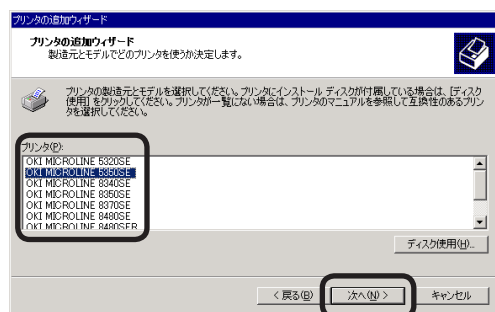
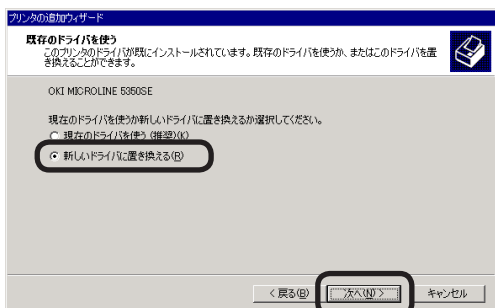
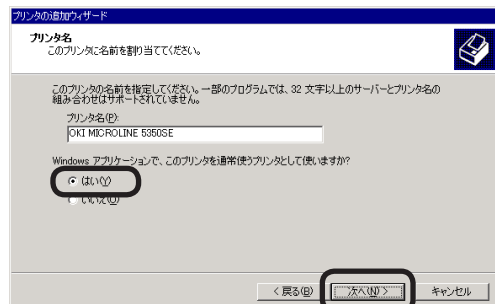
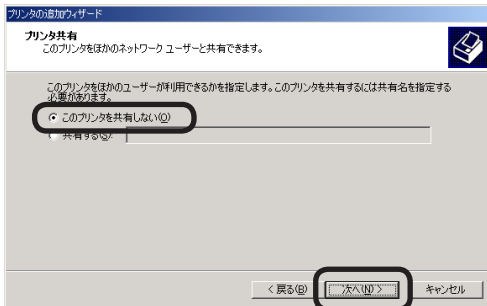
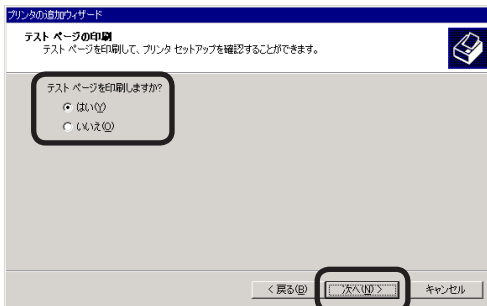
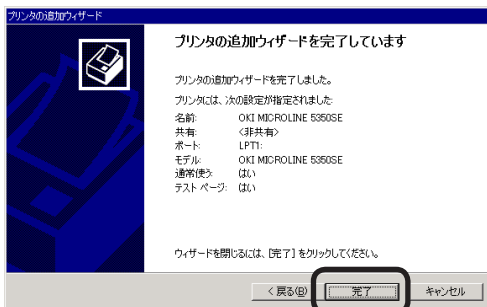
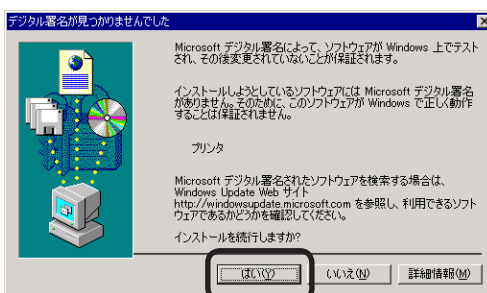
4 Windows2000を起動します。
すでにWindows2000が起動している場合は、再起動してください。
『新しいハードウェアの検出ウィザード』画面が表示された場合は、『キャンセル』をクリックします。

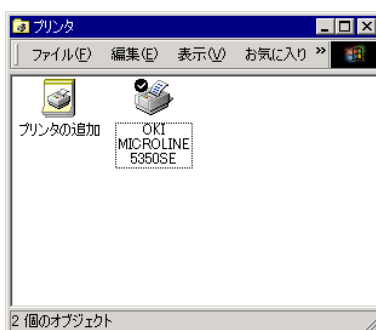
5 『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、セットアップしようとしているプリンタアイコンがすでにある場合は、右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。

6 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

7 『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。

8 『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

注 必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。

9 『次のポートを使用』を選択して、『LPT1: プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。

10 『ディスク使用』をクリックします。

11 『インストール』画面が表示されたら、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元：」に次のように入力して『OK』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥Win2000

12 『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

13 『既存のドライバを使う』画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

14 『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。

15　『このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

16　テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

17　『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。

18　『デジタル署名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

19　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップの完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsMe環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsMeから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

WindowsMe日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機、PC-9821シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注　日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

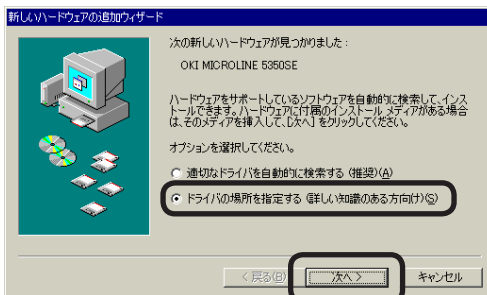
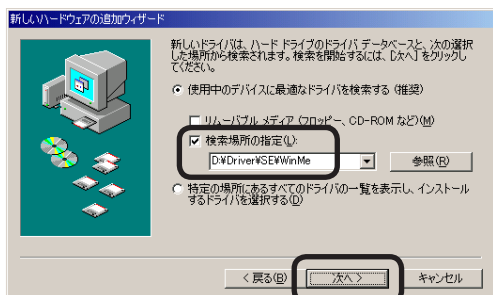
- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェアの追加ウィザード」から行います。「新しいハードウェアの追加」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

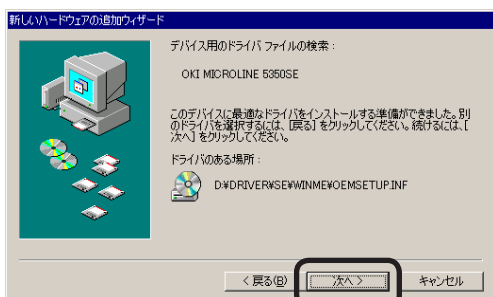
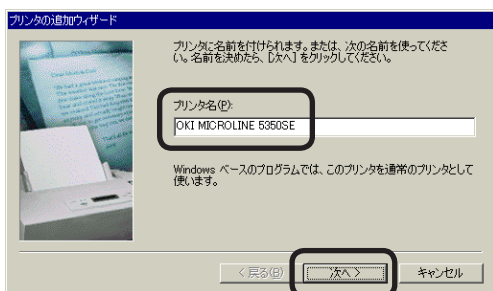
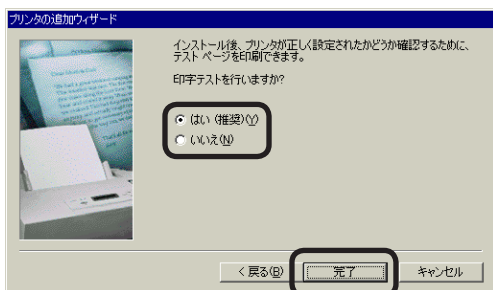
セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

1 プリンタの電源を「ON」にします。

2 WindowsMeを起動します。
すでにWindowsMeが起動している場合は、再起動してください。

3 『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）』を選択して『次へ』をクリックします。

4　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択し、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥SE¥WinMe

5　プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

6　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

7　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

8　『完了』をクリックします。

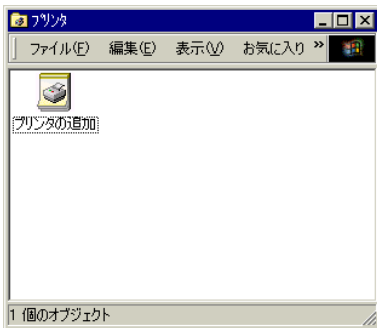
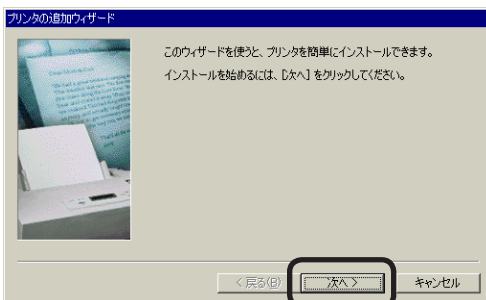
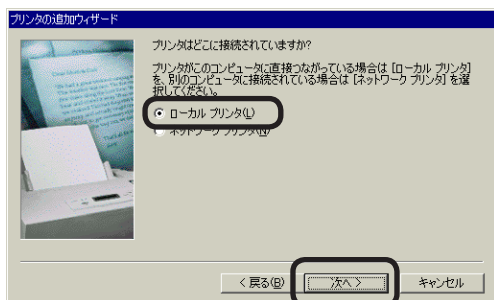
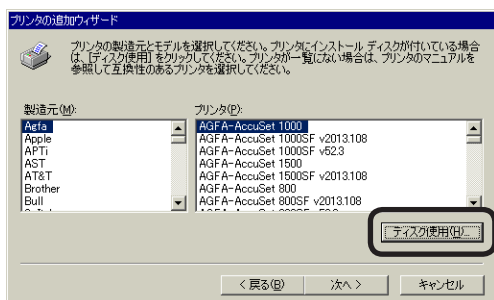
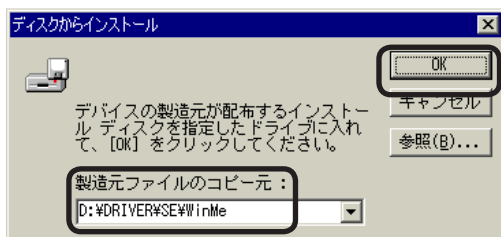
9 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『プリンタの追加』からのセットアップ

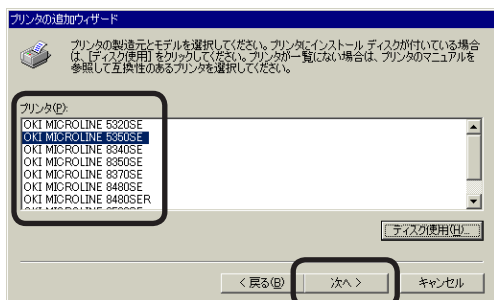
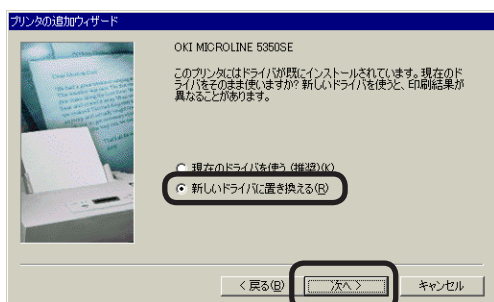
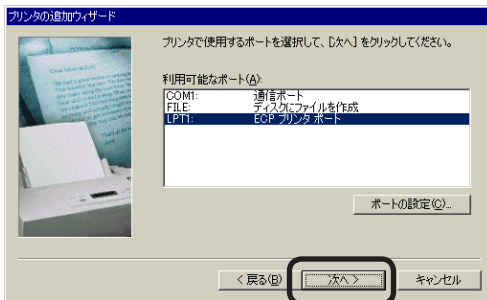
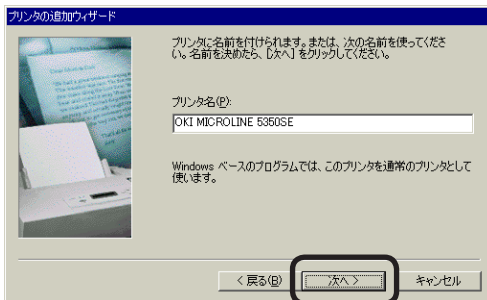
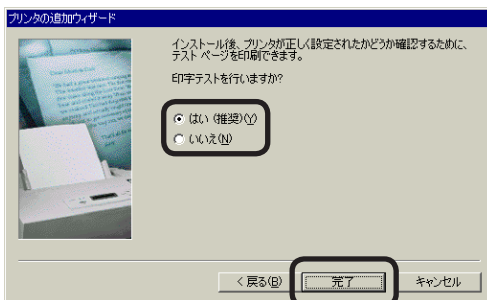
1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

2 コンピュータの電源を ON にして、WindowsMeを起動します。

3 『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

6　『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

7　製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

8　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥WinMe

9　『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

10　『このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

11 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

12 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

13 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

14 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注

- 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows98環境で使用する

●プリンタの設定

Windows98から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows98日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機, PC-9821シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

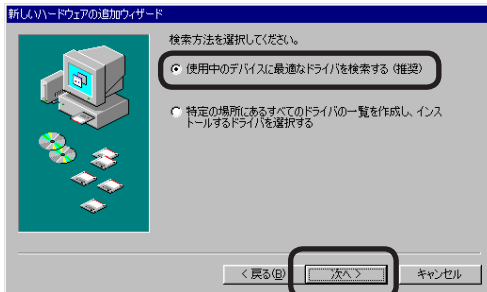
注
- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェアの追加ウィザード」から行います。「新しいハードウェアの追加」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows98 日本語版 オペレーティングシステム (CD-ROM)

『新しいハードウェアの追加ウィザード』からのセットアップ

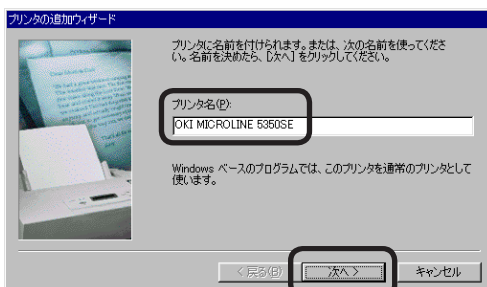
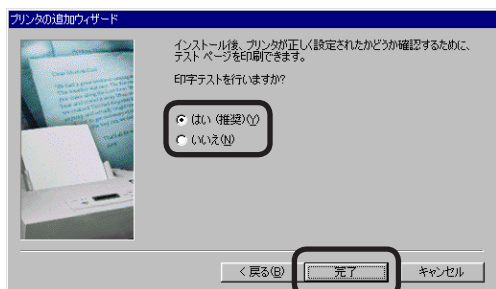
1 プリンタの電源を「ON」にします。

2 Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。

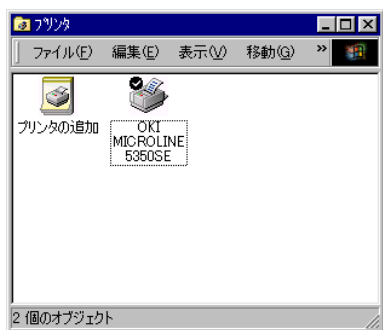
3　『新しいハードウェアの追加ウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

4　『使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）』を選択して『次へ』をクリックします。

5　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『検索場所の指定』にチェックし、次のように入力して、『次へ』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥Win98

6　プリンタドライバが見つかったことを確認し、『次へ』をクリックします。

7　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

8 テストページを印刷する場合は『はい（推奨)』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

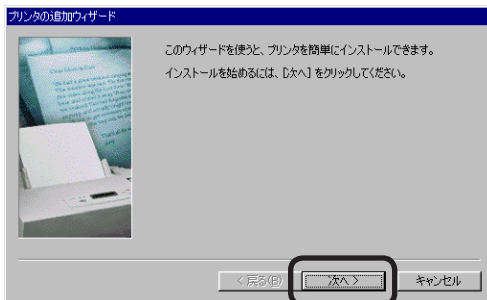
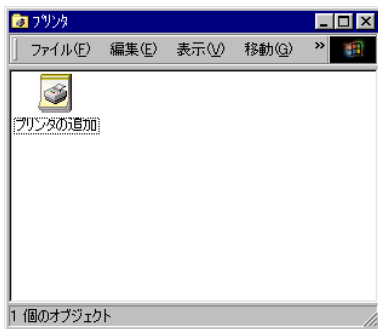
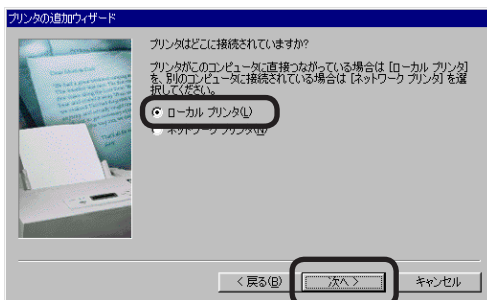
注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。)

9 『完了』をクリックします。

10 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

『プリンタの追加』からのセットアップ

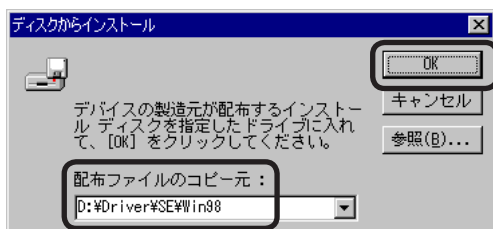
1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

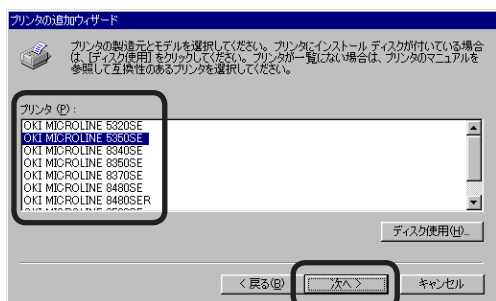
2 コンピュータの電源をONにして、Windows98を起動します。

3 『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

6 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

7 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

8 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥SE¥Win98

9 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。)

10 『このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

11 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

12 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

13 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、「OK」をクリックします。)

14 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

3
章

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- ●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
- ●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

- ●複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

3
章

Windows95環境で使用する

●プリンタの設定

Windows95から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows 95日本語版の動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機、PC-9821シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注 日本語版以外のOSには対応していません。

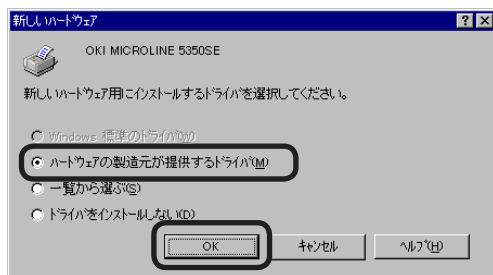
●プリンタドライバのセットアップ

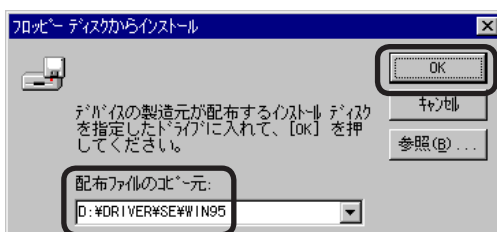
注
- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェア」から行います。「新しいハードウェア」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- Windows95のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上、セットアップを行ってください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows95 日本語版 オペレーションシステム（CD-ROMもしくはフロッピーディスク）

Windows95のバージョンが4.00.950または4.00.950 aの場合

1 プリンタの電源を「ON」にします。

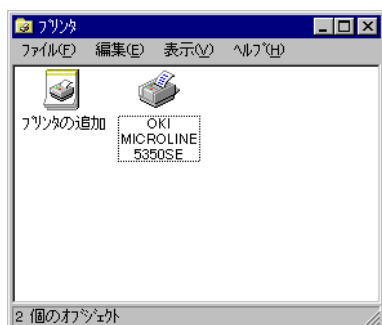
2 Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。

3 『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

注 『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合」（68ページ）の手順にしたがってください。

4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD: の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥SE¥Win95

5 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

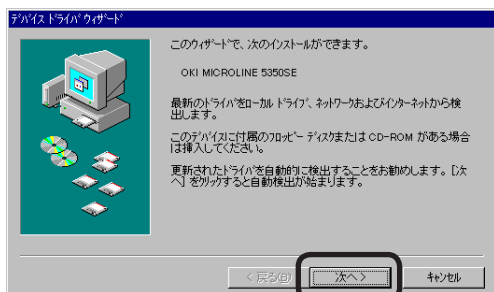
6 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

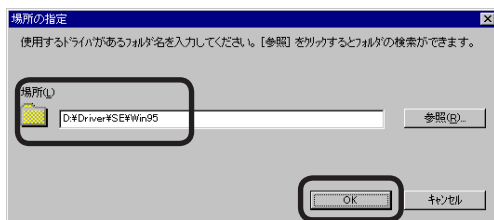
注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD: の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(DiskXX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し「OK」をクリックします。)

7 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

Windows95のバージョンが4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合

1 プリンタの電源を『ON』にします。

2 Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は、再起動してください。

3 『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

4 『場所の指定』をクリックします。

5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「場所」に次のように入力して、『OK』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥Win95

6 プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。

7　『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

8　テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注　途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Driver¥SE¥Win95」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。
さらに「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(DiskXX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、「OK」をクリックします。)

9　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

3章

『プリンタの追加』からのセットアップ

1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

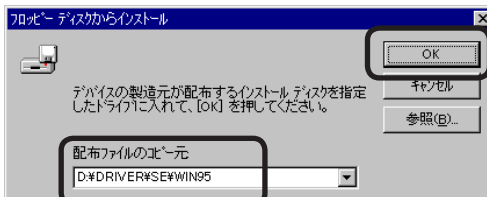
2 コンピュータの電源を ON にして、Windows95を起動します。

3 『スタート』-『設定』-『プリンタ』を選択します。

4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

6 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

7 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

8 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元ファイルのコピー元』に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここでは CD-ROM ドライブが D: の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥Win95

9 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

10 『このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

11 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

12 『プリンタ名:』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

13 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。(オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(DiskXX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し「OK」をクリックします。)

14 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザー定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザー定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細設定ダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
テーブル：テーブル側に排出します。
スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）　：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）　：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

- 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字(通常印字)に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsNT4.0環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsNT4.0から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版の動作するコンピュータ

- 日本語版以外のOSには対応していません。
- ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。
- WindowsNT3.51用プリンタドライバはWindowsNT4.0用ディスクのNT351ディレクトリに入っていますが、WindowsNT3.51についてのサポートは行っておりません。詳細はNT351ディレクトリ内にあるreadme.txtをご覧ください。

●プリンタドライバのセットアップ

WindowsNT4.0を起動した状態からのセットアップ手順を説明します。
セットアップには、次のものをご用意ください。

- プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
- WindowsNT Server 4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

- Administratorの権限でログインしてからセットアップしてください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

なお、説明の中では、DOS/V PCでWindowsNT Workstation4.0日本語版を使用します。

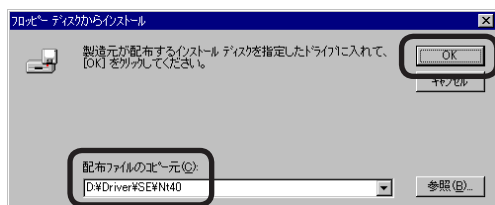
1 プリンタウィザードを起動させます。

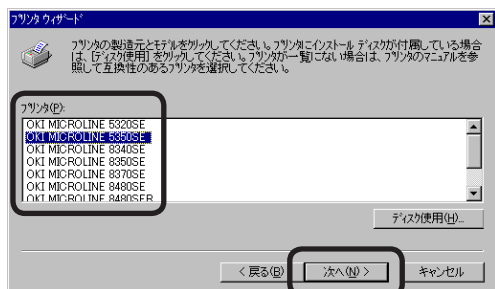
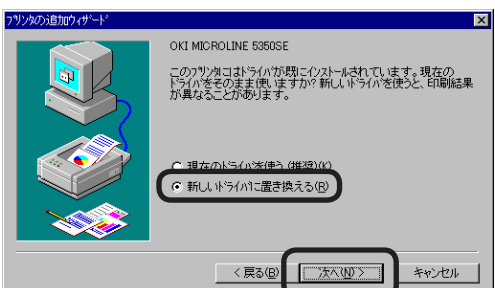
『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『プリンタの追加』で起動します。

2 『このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします。

3章

3 接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

4 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、『配布ファイルのコピー元』を次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> 　D:¥Driver¥SE¥Nt40

6 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

7 『このプリンタにはドライバが既にインストールされています。』という画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

8 『プリンタ名：』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

9 プリンタを共有する場合は『共有する』を選択して共有名を入力し、共有しない場合は『共有しない』を選択して、『次へ』をクリックします。

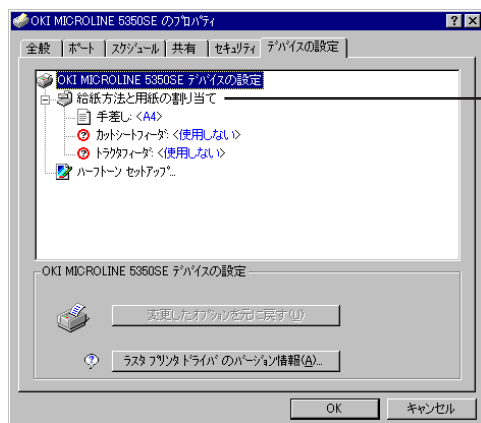
10 テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『次へ』をクリックします。

注 途中で「ディスクの挿入」が表示された場合は、「OK」をクリックし、CD-ROMドライブにWindowsNT4.0のCD-ROMをセットし、「コピー元」に「D:¥i386」（CD-ROMドライブがD:　の場合）と入力し、「OK」をクリックします。

11 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。
アプリケーションによっては、「ページ設定」タブでの設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示されます。

用紙/出力

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注

- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1　『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2　『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。
入力後、『用紙の保存』をクリックします。
「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。
●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注　OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思いどおりの印刷結果が得られない場合があります。

3　作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横２倍となります。４倍角(〔明朝〕の縦横２倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows3.1環境で使用する

●プリンタの設定

Windows3.1から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「メニュー設定を初期化する」（116ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

MS-DOS上で動作するWindows3.1日本語版の動作するコンピュータ

注 Windows3.1日本語より前のバージョンについては、動作の保証は致しかねます。
また、日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのインストール

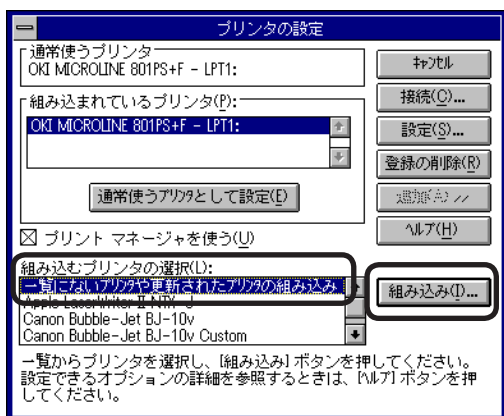
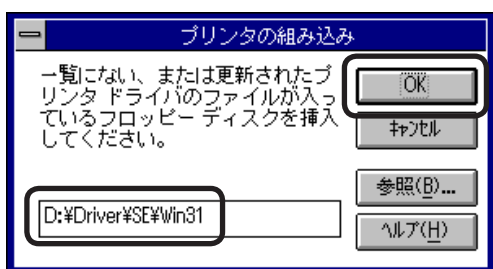
Windows3.1を起動した状態からのインストール手順を説明します。
セットアップには次のものを用意してください。

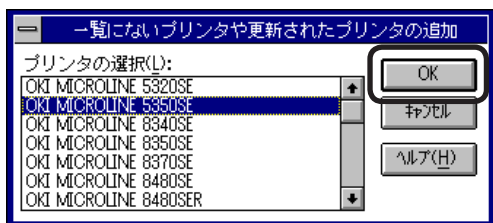
プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

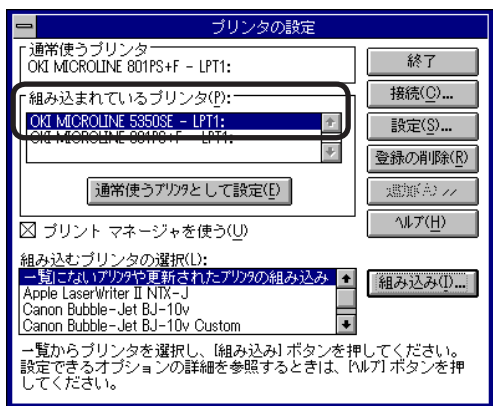
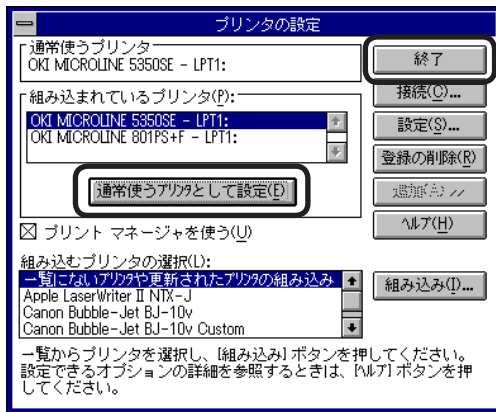
Windows3.1 日本語版 オペレーティングシステム（フロッピーディスク）

注 プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

1 『コントロールパネル』の『プリンタ』をダブルクリックします。

2 『追加(A) >>』をクリックします。

3　『一覧にないプリンタや更新されたプリンタの組み込み』を選択し、『組み込み(I)...』をクリックします。

4　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> 　　D:¥Driver¥SE¥Win31

5　プリンタの機種名を選択し、『OK』をクリックします。

注　途中で「プリンタの組み込み」が表示された場合は、要求されたファイルが格納されているWindows3.1セットアップディスクをフロッピーディスクドライブへセットし、「A:¥」を指定して「OK」をクリックします。

6　インストールが終了すると『組み込まれているプリンタ(P)：』にプリンタの名称が追加されています。

7 更に、通常使うプリンタとして設定する場合は、『通常使うプリンタとして設定(E)』をクリックします。

8 『終了』をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールは終了です。

3章

3
章

●印刷条件の選択

使用する用紙サイズなどの設定は『コントロールパネル』の『プリンタ』を選択し、『設定(S)...』をクリックして設定します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- トラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

用紙サイズ

用紙サイズを選びます。

●〔ユーザー定義サイズ〕を選択した場合は、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

●〔ユーザー定義サイズ〕は単票を使う場合に有効です。連続紙を使う時は、「連続紙　縦＊inch」を選んでください。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

印刷の向き

印刷の方向を選びます。

●横を選択した場合、90度回転した状態で印刷されます。用紙を横置きにした場合と、同じイメージになります。この場合、プリンタの用紙のセットは縦置きにします。

【オプションダイアログ】

印刷品質

印刷の品位を選択します。

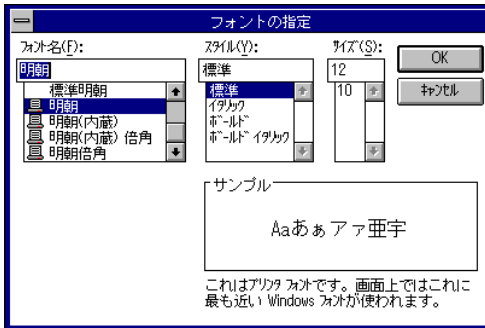
- 高速（片方向印字）：片方向で高速に印刷します。
- 高速（両方向印字）：両方向で高速に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注
- 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
  各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字
	高速	内蔵フォント	高速印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

- 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、高密度印字（通常印字）に比べ、文字が薄く見えます。

●フォントの指定

ほとんどのアプリケーションソフトウェアで、フォントを指定できます。

高速に印刷させたい場合は、🖶マークのついたプリンタフォントを指定してください。ほぼ画面表示どおりに印刷させたい場合は、TTマークのついたTrueTypeフォントを指定してください。ただし、ビットマップイメージで転送しますので、時間がかかります。

注

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角（〔明朝〕の縦横2倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

DOS環境で使用する

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

優先順位	プリンタ名
1	MICROLINE 5350SE
2	ESC/P 24-J84
3	VP-800

注

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

4　用紙の取り扱い

～いろいろな用紙をプリンタにセットします～

単票をセットする

●単票のセット

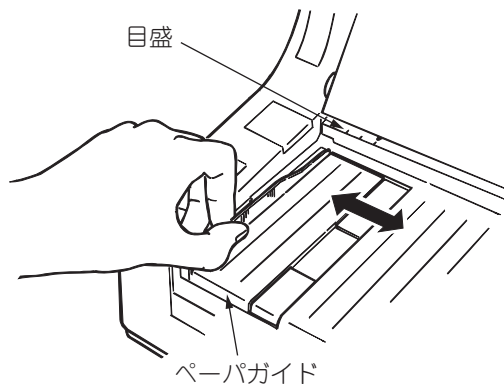
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

連続紙がセットされているときは、排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」(95ページ) を参照してください。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押して単票モードにします。

単票モードのとき「単票」ランプが点灯します。

3 単票の左端位置にペーパガイドをセットします。

- 目盛上の「▼」の位置が1文字目の中心になります。
- 封筒を使用する場合、封筒のフラップ（のり付け部）への印字を避けるため、フラップの大きさに合わせてシートガイドを調整してください。

注 封筒を使用する場合、用紙厚の調整は必ずマニュアルギャップ調整で行ってください。「用紙の厚さに応じた調整方法」(100ページ) を参照してください。

単票の左端をペーパガイドに合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

単票が自動的に吸入され、「印字可」ランプが点灯します。

注

- 複写紙を使用する場合は、シートスタッカへ排出してください。
- 用紙が途中でつまってしまったときは、「用紙」ランプが点滅します。
  用紙を引いて「印字可」スイッチを押しアラームを解除します。アラーム解除後、用紙をセットし直してください。
- 用紙が曲がってセットされたり、印字位置まで送られなかった場合には、「改頁／高速印字」スイッチで用紙を排出し、再度セットし直してください。
- 印刷済みの用紙をシートスタッカにためすぎないでください。総紙厚が8mm程度になったら、たまった用紙を取り除いてください。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。

●単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

2 「**改頁／高速印字**」または「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押します。

用紙が自動的に排出されます。

●単票排出方向の切り替え

単票の排出方向を、テーブル側かシートスタッカ側かに切り替えられます。
単票手差しモードで指定できます。

- カットシートフィーダを取り付けているときは、シートスタッカ側へ排出します。
- 自動給紙モードのときは、シートスタッカ側へ排出します。
- 電源スイッチを「OFF」にすると、メニュー設定の排出方向に戻ります。恒久的に設定する場合は、メニュー設定を変更してください。

1 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2 「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

「排出方向」ランプが点灯している場合はテーブル側へ、消灯している場合はシートスタッカ側へ排出します。

連続紙をセットする

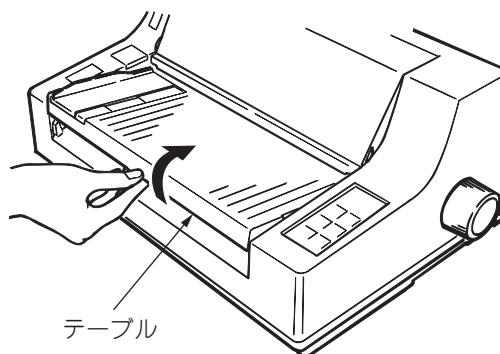
●連続紙のセット

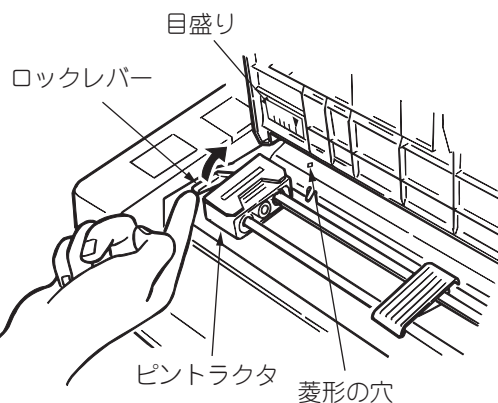
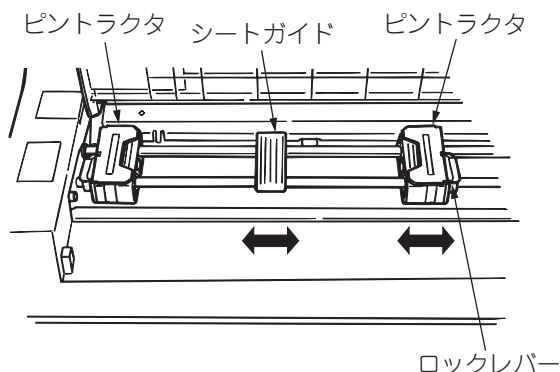
1 電源スイッチを「ON」にします。

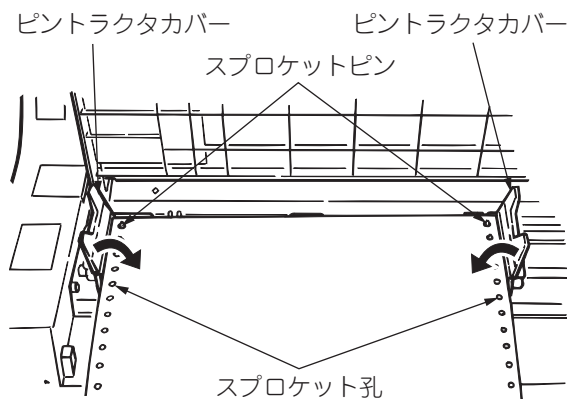
- 単票がセットされていた場合は、「用紙」ランプが点滅します。用紙を取り除いてから「印字可」スイッチを押して、「用紙」ランプを点灯させます。
- シートスタッカ上に単票が残っているときは、取り除きます。

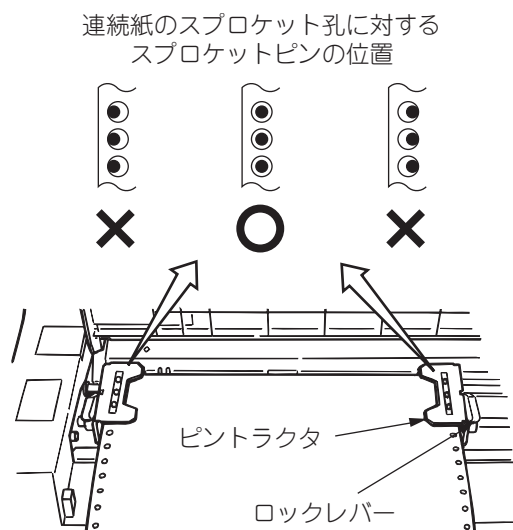
2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押して連続紙モードにします。

連続紙モードのとき「単票」ランプが消灯します。

3 テーブルを開きます。

4 左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

目盛上の「▼」の位置および菱形の孔の中心が、横方向の1文字目の中心になります。

5 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動します。
シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動します。

6 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

7 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。

注 連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

8 テーブルを閉じ、「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押します。

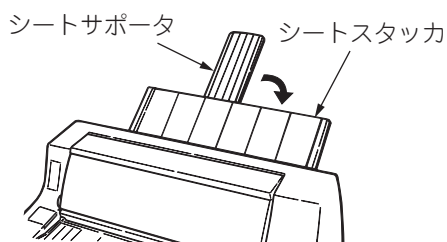
1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。

9 「**印字可**」スイッチを押します。

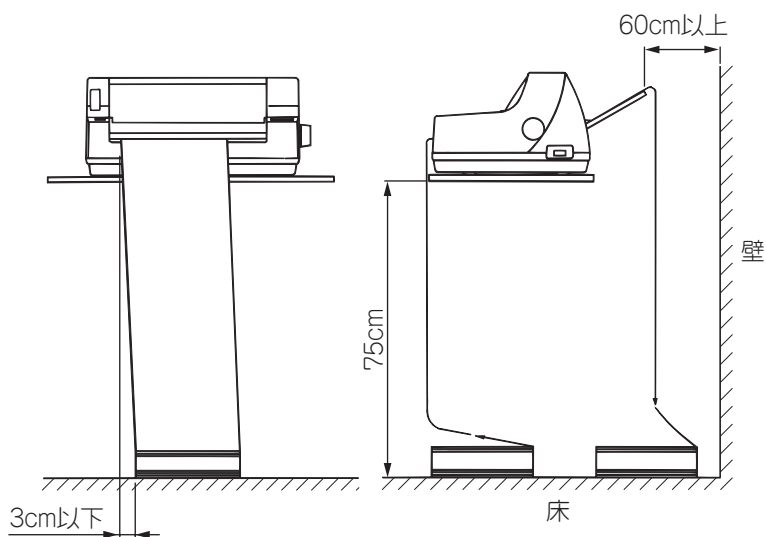
「印字可」ランプが点灯します。

注 連続紙が途中でつまってしまったときは、つまった連続紙を取り除き、再度セットし直してください。

4章

連続紙を使用するときはシートスタッカのシートサポータを収納してください。

4
章

連続紙の置きかた

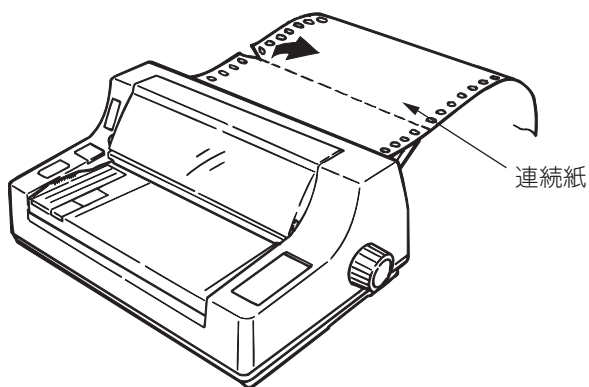
- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、3cm以下にしてください。
- プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。
- インタフェースケーブルや電源コードが用紙と干渉しないようにしてください。

●連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

◆印刷済の連続紙を切り取るとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**拡張／用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

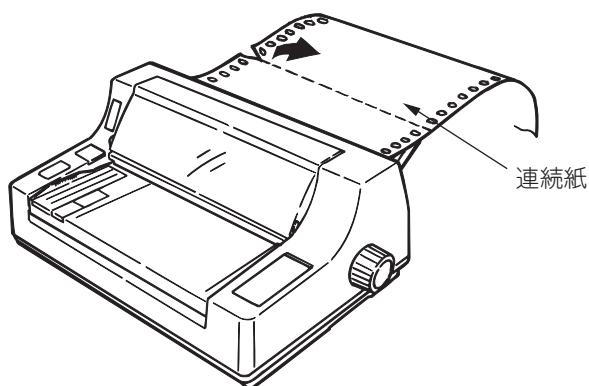
2 連続紙をミシン目から切り取ります。

3 もう一度「**拡張／用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

◆連続紙を外すとき

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**拡張／用紙カット**」スイッチを押します。

連続紙がシートスタッカ側に繰り出されます。

2 印刷済の連続紙をミシン目から切り取ります。

3 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

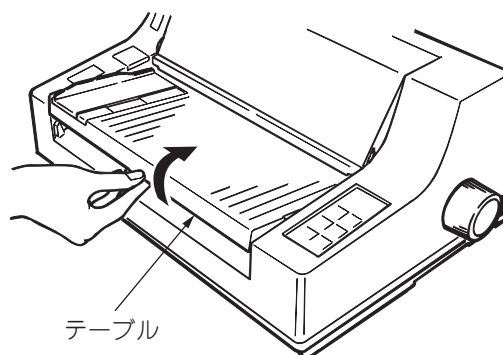
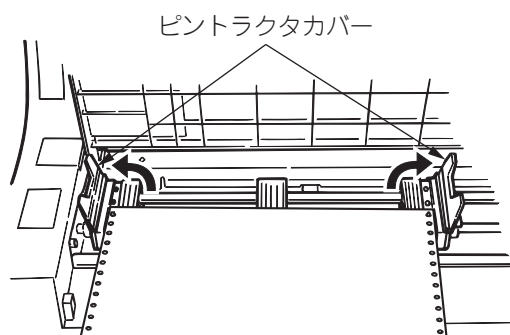
「印字可」ランプが消灯し、連続紙が元の位置に戻ります。

4 「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

注
- 連続紙の後退量は最高431.8mm（17インチ）です。431.8mm（17インチ）後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2回（863.6mm［34インチ］）以上連続して行うとジャムが発生する場合があります。

4章

5 テーブルを開きます。

6 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

7 ピントラクタカバーおよびテーブルを元に戻します。

参考 ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁／高速印字」スイッチを押して排出してください。

単票と連続紙の切り替え

●単票から連続紙への切り替え

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

2 「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押し、「単票」ランプを消灯させます。

3 連続紙をピントラクタにセット後、「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押します。

1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。

4 「**印字可**」スイッチを押し、オンライン状態にします。

●連続紙から単票への切り替え

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

連続紙がセットされている場合は、「ロード退避／自動給紙」スイッチを押して連続紙の先端をピントラクタまで後退させます。

2 「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押し、「単票」ランプを点灯させます。

3 単票をテーブルにセットします。

単票を自動的に吸入し、オンライン状態になります。

用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンタは、セットされた用紙の厚さを自動的に測定して最適な印字圧に調整する、オートギャップ調整機能（自動紙厚調整）を備えていますが、用紙の厚さが一様でない特殊な用紙を使用する場合、この機能が十分働きません。
特殊な用紙を使用する場合は、マニュアルギャップ調整（手動紙厚調整）で行ってください。マニュアルギャップ調整は、操作パネルでレンジの設定をするほか、メニューでも設定できます。

1 次の表から、使用する用紙の「最も厚い部分」の「レンジ値」を選びます。

用紙種類			レンジ値							
			1	2	3	4	5	6	7	8～15
単紙	連量 45～70kg(52～81g/m^2)		○							
単紙	連量 70～110kg(81～128g/m^2)			○						
単紙	連量 110～135kg(128～156g/m^2)				○					
単紙	はがき					○				
単紙	封筒						○			
複写紙	連量 45～70kg(52～81g/m^2)		○							
複写紙	連量 70～110kg(81～128g/m^2)			○						
複写紙	連量 34kg(40g/m^2)の裏カーボン紙または感圧紙	2枚		○						
複写紙		3枚			○					
複写紙		4枚				○				
複写紙		5枚					○			
複写紙		6枚						○		

レンジ値

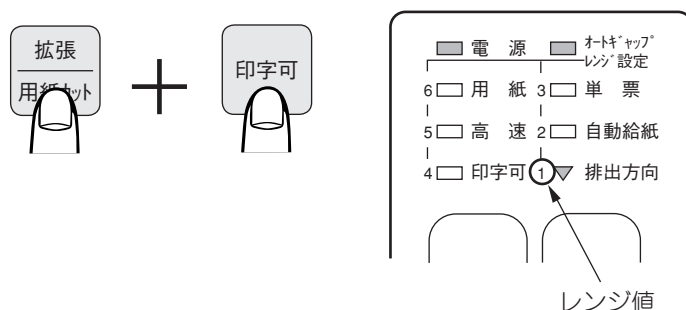
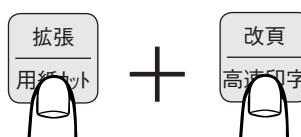
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
用紙全体の厚さ（mm）	0.06～0.10	0.10～0.15	0.15～0.20	0.20～0.25	0.25～0.30	0.30～0.35	0.35～0.40	0.40～0.45	0.45～0.50	0.50～0.55	0.55～0.60	0.60～0.65	0.65～0.70	0.70～0.75	0.75～0.80

一般的なコピー紙（連量55kgの場合）の用紙厚さは約0.08mmです。郵便はがき（連量163kg相当の場合）の用紙厚さは約0.23mmです。

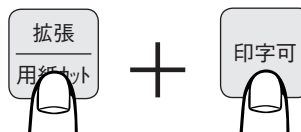
- レンジ値7～15も設定できますが、複写紙の印字品位が低下し、文字が判読できない場合があります。
- 用紙の厚さと異なったレンジ値で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じる恐れがあります。

2
「**印字可**」スイッチを押し、オフライン状態にします。

3 「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら「**印字可**」スイッチを押します。

「オートギャップ」ランプが点滅します。このとき点灯したランプの数字が、マニュアルギャップ調整のレンジ値を示します。

4 「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら「**改頁／高速印字**」スイッチまたは「**改行／通常印字**」スイッチを押して、設定したいレンジ値のランプを点灯させます。

- 「拡張／用紙カット」スイッチを押しながら「改頁／高速印字」スイッチを押すと、レンジ値が大きくなります。
- 「拡張／用紙カット」スイッチを押しながら「改行／通常印字」スイッチを押すと、レンジ値が小さくなります。
- レンジ値の表示は、ランプの数字の加算となります。例えば、レンジ7の場合、6ランプと1ランプが点灯します。

5 「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら「**印字可**」スイッチを押して、マニュアルギャップ調整を終了します。

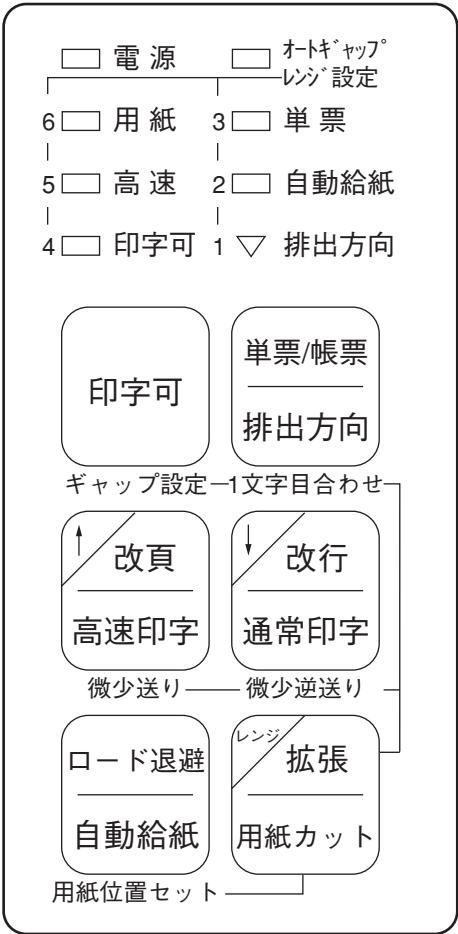
「オートギャップ」ランプが消灯し、レンジ値が設定されます。

参考

電源の再投入時も、このギャップレンジ値は有効です。オートギャップモードに戻す場合は、オフライン状態で「拡張／用紙カット」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。

5　プリンタをより活用するために

～便利な機能及びプリンタ設定の変更方法～

操作パネルの使い方

電源
オートギャップ
レンジ設定
6 用紙
3 単票
5 高速
2 自動給紙
4 印字可
1 排出方向
印字可
単票/帳票
排出方向
ギャップ設定
1文字目合わせ
改頁
高速印字
改行
通常印字
微少送り
微少逆送り
ロード退避
自動給紙
レンジ
拡張
用紙カット
用紙位置セット

●スイッチの機能

印字可

◆オンラインのとき
- オフラインにします。

◆オフラインのとき
- オンラインにします。
- アラームを解除します。
- 連続紙の用紙終了を検出したとき、そのままの状態で押すとペーパオーバライド機能が働きます。

ペーパオーバライド機能
連続紙の用紙終了を検出しても、このスイッチを押すと一行分データを印刷します。この機能を使うと、連続紙を最後まで有効に活用できます。

単票/連帳
排出方向

◆オンラインのとき
- 連続紙モード、自動給紙モードのとき
  無効です。
- 単票手差しモードのとき
  用紙の排出方向が設定され、スイッチを押すたびに排出方向が切り替わります。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  単票モードに切り替わります。
  用紙有りでは退避動作を行ったうえで切り替わりますが、退避しきれなかった場合は、連続紙モードを継続します。
- 単票モードのとき
  連続紙モードに切り替わります。

改頁
高速印字

◆オンラインのとき
- 高速印字に設定します。

注 高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  次のページの1行目まで連続紙を送ります。
- 単票手差しモード、自動給紙モードのとき
  単票を排出します。

改行
通常印字

◆オンラインのとき
- 通常印字に設定します。

◆オフラインのとき
- 1行改行します。押し続けると連続で改行します。

拡張
用紙カット

◆オンラインのとき

- 連続紙モードのとき
  連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると、元の位置に戻ります。
- 単票手差しモード、自動給紙モードのとき
  無効です。

◆オフラインのとき

- このスイッチを押しながら「印字可」、「単票/帳票／排出方向」、「改頁／高速印字」、「改行／通常印字」、「ロード退避／自動給紙」の各スイッチを押すことにより、スイッチの機能を変えることができます。

ロード退避
自動給紙

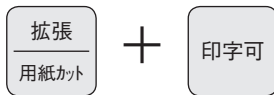
◆オンラインのとき

- 単票手差しモードのとき
  カットシートフィーダが装着されている場合に、2秒間押し続けると自動給紙モードに切り替えます。単票が給紙されているときは排出します。
- 自動給紙モードのとき
  2秒間押し続けると単票手差しモードに切り替えます。単票が給紙されているときは排出します。

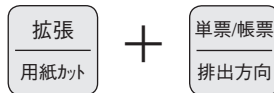
◆オフラインのとき

- 連続紙モードのとき
  ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
  連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。

注 連続紙の後退量は、最大431.8mm（17インチ）です。431.8mm（17インチ）後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
連続紙の後退動作は、2回（863.6mm［34インチ］）以上連続で行うと用紙ジャムになる場合があります。

- 単票手差しモードのとき
  単票が給紙されているときに押すと、単票が排出されます。
- 自動給紙モードのとき
  単票が給紙されていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。
  単票が給紙されているときに押すと、単票が排出されます。

〔ギャップ設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- オートギャップモードのときは、マニュアルギャップ調整モードに入ります。
- マニュアルギャップ調整モードのときは、調整を完了し、マニュアルギャップモードになります。
- マニュアルギャップモードのときは、オートギャップモードになります。

〔1文字目合わせ〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされていないときに押すと、1文字目印字位置設定モードになります。

〔微少送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。

〔微少逆送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。

注　用紙の逆送り量は累計で8.47mm（1/3インチ）以内にしてください。印字ズレの原因になります。

参考

微少送り、微少逆送りのピッチは、0.14mm（1/180インチ）です。また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。

〔用紙位置セット〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 単票手差しモード、自動給紙モードのとき
  用紙をセットしているときにスイッチを押すと、その位置を1文字目印字位置としてセットします。（ただし、電源を投入している間のみ有効です。）
  用紙がセットされていないときに押すと、上記の方法で設定された1文字目印字位置の値を解除し、メニュー設定の用紙頭出し位置を1文字目印字位置としてセットします。
- 連続紙モードのとき
  用紙をセットしているときにスイッチを押すと、その位置を用紙フォーマットの第1行目とします。
  用紙がセットされていないときは無効です。

●ランプの表示機能

ランプ	状態	内容
■電源（緑）	点灯	電源が入っている
	消灯	電源が切れている
■印字可（緑）	点灯	オンライン（印字可）
	消灯	オフライン（印字不可）
	点滅	• メニュー設定中 • 復旧不可能アラーム状態 （「用紙」ランプと共に点滅）
■高速（緑）	点灯	高速印字モード
	消灯	通常印字モード
	点滅	1文字目印字位置設定モード
■単票（緑）	点灯	単票モード
	消灯	連続紙モード
	点滅	用紙カット動作中
■用紙（赤）	点灯	• ペーパエンド状態 • 用紙頭出し位置の補正の限界状態時
	消灯	給紙済み状態（単票モードのときは通常は未給紙でも消灯します）
	点滅	• 単票抜き取り待ち状態 • 用紙ジャムアラーム状態 • 媒体切替アラーム状態 • CSFアラーム状態 • サーマルアラーム状態 • 復旧不可能アラーム状態 （「印字可」ランプと共に点滅） • 用紙頭出し位置補正中
■自動給紙（緑）	点灯	単票自動給紙モード
	消灯	• 単票手差しモード • 連続紙モード
	点滅	単票給紙待ち状態
▼ 排出方向（緑）	点灯	テーブルへ単票を排出する
	消灯	スタッカへ単票を排出する
■オートギャップ（緑）	点灯	オートギャップモード
	消灯	マニュアルギャップモード
	点滅	• マニュアルギャップ調整中 （他のランプでギャップレンジを表示）

5章

メニュー設定

●メニュー項目一覧

本プリンタで変更できる項目には、次のようなものがあります。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
1	受信バッファ選択	受信バッファサイズを設定します。	使用しない 使用する
2	コード表	ANK文字コード表を選択します。	拡張グラフィックス カタカナ
3	ページ長設定	連続紙のページ長を選択します。	279.4mm(11インチ) 304.8mm(12インチ)
4	ミシン目スキップ設定	ミシン目スキップを選択します。	なし 25.4mm(1インチ)
5	文字品位設定	ANK文字品位の設定を選択します。	LQ(高品位) ドラフト
6	オートCR	CRコード受信時の動作を選択します。	CR CR+LF
7	単票排出方向 (手差し)	単票手差し時の用紙排出方向を選択します。	テーブル側 スタッカ側
8	手挿入給紙待ち時間	用紙吸入待ち時間を選択します。	0.5秒 1.0秒 2.0秒
9	単票頭出し位置 (手差し)	単票手差し給紙時の頭出し基準位置を選択します。(1文字目文字中心まで) 一文字目設定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm(1/12インチ) 6.35mm(1/4インチ) 10.58mm(5/12インチ) 23.28mm(11/12インチ) 25.4mm(12/12インチ) 27.52mm(13/12インチ) 一文字目設定位置
10	単票頭出し位置 (自動給紙)	カットシートフィーダを取り付けたときの、頭出し基準位置を選択します。(1文字目文字中心まで)一文字目設定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm(1/12インチ) 6.35mm(1/4インチ) 10.58mm(5/12インチ) 23.28mm(11/12インチ) 25.4mm(12/12インチ) 27.52mm(13/12インチ) 一文字目設定位置
11	帳票頭出し位置	連続紙給紙時の頭出し基準位置を選択します。 一文字目設定位置は、一文字目印字位置の恒久的な設定を行った場合、印字されます。	2.12mm(1/12インチ) 6.35mm(1/4インチ) 10.58mm(5/12インチ) 23.28mm(11/12インチ) 25.4mm(12/12インチ) 27.52mm(13/12インチ) 一文字目設定位置

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
12	印字幅	1行の最大印字桁を設定します。	106桁 80桁
13	ゼロフォント字体	30H ANKコード受信時の印字フォントパターンを選択します。	0(スラッシュ無し) Ø(スラッシュ有り)
14	単票PE出力	単票手差しモード時、用紙終了(未給紙状態)を検出したとき、ペーパエンド出力を行うか、行わないかを選択します。	PE出力あり PE出力なし
15	縦2倍拡張時の印字方向	行内に縦2倍拡張印字データが存在するとき、および2度打ちモード時の印字方向を選択します。	両方向 片方向
16	片方向印字コマンド	片方向印字設定コマンドの有効／無効を選択します。	有効 無効
17	電源投入時の漢字モード設定	電源投入時の漢字モードの設定／解除を選択します。 (本項目は、電源投入時のみ適用され、I-PRIME受信時は適用されません。)	設定 解除
18	電源投入時の用紙位置	電源投入時に用紙がある場合の用紙位置を選択します。 (連続紙モード時のみ有効)	現在位置 カット位置
19	帳票カット機能	連続紙のミシン目カット位置への送り出し方法の手動／自動モードを選択します。	手動モード 自動モード
20	単票自動排出位置	単票使用時の排出検出位置を選択します。(用紙の下端からの距離)	6.35mm 14.8mm
21	ANK書体	ANK書体を選択します。	ローマン クーリエ サンセリフ OCR-B
22	単票モード時のFFコード	単票手差しモード時のFFコードの機能を選択します。	改頁 排出
23	単票ボトム検出時の排出条件	単票手差しモードおよび自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。	自動排出 FFコード

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
24	用紙厚調整モード	用紙厚調整モードを選択します。	自動 手動
25	マニュアルギャップレンジ	マニュアルギャップのレンジ位置を選択します。	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15
26	双方向I/F	双方向インタフェースの有効/無効を選択します。	有効 無効
27	AUTO FEED XT信号機能	AUTO FEED XT信号の有効/無効を選択します。	有効 無効
28	DC1/DC3	SLCT IN信号の有効/無効を選択します。	有効 無効
29	単票LF精度補正	単票モード時、改行量に対して補正します。	0 （±5まで補正可能）
30	単票頭出し位置補正 （手差し）	単票手差し給紙時の、頭出し基準位置に対する補正値を設定します。 （1/120インチ単位で、＋の場合は末端方向へ、－の場合は先端方向へ補正します。）	±15まで補正可能 （出荷時、適正値に調整されます）
31	単票頭出し位置補正 （自動給紙）	カットシートフィーダを取り付けたときの、頭出し基準位置に対する補正値を設定します。 （1/120インチ単位で、＋の場合は末端方向へ、－の場合は先端方向へ補正します。）	±15まで補正可能 （出荷時、適正値に調整されます）
32	帳票頭出し位置補正	連続紙給紙時の、頭出し基準位置に対する補正値を設定します。 （1/120インチ単位で、＋の場合は末端方向へ、－の場合は先端方向へ補正します。）	±15まで補正可能 （出荷時、適正値に調整されます）

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	機　能	設定値
33	水平印字位置補正（通常）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 通常印字速度において、1/360インチ単位で左右に補正します。	印字可←　→拡張 （出荷時、適正値に調整されます）
34	水平印字位置補正（高速）	リバース方向印字時の印字開始基準位置に対する補正値です。 高速印字速度において、1/360インチ単位で左右に補正します。	印字可←　→拡張 （出荷時、適正値に調整されます）
35	CSF時の手差し給紙	自動給紙モードにおいて、給紙可能な状態でテーブル上に用紙をセットした場合にセミオートローディング機能の有効/無効を選択します。	有効 無効

2.12mm（1/12インチ）に設定はできますが、印字品質は保証されません。
2.12mm（1/12インチ）から用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ、折れや紙づまりが発生する場合があります。

単票LF精度補正は、あらかじめ枠線等がプレプリント印刷されている単票を使用するときに、改行ピッチが合わない場合に補正する機能です。
設定値に対する補正量は表のとおりです。

設定値	100mmあたりの補正値
±1	±0.07mm
±2	±0.21mm
±3	±0.35mm
±4	±0.49mm
±5	±0.63mm

注　頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。

5章

●現在のメニュー設定を確認する

ここでは､不揮発性メモリ内に格納されているメニュー情報の確認方法について説明します。メニューの内容の印字には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10～12インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、オートギャップモードでA4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定内容の確認方法を説明します。

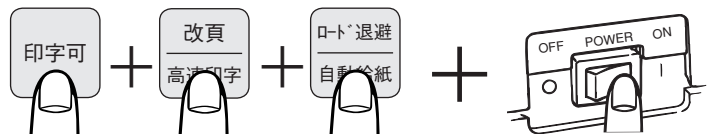
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押して単票モードにします。

単票モードのとき「単票」ランプが点灯します。

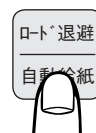
3 電源スイッチを「**OFF**」にします。

4 「**印字可**」＋「**改頁／高速印字**」＋「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押しながら､電源スイッチを「**ON**」にします。

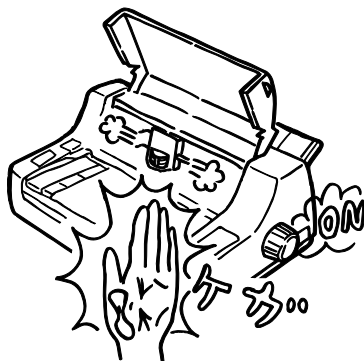
印字ヘッドが動き始めたらスイッチから指を離します。

5 テーブルに単票をセットします。

現在設定されているメニューのすべての項目と設定値が印字されます。
メニュー設定印刷中は､「印字可」ランプが点滅します。

6 印字が止まったら､「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押します。

「メニュープリント終了」と印字され、単票が排出されます。

●メニュー設定を変更する

メニューの設定内容を変更するには、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10〜12インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、オートギャップモードでA4サイズの単票を使用する場合を例にとって、設定変更方法を説明します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

アクセスカバーを開けて、メニューの設定変更をしないでください。
メニューの設定変更中は、印字ヘッドが動くので危険です。

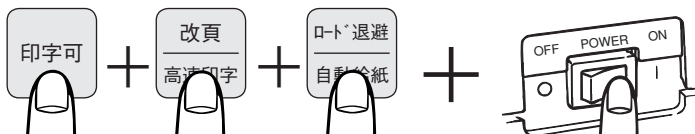
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押して単票モードにします。

単票モードのとき「単票」ランプが点灯します。

3 電源スイッチを「**OFF**」にします。

4 「**印字可**」＋「**改頁／高速印字**」＋「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」します。

印字ヘッドが動きだしたらスイッチから指を離します。

5 テーブルに単票をセットします。

現在設定されているメニューの、すべての項目と設定値を印字します。
メニュー設定印刷中は、「印字可」ランプが点滅します。

6 「**改頁／高速印字**」スイッチまたは「**改行／通常印字**」スイッチを押して、設定を変更したい項目を印字させます。

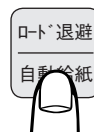
参考 「改頁／高速印字」スイッチを押すたびに設定項目が順送りで印字され、「改行／通常印字」スイッチを押すたびに、逆送りで印字されます。

7 変更したい項目が印字されたら、「**印字可**」スイッチまたは「**拡張／用紙カット**」スイッチを押して、変更したい設定値を印字させます。

参考 「印字可」スイッチを押すたびに設定値が順送りで印字され、「拡張／用紙カット」スイッチを押すたびに設定値が逆送りで印字されます。

8 さらに変更したい項目があれば、手順7、8を繰り返します。

9 「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを押して、メニューの設定変更を終了します。

スイッチを押すと「メニュープリント終了」と印字されます。
それぞれの項目は、最後に印字された設定値がプリンタに記憶されます。

注
- メニューの設定変更時は、操作パネルのスイッチの機能が通常と異なります。
- メニューの設定変更中に用紙終了になったときは、新しい用紙をセットしてください。設定変更が続行されます。
- 「ロード退避／自動給紙」スイッチを押す前に電源スイッチを「OFF」にしたときは、設定値は変更されません。

5章

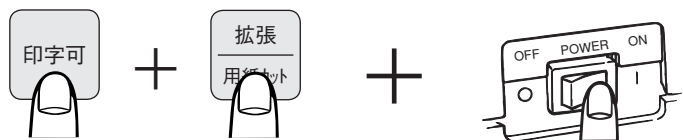
●メニュー設定を初期化する

すべてのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

注 メニュー項目のうち、頭出し位置補正と水平印字位置補正は初期化されません。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。

プリンタの便利な機能

●通常印字／高速印字の設定

このプリンタには、通常印字モードと高速印字モードがあります。
通常印字は、文章を清書するときに使用します。
高速印字は、テスト印字やプログラムリストの印字などを速く行うのに便利です。
電源投入時は、通常印字になります。

注　高速印字では、文字のパターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄くなります。

◆通常印字の設定

5章

1　「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2　「**改行／通常印字**」スイッチを押します。

「高速」ランプが消灯します。

印字中に「改行／通常印字」スイッチを押すと、高速印字から通常印字となります。

◆高速印字の設定

1　「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2　「**改頁／高速印字**」スイッチを押します。

「高速」ランプが点灯します。

印字中に「改頁／高速印字」スイッチを押すと、通常印字から高速印字となります。

●1文字目の印字位置を設定する

1文字目の印字位置を任意の位置に設定することができます。
1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで用紙が自動給紙されて停止する位置をいいます。メニュー設定値以外の値を使いたいときに使用します。

1文字目印字位置には、次のものがあります。
- プリンタが本来から持っている値（初期値）
- 電源を投入している間のみ記憶している値（一時的な設定）
- 新たに設定され、電源を切ってもメモリ内に記憶し続ける値（恒久的な設定）

1文字目印字位置の設定は、単票手差し、カットシートフィーダ、連続紙でそれぞれ別々に設定できます。

1 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

用紙が給紙されていた場合は、排出させます。

2 用紙の種類に応じて、オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押し、単票モードまたは連続紙モードにします。

単票モードのときは、「単票」ランプが点灯します。

3 横方向の1文字目の位置を合わせます。

単票手差しの場合は、ペーパガイドを調整します。
カットシートフィーダの場合は、用紙ガイドを調整します。
連続紙の場合は、ピントラクタを調整します。

4 カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに、用紙をセットします。

注 単票手差しの場合は用紙を入れません。まだ、給紙しないでください。

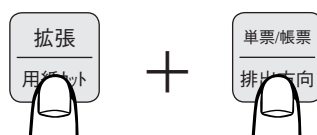
5 「印字可」ランプが消灯していることを確認します。

カットシートフィーダの場合、「印字可」スイッチを押してオフライン状態にします。

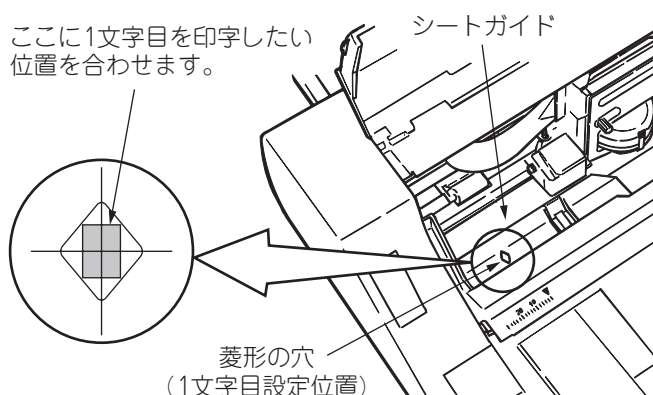
6 「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

1文字目印字位置設定モードになります。

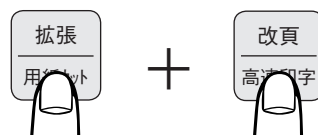
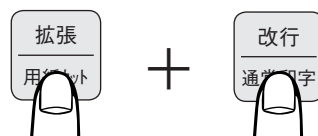
- 単票手差しモードの場合
  自動給紙ランプが点滅を始めます（単票手差し待ち状態）。単票をプリンタにセットしてください。自動的に用紙上端より1/4インチの位置に用紙を送った後、「高速」ランプが点滅します。
- カットシートフィーダ、連続紙の場合
  用紙を用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置まで吸入したあと、「高速」ランプが点滅します。

5章

7 縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

①1文字目の中心位置がどこになるか、確認します。

シートガイドの菱形の孔の中心が、1文字目の中心位置になります。

②以下のスイッチを操作して、菱形の孔の中に1文字目を合わせます。

順方向に1改行　：「**改行／通常印字**」スイッチを押します。

順方向に微少送り：「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら、「**改頁／高速印字**」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら、「**改行／通常印字**」スイッチを押します。

1文字目印字位置が決まったら、恒久的な設定または、一時的な設定をします。

〔恒久的な設定にする場合〕

•「**印字可**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置がメモリに記憶され、1文字目印字位置まで用紙が送られます。以後この位置が1文字目印字位置になります。
設定した値は、次に変更するまで継続されます。

〔一時的な設定にする場合〕

•「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置が一時的に記憶され、1文字目印字位置まで用紙が送られます。
設定した値は、電源を投入している間と、I-PRIME受信まで継続されます。

注

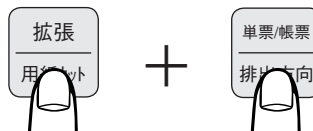
- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2〜3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

●1文字目印字位置をリセットする

〔恒久的な設定のリセット〕
「恒久的な設定」でセットした1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、6.35mm（1/4インチ）（工場出荷時設定）になります。

メニュー設定内容を初期化した場合も、リセットされます。
（116ページ）

1 118、119ページの1～6の手順を行い、1文字目印字位置設定モードにします。

2 「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら、「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

〔一時的な設定のリセット〕
「一時的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、メニューで現在セットされている値になります。

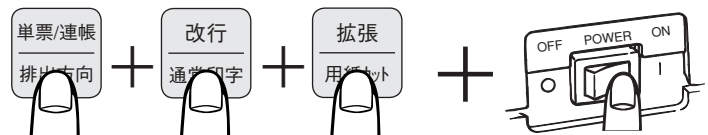
1 電源を入れ直します。

●HEXダンプをとる

HEXダンプモードでは、受信したデータをすべて16進数で印字します。
ホストコンピュータからプリンタに正しいデータが送られているか、確認できます。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**単票/連帳／排出方向**」＋「**改行／通常印字**」＋「**拡張／用紙カット**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。

3 プリンタに用紙をセットして、印字データを送ります。

用紙を吸入した後、「Hex Dump Mode」と印字されます。
受信したデータが全て16進数で印字されます。

4 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にすると、HEXダンプモードは解除されます。

注 HEXダンプ印字を行う場合には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10〜12インチ幅の連続紙を使用してください。

●バーコードの印字

このプリンタには、バーコードを印字する機能があります。
ここでは概要を説明します。コントロールコマンドについては、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで「拡張コントロールコマンドの仕様」が格納されております。詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

注 Windows環境では使用できません。

◆バーコードの種類

このプリンタで印字できるバーコードの種類は下表のとおりです。

バーコードの名称	文字種	桁数
NW-7	データ　：　数字0〜9 記号 - $. / : + ¥ スタート/ストップ ：　a b c d e t n *	可変(20)
JAN標準	データ　：　数字0〜9	12+CD(13)
JAN短縮	データ　：　数字0〜9	7+CD(8)
Code_39	データ　：　数字0〜9 英字A〜Z 記号 - $. / + % (SP) スタート/ストップ ：　*	可変(20)
Interleaved 2 of 5	データ　：　数字0〜9	可変(20)
カスタマバーコード	データ　：　数字0〜9、英字A〜Z 記号ー	可変 (Min 7、Max 23)

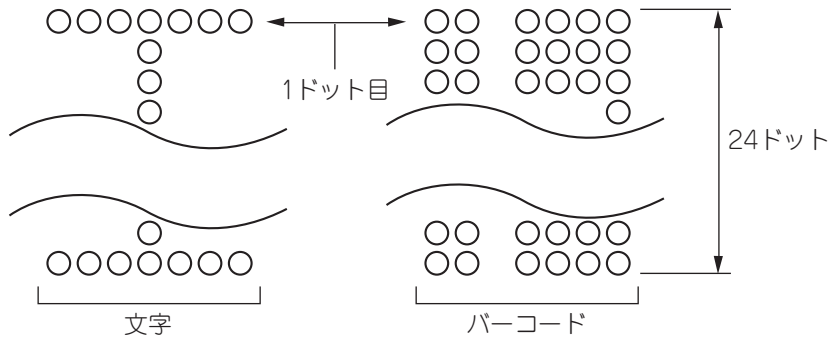
- CD : チェックディジットを示します。
- 桁数の（　）内は最大桁数を示します。

参考

カスタマバーコードとは、あらかじめ郵便物にバーコードを印刷し、料金割引を受けようとするものです。
詳しくは、日本郵便のホームページをご覧ください。

〔NW-7、JAN標準/ 短縮、Code 39、Interleaved 2 of 5〕

◆バーコードの印字位置

バーコードの印字位置は、文字およびイメージデータと同様に、縦1ドット目をバーコードの1ドット目とし、縦24ドットで印字します。

- バーコードと文字が同一行に混在する次のような場合、改行量を調整しながら印字させる必要があります。

亜唖
亜唖
亜唖

亜唖
亜唖
亜唖

【文字の改行ピッチが1/6インチの場合】

① バーコード前の文字データ（亜、唖）とスペース、バーコード印字コマンド（バーエレメント指定）および、バーコード後のスペースと文字データ（亜、唖）を送信。
（バーコード印字コマンド受信後、印字起動となる。）
② 印字復帰コマンド、および24/180インチの改行コマンドを送信。
③ 手順①～②を繰り返します。

◆バーコードご使用時のご注意

- バーコード印字コマンドで印字するバーコードは、ドットを組み合わせて印字するため、本来の規格と多少異なる場合があります。このプリンタで印字されたバーコードの読み取りに関しては、お客様が読み取り確認された上で、ご使用ください。
- 印字が薄くなったインクリボンでバーコードを印字すると、読み取れない場合があります。バーコードを印字する場合は、新しいリボンカートリッジを使用してください。

〔カスタマバーコード〕

◆カスタマバーコードの生成

カスタマバーコードに必要な文字情報は、新郵便番号と住所表示番号です。

新郵便番号 .... 町域名までの住所に設定された新郵便番号です。
住所表示番号............... 町域名以降の住所からバーコードに必要な文字情報を ハイフンで結んだものです。
ビル、マンション等の棟・室番号も含みます。

例） 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
↓ 100-0013（新郵便番号）
↓ 1-3-2-503（住所表示番号）

① 住所 ：〒100-0013
　東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
② 新郵便番号＋住所表示番号変換 ：100-0013　1-3-2-503
③ 新郵便番号の3～4数桁目のﾊｲﾌﾝを省く：10000131-3-2-503
④ カスタマバコード桁調整 ：10000131-3-2-503　CC4 CC4 CC4 CC4
⑤ ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(CD) 算出 ：1+0+0+0+0+1+3+1+10+3+10+2+10+5+0+3+14+14+14+14
　=105+CD=19の倍数
　→CD=114(19の倍数)-105=9
⑥ ｽﾀｰﾄｺｰﾄﾞ,ｽﾄｯﾌﾟｺｰﾄﾞ,ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを付加 ：STC 1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
⑦ ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字ｺﾏﾝﾄﾞ送信

注　スタートコード、ストップコードおよびチェックディジットはプリンタが付加します。送信するバーコードデータは"1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3"となります。

参考

スタートコード、ストップコードおよびCC1～CC8を付加する場合は、下表［表1］の数字に置き換えて送信してください。
本コードは本プリンタで独自に割り当てたもので、日本郵便のカスタマバーコードの仕様にはありません。また、本コードはバーコード印字コマンド（カスタマバーコード指定）のときのみ有効です。

［表1］

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	STC	SPC	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾃﾞｰﾀ送信用数字	02	03	11	12	13	14	15	16	17	18

（16進）

◆チェックディジットの計算方法

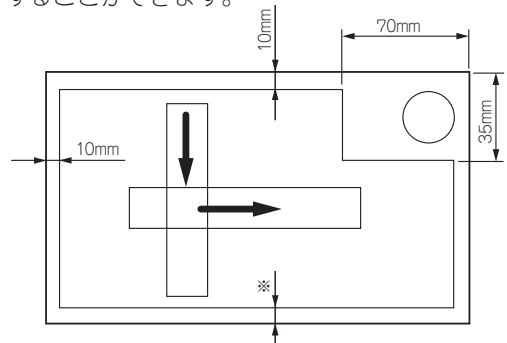
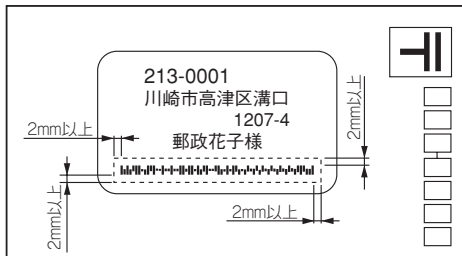
チェックディジットは、新郵便番号と住所表示番号の各バーコード用キャラクタをチェックディジット計算対応表［表2］からチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

［表2］

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ﾁｪｯｸ用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾁｪｯｸ用数字	10	11	12	13	14	15	16	17	18

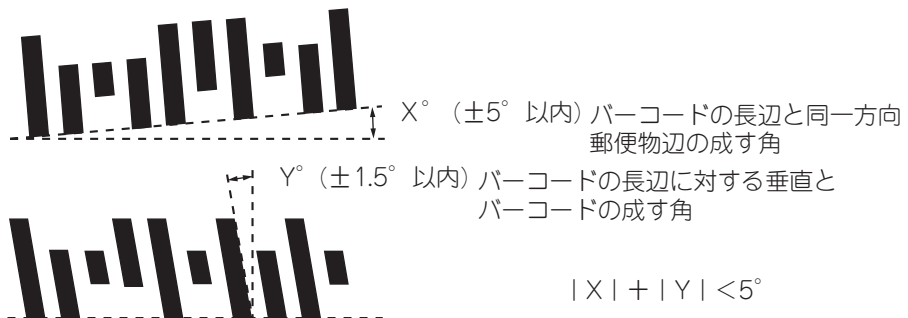
◆カスタマバーコードの印字位置

カスタマバーコードの上下左右には、2mm以上の空白を設けるものとします。ただし、窓枠とカスタマバーコードの間の空白は、封筒と内容物のズレにかかわらず、常に上下左右とも2mm以上を確保するものとします。
宛名を横書きする場合は、最下行（宛名氏名の直下）にカスタマバーコードを単独で印字することとし､宛名を縦書きする場合には､左右または下部に単独で印字することとします。
なお、カスタマバーコードは、下図のように郵便物の表面の縁から10mmおよび消印領域である70mm×35mmを除いた範囲内に印字することができます。

※部は、できる限り縁から15mm以上

◆カスタマバーコードが印字される下地

カスタマバーコードが印字される下地は、白色または地模様のない淡い色とします。

◆カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が5度以内になるようにします。またバーコードの長辺に対する垂線とバーコードとの成す角は1.5度以内になるようにするものとし、上記2つが混在する場合には、2つの傾ぎの絶対値を加えたものが5度以内になるようにします。

◆使用するインクリボン

印刷色黒色のインクリボンを使用してください。 印字が薄くなったインクリボンを使用すると、読み取りができなくなる場合があります。

◆印字品質

カスタマバーコード印字面には､反射率50％以上の紙を使用し､印字面とカスタマバーコードとの反射率PCS(Print Contrast Signal)は、0.6以上とします。
また、カスタマバーコードには、インクのにじみやかすれなどが極力ないものとします。
インクリボンが新品の場合、インクのにじみが生じることがあります。

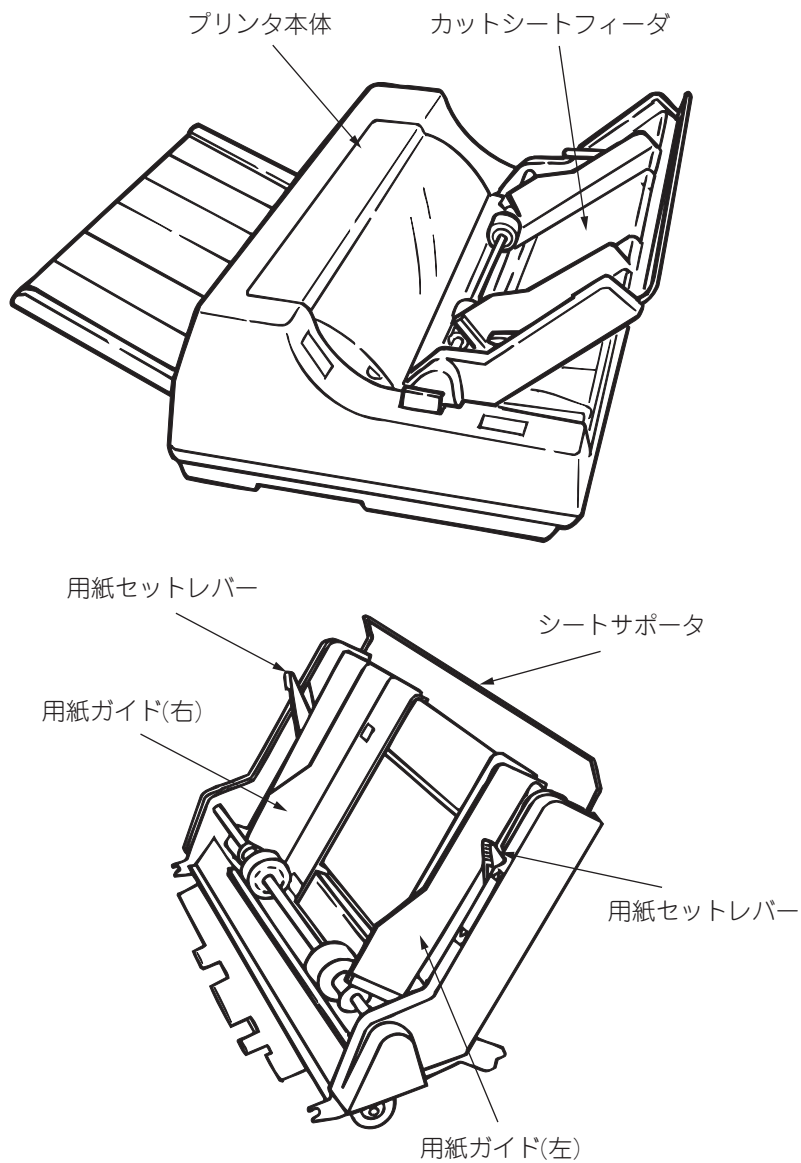
6　オプション

～取り付けから使い方まで～

カットシートフィーダ

プリンタにカットシートフィーダ(CSF)を取り付けることにより、単票、はがき、封筒を自動的に連続給紙できます。

●外観と各部の名称

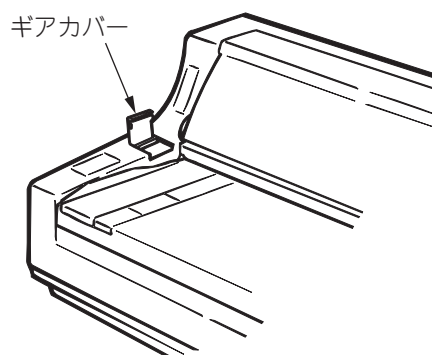
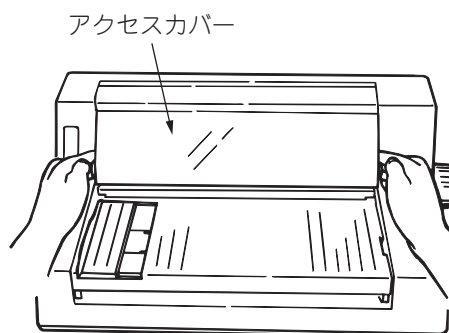
6
章

●カットシートフィーダの取り付け、取り外し

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

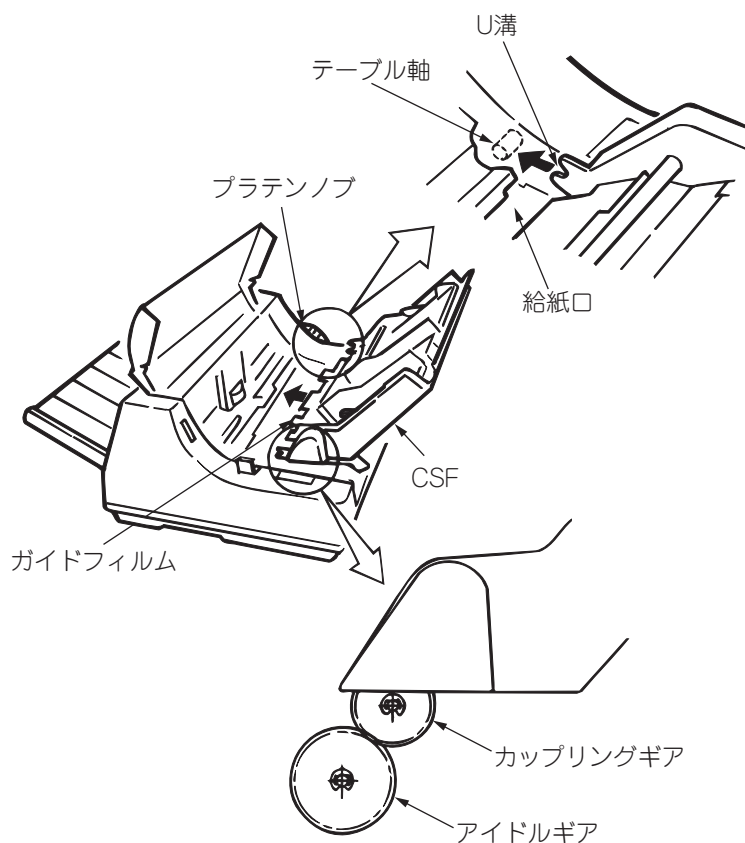
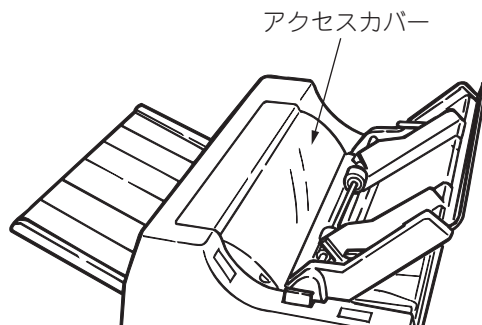
プリンタは単票モードにしておきます。

2 ギアカバーを開きます。

3 アクセスカバーを開きます。

6章

4 カットシートフィーダを持ち、両側のU溝をプリンタのテーブル軸に差し込み、そのままカットシートフィーダ全体を静かに下におろします。

このとき、カットシートフィーダのカップリングギアがプリンタのアイドルギアと正確に噛み合っていることを確認してください。

また、カットシートフィーダ前面のガイドフィルムが、プリンタの給紙口に正しく挿入されていることを確認してください。

5 アクセスカバーを閉じます。

6 プリンタの電源スイッチを「**ON**」にします。

7 「自動給紙」ランプが点灯することを確認します。

カットシートフィーダの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

注 リボンカートリッジの交換は、カットシートフィーダを取り外してから行ってください。カットシートフィーダを外したときは、必ずプリンタのギアカバーを閉じてください。
動作中誤って指等を入れ、けがをする恐れがあります。

●単票のセット

用紙をまとめてカットシートフィーダにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

注 使用できる用紙は、単票、はがき、封筒です。
用紙の挿入方向、用紙の規格については「用紙規格および印字範囲」(173ページ)を参照してください。

1 用紙セットレバーを「**用紙補給**」にします。

2 用紙ガイド(左)をセットします。

普通紙の場合

① 用紙ガイド(左)をプリンタの給紙口上部の目盛に合わせてセットします。

この調整により、1文字目が用紙左端から6.35mm〜28.57mmの範囲で任意に設定できます。

② 次に、用紙ガイド(右)を使用する用紙の幅に合わせます。

はがきの場合

① 用紙ガイド(左)を右側に突き当てます。

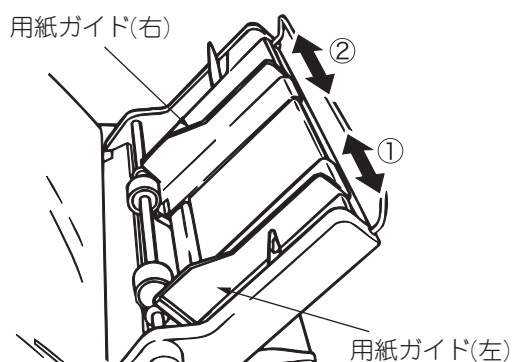
この調整により、1文字目がはがき左端から6.35mmのところに印字されます。(設定値固定)

② 次に、用紙ガイド(右)をはがきの幅に合わせます。

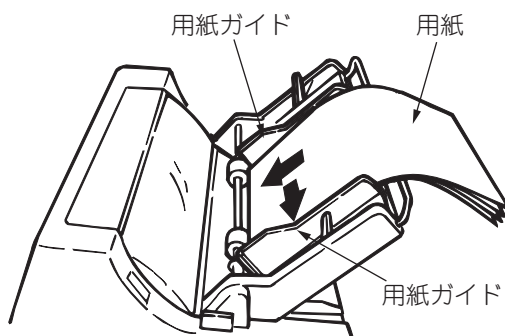
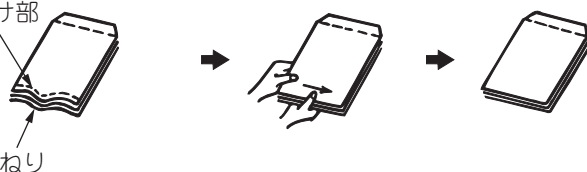
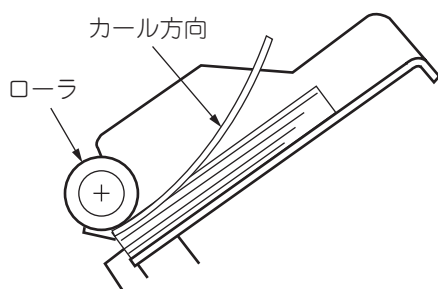
封筒の場合

① 用紙ガイド(左)を左端に突き当てます。

この調整により、1文字目が封筒のフラップ部基準端から約28.57mmのところに印字されます。(設定値固定)

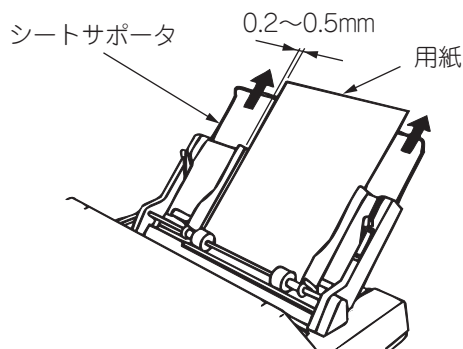
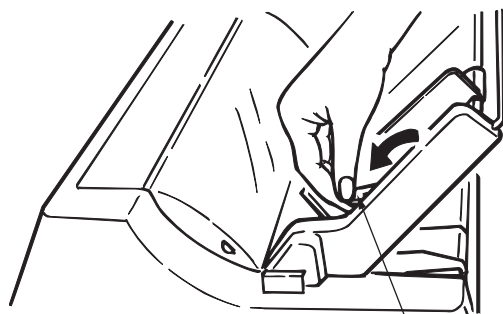
② 次に、用紙ガイド(右)を使用する封筒の幅に合わせます。

3 用紙の左端を用紙ガイド（左）に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

印刷する面を表にします。

注

- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。
- 用紙ガイドの赤線を超えないよう、用紙をセットしてください。
  一般紙の場合、連量55kg用紙で約80枚です。
  複写紙の場合、5P紙で約20枚です。
  はがきの場合、郵便はがきで約30枚です。
  封筒の場合、原紙坪量85g/m2で約20枚です。
- 折り目、しわ、傷、反りがあるもの、用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質、厚さ、大きさの異なる用紙を、混ぜて使用しないでください。
- 郵便はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。
- はがきの場合、反りは2mm以下とし、上カールでセットしてください。

- 封筒の場合、カールのついた封筒やのり付け部が折れたり曲がったりしている封筒は使用しないでください。また、同一サイズの封筒であっても、寸法の異なるものは一度にセットしないでください。

4 用紙ガイド（右）を、用紙の幅に合わせます。

お使いの用紙サイズに合わせてシートサポータを引き出します。

6章

5 用紙セットレバーを、静かに「**印刷**」にします。

注
- カットシートフィーダ接続時は、単票の排出方向がシートスタッカ側（後方）のみとなります。テーブル側（手前）への排出はできません。
- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止しもう一度セットし直してください。
- 用紙をカットシートフィーダに長時間放置しないでください。
- カットシートフィーダの場合、用紙の逆改行は1回の吸入に対して累計で1/3インチ以内です。

●自動給紙モードと単票手差しモードの切り替え

カットシートフィーダを取り付けたまま、単票を手差しで給紙できます。
手差し給紙から自動給紙に切り替えることもできます。

1 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2 「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを2秒以上押します。

自動給紙モードのときは、自動給紙ランプが消灯し単票手差しモードになります。
単票手差しモードのときは、自動給紙ランプが点灯し自動給紙モードになります。

3 単票手差しモードの場合は、カットシートフィーダの下から単票を入れます。

●自動給紙モードと連続紙モードの切り替え

カットシートフィーダを取り付けたまま、連続紙を使用できます。

◆連続紙モードへの切り替え

1 単票が残っている場合は、排出します。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

「単票」ランプが消灯します。

3 連続紙をプリンタにセットします。

給紙方法は「連続紙をセットする」（91ページ）を参照してください。

4 「**印字可**」スイッチを押して、オンライン状態にします。

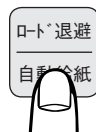
◆自動給紙モードへの切り替え

1 連続紙をピントラクタまで後退します。

後退させるには、「連続紙を外すとき」（96ページ）を参照してください。

2 オフライン状態で「**単票/帳票／排出方向**」スイッチを押します。

「単票」ランプが点灯します。

3 「**ロード退避／自動給紙**」スイッチを2秒以上押し、「自動給紙」ランプを点灯させます。

連続紙モードに切り替える前に、自動給紙モードで使用していた場合、「自動給紙」ランプが自動的に点灯します。

7　こんなときには

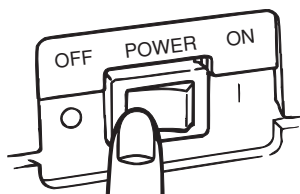
～印刷がおかしいとき、エラー表示がでたとき～

リボンカートリッジの交換

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジを交換してください。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

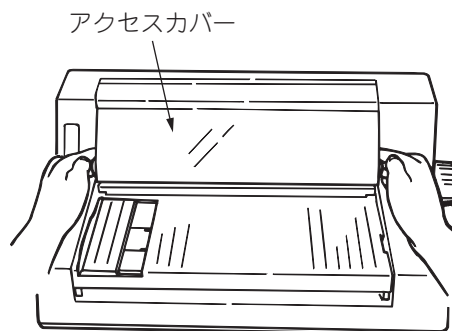
印字直後は印字ヘッドが高温になっています。
印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの交換は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

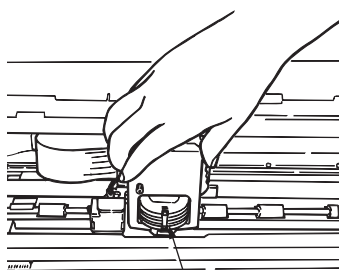
1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

7章

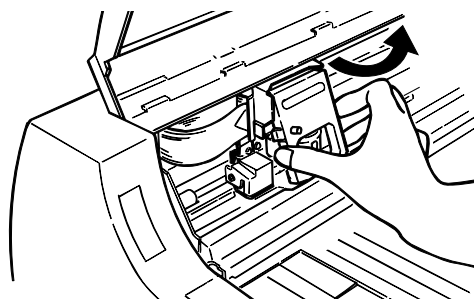
2 電源スイッチを「**ON**」にして、印字ヘッドの位置が上がったところで電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

3 アクセスカバーを開きます。

4 リボンカートリッジの両端を持ち、印字ヘッドをプリンタの中央へ移動します。

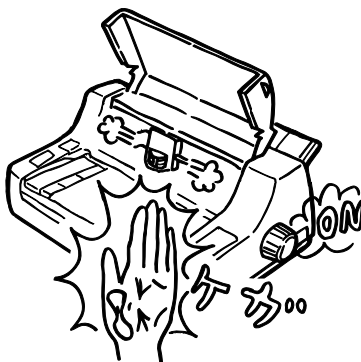
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は、印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 リボンカートリッジ両側の三角マーク（◀､▶）の部分を持ち、手前に引き抜くようにして取り外します。

6 新しいリボンカートリッジを取り付けます。
手順は、「リボンカートリッジを取り付ける」（15ページ）を参照してください。

紙づまりしたとき

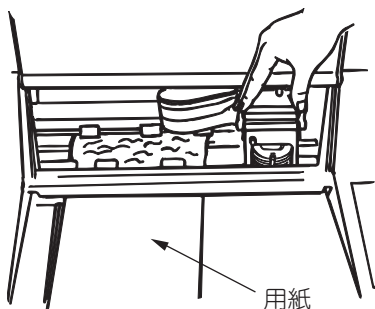
●単票の場合

◆単票がプリンタ内部でつまったとき

1 電源スイッチを「**OFF**」にし､一度電源スイッチを「**ON**」にして、印字ヘッドの位置が上がったところで電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

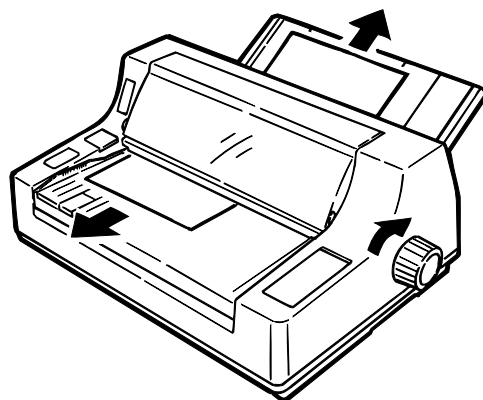
電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

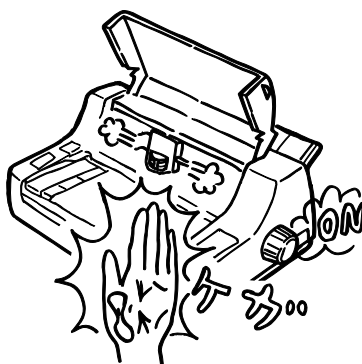
2 リボンカートリッジの両端を持ち、印字ヘッドを用紙のないところへ移動します。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。
印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

7章

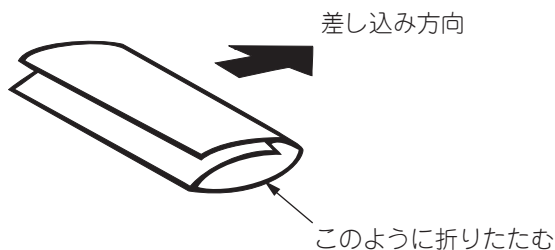
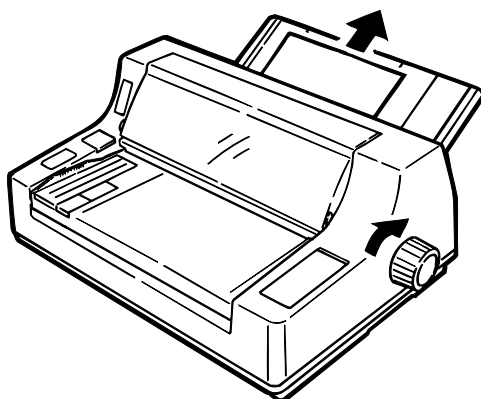
3　プラテンノブを回しながら、単票を手前または後ろ側に引き出します。

7
章

◆破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

1 電源スイッチを「**OFF**」にし、一度電源スイッチを「**ON**」にして、印字ヘッドの位置が上がったところで電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

3 3つに折りたたんだ単票をテーブルから差し込みます。

4 プラテンを回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

◆カットシートフィーダ（オプション）でつまったとき

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

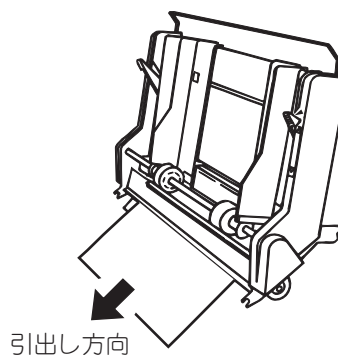
電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

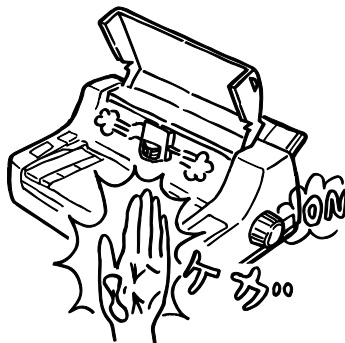
2 カットシートフィーダを取り外します。

「カットシートフィーダの取り付け/取り外し」（131～133ページ）を参照してください。

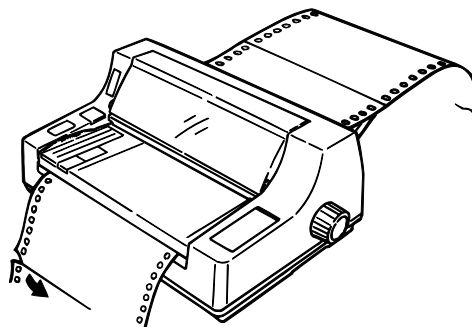
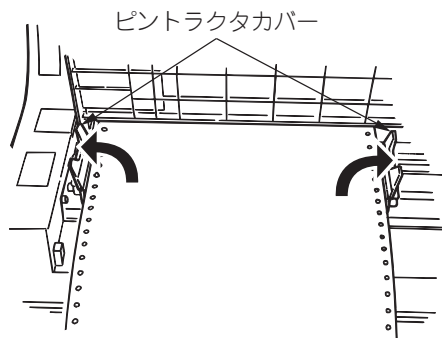
3 用紙を取り除きます。

紙の送られる方向へゆっくり引き出します。

注 逆方向への無理な用紙の引き出しは、機構部のダメージ原因となります。

●連続紙の場合

1 電源スイッチを「**OFF**」にし、一度電源スイッチを「**ON**」にして、印字ヘッドの位置が上がったところで電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2 印刷前の連続紙を切り取ります。

3 テーブルを開き、ピントラクタから連続紙を外します。

4 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を2～3枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

こんなときには

プリンタが思うように動作しなかった場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない		
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていません。	プリンタ側，コンセント側ともしっかりと差し込んでください。
	電源コンセントの異常または停電の可能性があります。	他の電気製品を同じコンセントに差し込んで、正常に動作するか確認してください。
印刷しない		
印字可ランプが消灯している。	印刷停止の状態です。	「印字可」スイッチを押してください。
	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。
印字可ランプは点灯しているが印刷しない。	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。（24ページ）
	I/Fケーブルがホストコンピュータやプリンタと合っていません。	仕様に合ったケーブルをお使いください。（167ページ）
印字ヘッドは動いているが、印刷しない。	リボンカートリッジが取り付けられていません。	リボンカートリッジを取り付けてください。（15ページ）
印刷が遅くなった		
突然印刷が遅くなったり、片方向印字、印刷動作の休止となった。	印字ヘッド、モータが高温になると、温度を下げるために印字速度が遅くなったり、片方向印字、一定時間動作の休止を行うことがありますが、故障ではありません。	印字ヘッド､モータの温度が下がると、自動的に元の動作に戻ります。この現象が頻繁に起こる場合には、プリンタの電源を切ってしばらく置いてから印刷を行ってください。
印刷が鮮明でない		
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	マニュアルギャップ調整のギャップレンジ値が用紙に合っていません。	マニュアルギャップ調整を適切なレンジ位置に合わせてください。（100ページ）
	高速印字に設定されています。	通常印字にします。（117ページ）
	リボンカートリッジの寿命です。	新しいリボンカートリッジに交換してください。

7章

現　象	原　因	処　置
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	リボンカートリッジが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。
	インクリボンが確実に巻き取られていません。	新しいリボンカートリッジに交換してください。
	リボンフィード動作が行われていません。	お客様相談センターへご相談ください。
文字が、横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	お客様相談センターへご相談ください。
印刷結果が画面と異なる		
カタカナがグラフィック文字になる。	コード表が拡張グラフィックスになっています。	コード表をカタカナに設定してください。（109、114ページ）
グラフィックがカタカナ文字になる。	コード表がカタカナになっています。	コード表を拡張グラフィックスに設定してください。（109、114ページ）
全く違う文字や記号で印刷される。	ソフトウェアのプリンタ設定が間違っています。	ソフトウェア上のプリンタ設定を優先順位に従って設定し直してください。（86ページ）
	前回印刷したソフトウェアコントロールコードが有効になっています。	プリンタを初期化してください。（116ページ）
	送られたソフトウェアコントロールが間違っています。	HEXダンプをとって、データの内容を確認します。（123ページ） 間違っている部分をソフトウェア上で直してください。
	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。（24ページ）
用紙の頭出し量（印刷開始位置）が上または下すぎる、変わってしまった。	印刷開始位置の設定が正しくありません。	プリンタを初期化してください。（116ページ）
		単票と連続紙の頭出し位置の設定を行ってください。（109、114ページ）
		1文字目印字位置の設定を行って、頭出し位置を調整してください。（118ページ）
		ソフトウェア上で上マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。

7章

現　象	原　因	処　置
左右の余白が多い、または少ない。	左右マージンの設定が正しくありません。	ペーパガイドやピントラクタの位置が適当ではありません。印刷形式に合わせてセットし直してください。（88、91ページ）
		ソフトウェア上で左右マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
連続紙を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。
単票を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェア上の用紙設定のサイズと、実際に使用している用紙サイズが合っていません。	ソフトウェア上の用紙設定を、使用する用紙に合わせてください。
	プリンタ側で自動測定されている1ページの印刷可能行数と合っていません。	ソフトウェア上で上下マージンを大きくとってください。
		単票LF精度補正で調整してください。（111ページ）
1行に印刷されるはずの文字などが、2行にわたって印刷される。	左右のマージンの設定が正しくありません。	ソフトウェア上で左右のマージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
連続紙を使用しているときに、印刷途中で数行分の空白行ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。（109、114ページ）
縦罫線がずれる、ガタガタになる。	両方向印刷を行うと、ずれを生じることがあります。	Windowsプリンタドライバの設定で片方向印刷に設定してください。（28、35、42、49、57、65、74、79、84ページ）
		水平印字位置補正で調整してください。（112、114ページ）
行間隔が広すぎる、または狭すぎる。	改行量の設定が正しくありません。	ソフトウェア上で改行量が設定してある場合は、正しく設定し直してください。

現　象	原　因	処　置
イメージ印字、分割印字について		
イメージ印字で白抜けが入る。 白抜け	用紙送りの誤差です。特に黒ベタ印字で目立ちます。	故障ではありません。
縦倍角などで、白抜けや文字つぶれがでる。 白抜け　つぶれ 8　8	1文字の途中で改行が入るため、用紙送りの誤差がでます。	故障ではありません。 重要な書類や伝票などは、プリンタ内蔵フォント（明朝または明朝倍角）を使用してください。
単票で、うまく紙送りできない		
用紙を給紙しない。	用紙の挿入位置が、右に寄り過ぎています。	ペーパガイドにそって、用紙をセットしてください。（88ページ）
	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（89ページ）
プラテンは回るが、給紙できない。または、連続紙が給紙されてしまう。	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（89ページ）
	連続紙モードになっています。	連続紙を排出して、単票モードにしてください。（99ページ）
用紙が曲がって給紙される。	用紙が突き当たるところまで入っていません。用紙がまっすぐ入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。（89ページ）
	用紙にしわや折り目など、問題があります。	新しい用紙を使用してください。
	用紙が仕様に合っていません。	プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。（184ページ）
用紙が排出できない。	「改行／通常印字」スイッチを押しています。	「改頁／高速印字」か、「ロード退避／自動給紙」スイッチを押してください。

7章

現　象	原　因	処　置
連続紙で、うまく紙送りできない		
改行しない、用紙が送られない。	用紙がピントラクタから外れています。	用紙を正しくセットし直してください。（91ページ）
	マニュアルギャップ調整のギャップレンジ値が用紙に合っていません。	マニュアルギャップ調整を用紙の厚さに合わせてください。（100ページ）
用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。	用紙の両端の穴が、左右ずれた状態でセットされています。	用紙の穴が左右平行になるようにセットしてください。（92ページ）
	左右のピントラクタの幅が狭すぎ、用紙がたるんでいます。	ピントラクタの位置を調整して、用紙のたるみを取ってください。（93ページ）
	用紙がプリンタに対して、まっすぐ給紙されていません。	まっすぐ給紙されるよう、用紙の位置を動かしてください。（94ページ）
	用紙が何かに引っ掛かっています。	引っ掛かっているものを取り除いてください。
	用紙の置いてある位置が遠すぎます。	プリンタの近くへ用紙を動かしてください。
	用紙が仕様にあっていません。	プリンタの仕様にあった用紙を使用してください。（175ページ）
印刷の途中で、数行分の空白ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。（109、114ページ）
ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。 ソフトウェア上で、行単位に設定します。
単票と連続紙の切り替えがうまくいかない		
単票が給紙できない。	連続紙モードになっています。	単票モードにしてください。
連続紙が給紙できない。	単票モードになっています。	連続紙モードにしてください。
プラテンは回るが、連続紙が給紙できない。	連続紙がピントラクタから外れています。	連続紙を正しくセットし直してください。
連続紙と一緒に単票も給紙されてしまう。	単票が排出されていません。	単票を排出してください。（90ページ）

現　象	原　因	処　置
カットシートフィーダ（CSF）を使用して、うまく紙送りできない		
自動給紙のランプがつかない。	CSFが正しくセットされていません。	CSFを正しくセットし直してください。（131ページ）
	単票手差しモードになっています。	自動給紙モードにしてください。（138ページ）
用紙を給紙しない。	用紙がCSFにセットされていません。	用紙をセットしてください。（134ページ）
	用紙セットレバーが「用紙補給」になっています。	用紙セットレバーを「印刷」にしてください。
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（134ページ）
	セットしている用紙が厚すぎます。	仕様に合った用紙を使用してください。（173ページ）
	最後の1枚は給紙できないことがあります。	用紙を補給してください。
一度に2枚以上給紙される。	CSFにセットされている用紙が多すぎます。	セットしている用紙を減らしてください。（136ページ）
	用紙が密着しています。	用紙をよくさばいてから、セットしてください。（135ページ）
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（134ページ）
	大きさの違う用紙を入れています。	同じサイズの用紙だけをセットしてください。
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（173ページ）
用紙が曲がって給紙される。	用紙に折り目やしわがあります。	新しい用紙にかえてください。
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、広すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（134ページ）
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（173ページ）
うまく排出できない。	排出した用紙が溜まりすぎています。	用紙を取り除いてください。

アラーム表示がでたときは

操作パネルのランプ表示と、その際に必要な操作パネルの操作を下表に示します。

ランプの状態	原　因	処　置
用紙 □ 点灯	単票または連続紙が終了しました。	新しい単票または連続紙をセットして、「ロード退避／自動給紙」スイッチを押してください。
印字可 ■ 点滅 用紙 ■ 点滅	復旧不可能アラームです。	印字ヘッドがなめらかに移動することを確認し、電源を入れ直してください。電源を入れ直しても再度エラーになる場合は、お客様相談センターにご連絡ください。
用紙 ■ 点滅	単票抜き取り待ち状態です。 （テーブル側排出後）	単票をテーブルから抜き取ります。
	ジャム解除待ちです。 （用紙セットミス or 吸入ジャム）	用紙を抜き取った後、「印字可」スイッチを押します。
	吸入ジャムです。	ジャム用紙を取り除き、「印字可」スイッチを押します。
	排出ジャムです。	ジャム用紙を取り除き、「印字可」スイッチを押します。
	媒体切替アラームです。 （連続紙モードのときのみ）	「ロード退避／自動給紙」スイッチを押して、連続紙をトラクタに退避させてください。
	CSFアラームです。 （給紙状態でCSFの取り付け／取外しをすると発生します。）	CSFを元の状態に戻してください。
	サーマルアラームです。	印字ヘッド、印字ヘッドを駆動するスペースモータ、用紙を搬送するためのフィードモードモータの温度が上がった場合に発生します。温度が下がると自動的に印字を再開します。
自動給紙 ■ 点滅	単票給紙待ち状態です。	テーブルに単票をセットしてください。

8　定期清掃のしかた

8
章

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的または必要に応じて清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

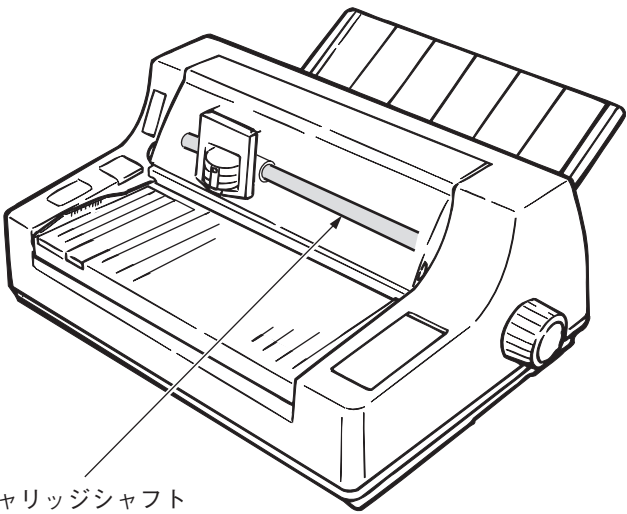
プリンタの清掃のしかた

◆清掃

注
- 清掃は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期、または必要に応じプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が6か月または300時間の中でいずれか早いほう
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ、ほこり、リボンくずなどを拭き取ります。 注油禁止
用紙走行面	

◆注油

注
プリンタへの潤滑油の注油は行わないでください。プリンタの故障の原因となる場合があります。
（プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

カットシートフィーダの清掃のしかた

◆清掃

装置の設置環境/使用状況によりスキュー /ホッピングミスが発生する場合があります。
以下の内容にてホッピングローラ汚れの清掃を行ってください。

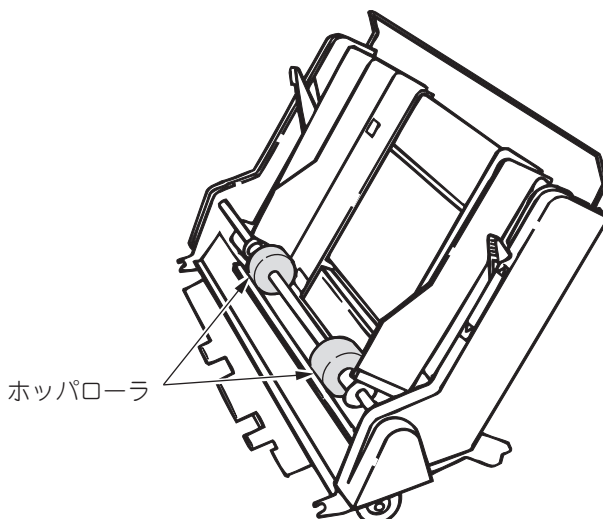
- 清掃は電源スイッチをOFFにし、カットシートフィーダを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

次表の項目にしたがって、カットシートフィーダの清掃を行ってください。
(本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお、カットシートフィーダ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。)

使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、アルコール（エタノール）

清掃箇所	清掃内容
左右一対のホッパローラ	用紙くずを取り去り、油等の汚れ、ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラ面の乾拭きをしてください。

8章

付　録

付録

プリンタ仕様

印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24本（12本×2列）
印字方向	両方向印字
改行時間	1/6インチ改行のとき … 1改行 約60ms
改行速度	約6インチ／秒
紙送り制御	フォームフィード　機能有り 垂直タブ　機能有り ダイレクトスキップ　機能有り
複写能力	連続紙：オリジナル＋5枚（用紙厚合計 0.36mm以下） 単　票：オリジナル＋5枚（用紙厚合計 0.36mm以下）
印字ヘッド使用条件	1ピン当り平均 80ドット／秒以下（ただし、4分間ごとの平均）
紙送り方向	フロントパス方式
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式（押込型）
連続紙ペーパエンド検出方法	用紙残量約22mmにて検知します。 ただし、印字は用紙下端より約6mmまで可能です。 （最終ページの印字精度は保証致しません。）
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（173ページ）を参照してください。
インクリボン（沖純正品）	カートリッジ：専用カートリッジ インク　：黒単色 寿　命　：パイカサイズ　HS ANK 200万字
外形寸法	465mm(W)×343mm(D)×220mm(H)
重　　量	約12kg
入力電源	単相交流　100V±10%（50/60Hz±1Hz）
消費電力	動作中：最大 約400W（漢字ローカルテスト印字時 約130W） 待機時：約15W以下
電源コード	2極ACコード（FG線付） 長さ　約2.5m
周囲温度・湿度	動作時：5℃～40℃、30%～85%RH ただし、印字精度は測定条件が15℃～30℃、40%～70%RH 保存時：－20℃～60℃、5%～95%RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。
インタフェース	標準パラレルインタフェース （セントロニクスインタフェースに準拠）

付録

書体のサンプル

●明朝

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或
粟袷安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯
胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤

●ローマン

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●サンセリフ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●クーリエ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●OCR-B相当

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_

●JAN（標準）

4 00123456789 2

●CODE39

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

●NW-7

a 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 b

●Interleaved 2 of 5

001234567899

●JAN（短縮）

4012345 2

●カスタマバーコード

印字仕様

●文字種類

◆ANK文字

英数字・記号（SP含む）	95種
カタカナ・記号	63種
罫線素片・符号・漢字	63種
特殊文字	80種
拡張グラフィックス	48種
国際文字他	11種

注 カタカナ記号、罫線素片・符号・漢字は、スーパスクリプト／サブスクリプトモード、プロポーショナルモードおよび15CPIモードの場合は除きます。

◆漢字（JIS第1水準）

漢字	2965種
非漢字	524種
特殊文字	83種

◆漢字（JIS第2水準）

漢字	3390種

◆OCR-B（相当文字）

英数字・記号	64種

◆外字登録可能文字種

94種

●文字の大きさ

文字種		横寸法 [mm]	縦寸法 [mm]
高品位ANK 10CPI	英数字	2.25	2.46
	特殊文字	2.25	3.45
	カタカナ	2.25	2.60
	罫線素片	2.67	2.60
	拡張グラフィックス	2.67	4.29
高速度ANK 10CPI	英数字	2.11	2.32
	特殊文字	2.11	3.45
	カタカナ	2.11	2.60
	罫線素片	2.53	2.46
	拡張グラフィックス	2.53	4.29
	プロポーショナルANK	1.40～3.09	3.45
漢字	全角・外字	3.45	3.45
	半　角	1.75	3.45

●印字間隔

文字種		間　隔（インチ）
ANK	高品位ANK	1/10、1/12、1/15、1/17.1、1/20
	高品位スーパスクリプト／サブスクリプト	
	プロポーショナルANK	1/8.6～1/20
	縮小プロポーショナル	1/17.1～1/40
	プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/12.9～1/30
	縮小プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/25.7～1/60
	高速度ANK	1/10、1/12、1/15、1/17.1、1/20
	高速度スーパスクリプト／サブスクリプト	
漢字	全角・外字	1/6.7
	半　角	1/10

●1行最大印字数（印字幅設定が106桁の場合）

	標準	横拡張
高品位ANK	106	53
高速度ANK	106	53
漢　字	70	35

●印字速度

文字種		印字速度（文字/秒）	
		通常印字	高速印字
高品位ANK	10CPI	100（95、85）	180（171、153）
	12CPI	120（114、102）	216（205、184）
	15CPI	150（142、127）	270（256、229）
高速度ANK	10CPI	220（209、187）	220（209、189）
	12CPI	264（250、224）	264（250、224）
	15CPI	330（315、280）	330（315、280）
漢字(27dot)		67（64、57）	120（114、102）

注 用紙の厚さによって、印字速度が変化します。
表中（A、B）は、34kg複写紙印字において、A=2〜3枚のとき、B=4枚以上のときを示します。

●改行間隔

1改行　　1/6インチ、1/8インチ、n/180インチ、n/60インチ

パラレルインタフェース

●コネクタおよびケーブル

◆コネクタ

プリンタ側　36極コネクタ（メス）
57RE-40360-830B-D29A（第一電子製）相当品
ケーブル側　36極コネクタ（オス）
57FE-30360-20N(D8)（第一電子製）相当品

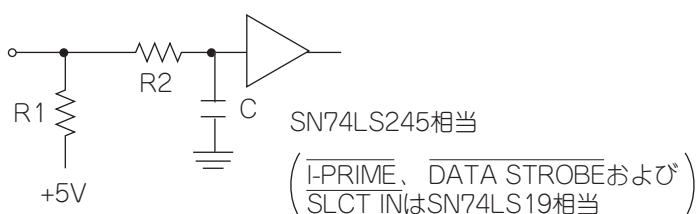
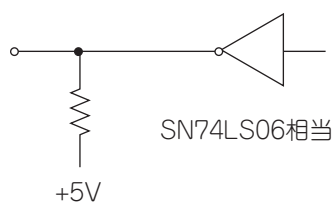
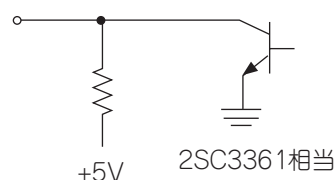
◆ケーブル

最長2.5m以下のIEEE Std1284-1994適合ケーブル（または相当品）を使用してください。
（ノイズ対策上はツイストペア線を用い、シールドされているものを使用してください。）

◆インタフェースレベル

ローレベル　0.0V～+0.8V
ハイレベル　+2.4V～+5.0V

◆インタフェース回路

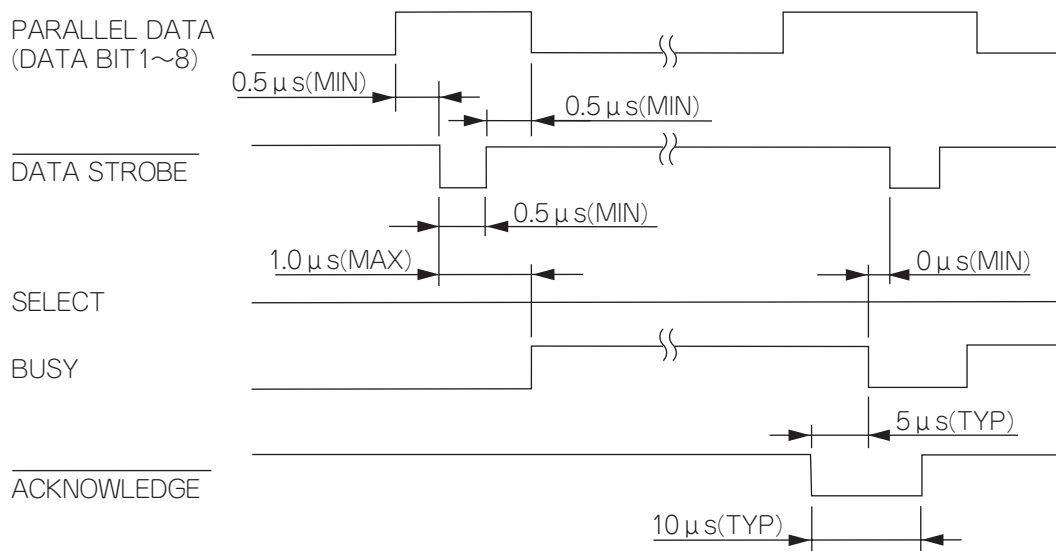
• RECEIVER

• DRIVER

③ +5V

●パラレルインタフェース信号

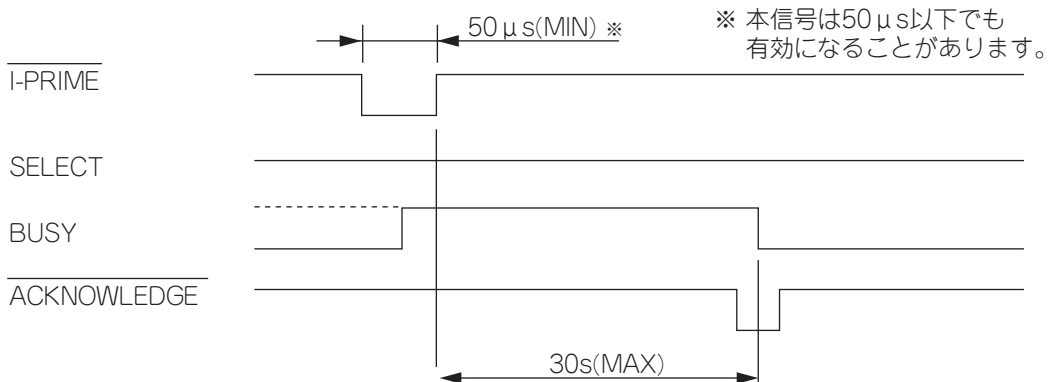
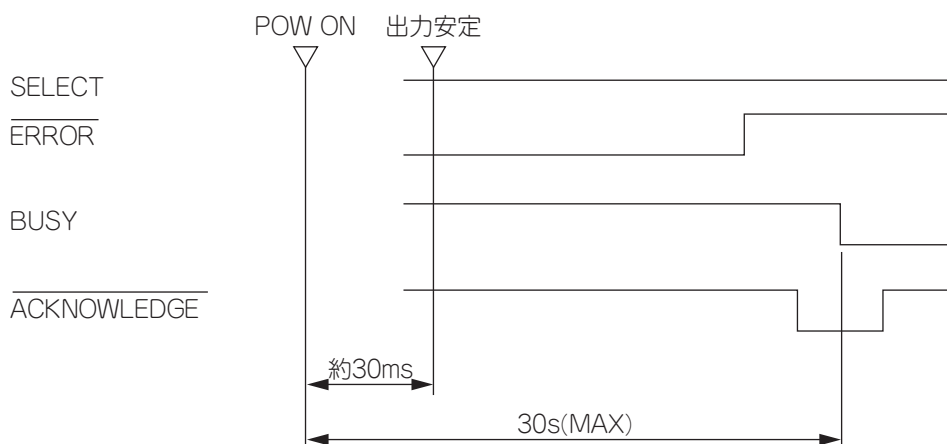
ピンNo.	信号名	方向	機能
1	$\overline{\text{DATA STROBE}}$	TO PRINTER	DATA BIT1〜8の読み込みパルス信号です。ハイレベルからローレベルに変化するとBUSY信号がハイレベルになり、入力データを読み込みます。
2	DATA BIT1	TO PRINTER	入力データの1ビット目から8ビット目です。ハイレベルが論理"1"、ローレベルが論理"0"を示します。 DATA BIT 1 がLSB、DATA BIT 8がMSBです。
3	DATA BIT2		
4	DATA BIT3		
5	DATA BIT4		
6	DATA BIT5		
7	DATA BIT6		
8	DATA BIT7		
9	DATA BIT8		
10	$\overline{\text{ACKNOWLEDGE}}$	FROM PRINTER	入力データの受信処理完了を示す信号で、DATA STROBEに対する応答パルス信号です。 電源投入時は、BUSY信号を最初ローレベルにする時に1パルス出力します。
11	BUSY	FROM PRINTER	プリンタがデータ受信可能かどうかを示す信号で、ハイレベル時はデータ受信不可能、ローレベル時はデータ受信可能です。以下の条件でハイレベルになります。 ①ストローブパルスを受信してから受信データの処理を終了するまで。 ②オフライン状態の間 ③INPUT PRIME信号の受信または、電源投入時のイニシャル処理を行う間。 ④アラームになった場合。
12	PAPER END	FROM PRINTER	用紙終了を検出するとハイレベルになります。ただし、1行の受信途中ではその場でハイレベルにならず、行受信を完了した時点でハイレベルになります。 用紙をセットするとローレベルになります。
13	SELECT	FROM PRINTER	常時ハイレベルです。1KΩの抵抗で+5Vにプルアップされます。

ピンNo.	信号名	方向	機能
14	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合はCRコードの受信で復帰改行を行います。有効/無効はメニュー設定に従います。
15	NC		未接続
16	GND		ツイストペアリターン用グラウンド
17	CHASSIS GROUND		プリンタシャーシのグラウンド
18	+5V		330Ωの抵抗で+5Vにプルアップされます。
19～30	GND		ツイストペアリターン用グラウンド（ピンNo.1～12に対応した信号用アース）
31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	TO PRINTER	ローレベルになるとプリンタの制御部が初期状態になります。ローレベルは50μs以上にしてください。なお、本信号は50μs以下でも有効になる事があります。
32	$\overline{\text{ERROR}}$	FROM PRINTER	ローレベルのとき、エラー状態であることを示します。
33	GND		ツイストペアリターン用グラウンド
34 35			常時ハイレベルです。1kΩの抵抗で+5Vにプルアップされています。
36	$\overline{\text{SLCT IN}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合は、DC1/DC3コードは受け捨てます。有効/無効はメニュー設定に従います。

●パラレルインタフェースタイムチャート

◆データ受信

◆INPUT PRIME受信

◆POWER ON

付録

プリンタの初期状態

電源投入時、ソフトウェアリセットコマンド受信または、インタフェースのINPUT PRIME信号により、プリンタは以下に示す初期状態になります。

※印はメニュー設定の項目に従います。

項目	初期状態
印字ヘッド位置	センタリング位置
MSBコントロール	解除
上位側コントロールコード指定	解除
印字方向	両方向印字
印字色	黒色のみ
ホリゾンタルタブ位置	オールクリア
ライトマージン位置	※
レフトマージン位置	0桁目に設定
印字位置そろえ設定	左そろえに設定
1改行量	1/6インチ
連続紙フォーマットページ長	11インチ
TOF位置	現在の印字位置をTOF位置にします。
ミシン目スキップ長	0
VFUタブ位置設定	設定位置なし
VFUチャネル選択	チャネル0を選択
ANK文字モード	10CPIモード。プロポーショナルおよびスーパスクリプト/サブスクリプトモードは解除
国際文字選択	日本語
ダウンロード文字セットの指定	解除
内蔵文字セットの選択	※
ANK文字の書体	※
漢字モード	※

※印はメニュー設定の項目に従います。

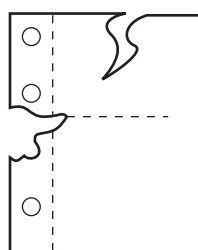
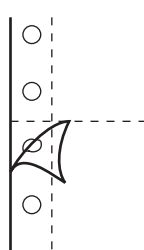
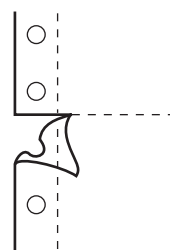
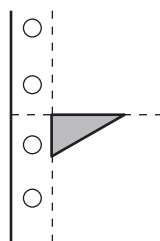
項目	初期状態
ANK縮小印字	解除
ANK文字間スペース量	0ドット
ANKアンダライン印字	解除
ANK文字品位	高速印字モード
ANK／漢字印字モード	自動解除付横2倍拡張 横2倍拡張印字 縦2倍拡張印字 イタリック印字 強調印字 2度打ちモード 特殊装飾文字 } 解除
漢字全角文字間スペース量	左：0ドット、右：3ドット
半角文字間スペース量	左：0ドット、右：2ドット
半角文字間スペース量補正	解除
漢字アンダライン印字	解除
漢字高速印字モード	解除
漢字縦書き／横書き	横書き
半角縦書き組み文字	解除
ダウンロード文字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
文字セットコピー	なし（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
外字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
イメージ転送コマンド変換	変換なし
CSF制御	CSFが実装され、用紙モードが単票モードの場合は、自動給紙モードになります。（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）

用紙規格および印字範囲

●用紙に関する注意

使用禁止の用紙

次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ、印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン、クリップ、ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの、波打っているもの、はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒

破れ　　はがれ　　折れ

切り抜き・窓　　しわ

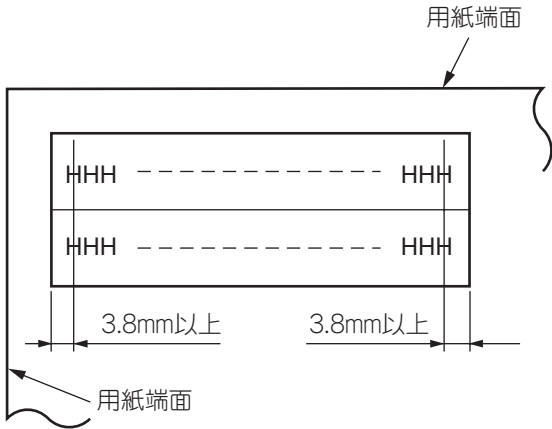
●プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
  (事前印刷部分が印刷禁止領域内にある場合、特に注意が必要です。印字部の反射率が60%以下になりますと、(特に黒色系）プリンタ内の用紙検出センサが検出しない場合があります。)
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

◆横罫線について

- 文字の行間隔は8.47mm（1/3インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも4.23mm以上とってください。

◆縦罫線について

- 縦罫線は文字中心から3.8mm以上とってください。

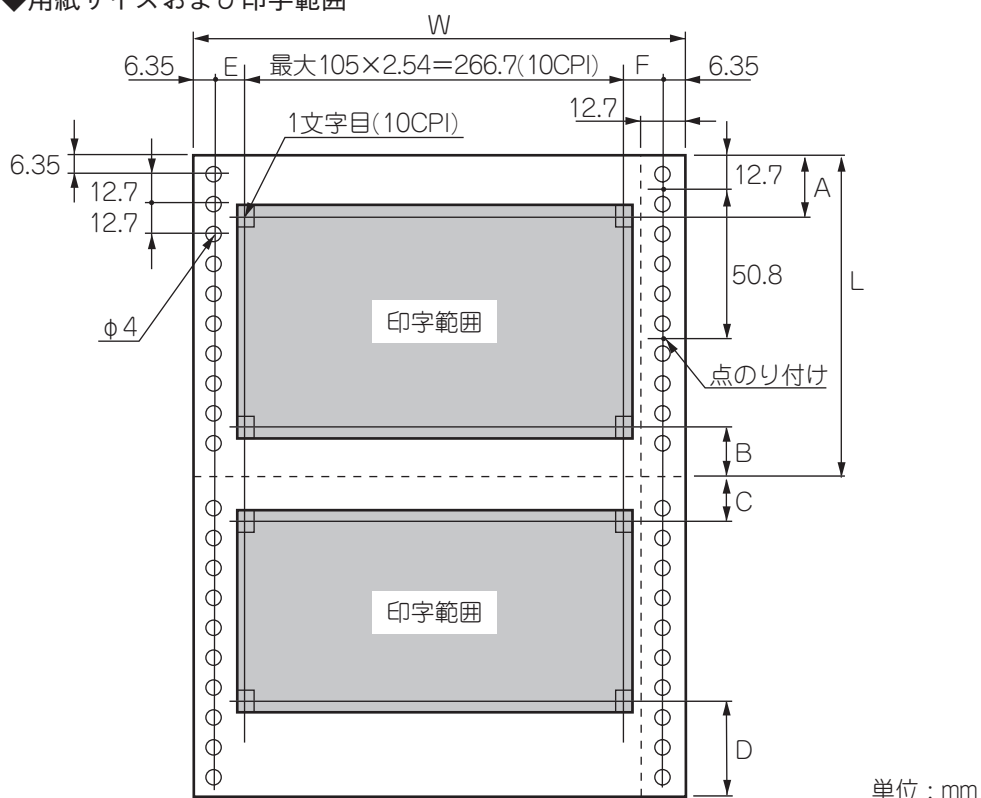
注 罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度0.1°以下にしてください。

●用紙の保管条件（JIS X 6195による）

用紙は湿度10～30℃、相対湿度30～70%の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

●連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

◆用紙サイズおよび印字範囲

記号	名　称	規　格　値
W	用　紙　幅	76.2〜304.8mm（3〜12インチ）
L	用　紙　長　さ	76.2〜355.6mm（3〜14インチ） ただし、25.4mm（1インチ）の整数倍で、279.4mm（11インチ）を標準にします。
A	頭　出　し　位　置	6.35mm（1/4インチ）以上　メニュー設定によります。✎
B	下端印字可能範囲	6.35mm（1/4インチ）✎
C	上端印字可能範囲	6.35mm（1/4インチ）✎
D	用紙終了検出位置	約22mm
E	左端印字禁止領域	12.7〜22.2mm（1/2〜7/8インチ）
F	右端印字禁止領域	11.43mm（9/20インチ）〔I'：12.7mm（1/2インチ）〕

✎　印字精度保証は19.05mm（3/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

注
- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。
- 用紙残120mm以下の場合は、用紙退避できません。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔、コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

◆用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45〜110kg（52〜128g/m^2）の用紙が使用可能です。

○複写紙

- 用紙の種類は、感圧紙、裏カーボン紙、インタリーブ紙です。
- 複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m^2）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
- 通常印字モードのとき、複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m^2）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
  複写枚数は、最大6枚（オリジナル＋5枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大5枚（オリジナル＋4枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
  オプションのリアピントラクタの場合も最大6枚（オリジナル＋5枚）です。全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。

参考
用紙連量は、単位面積（788×1091mm）の大きさに換算して、1000枚分の重量をkgで表わしたものです。

◆最大用紙厚さ

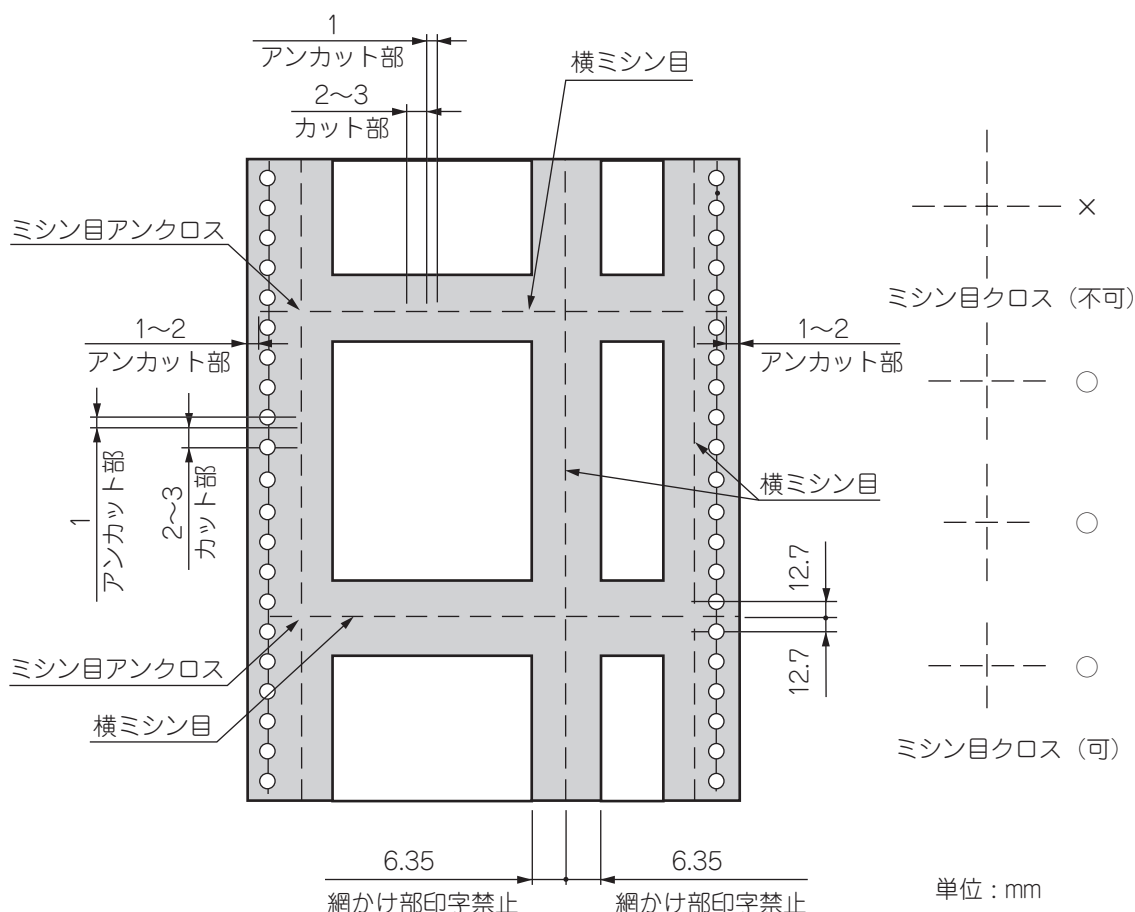
0.36mm（オプションのリアピントラクタも同じ）

◆ミシン目

- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質、用紙連量、複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

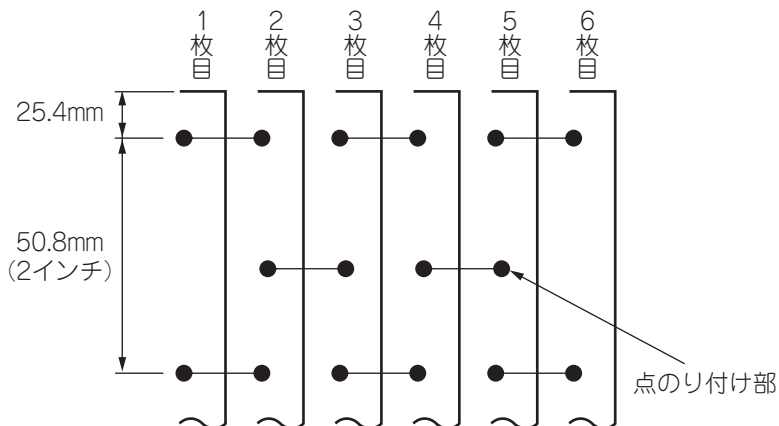
	複写枚数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1〜6枚	2〜3mm	1mm
縦ミシン目	1〜6枚	3mm	1mm

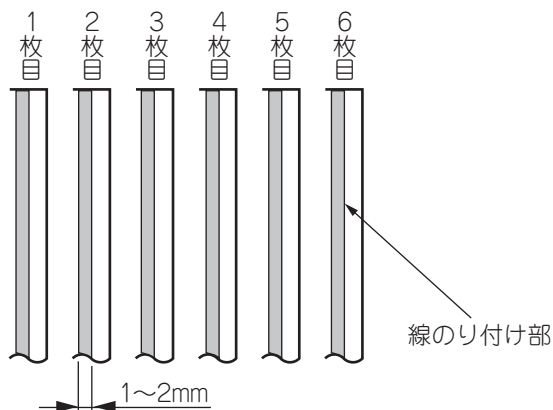
- 横ミシン目　用紙の両端1〜2mmには、カット部を入れないでください。上下6.35mm（1/4インチ）以内は、印字しないでください。横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右6.35mm（1/4インチ）以内は印字しないでください。横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

付録

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし、層間ずれ（1枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが3mm程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ3〜φ5mmとします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。用紙送り精度の乱れの原因になります。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 横ミシン目と1つ目の点のり位置は25.4mm以内とします。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。

○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は1〜2mmとします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。
- のり付け部が固い場合、用紙送り精度の乱れなど発生しやすくなりますので注意してください。

○紙ホッチキス

- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが層間ズレが発生する場合があります。

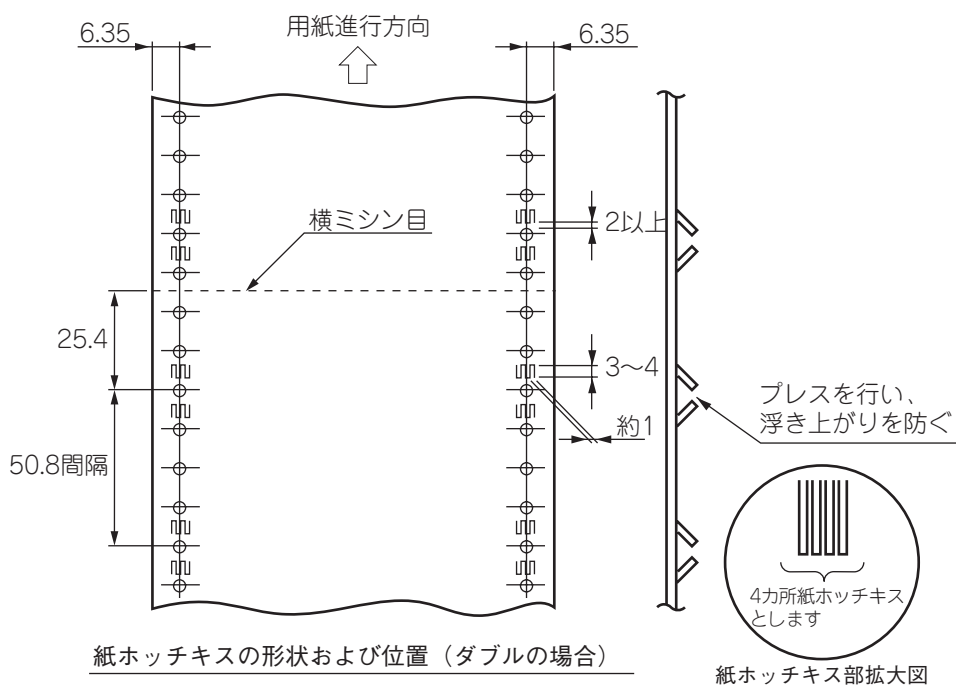
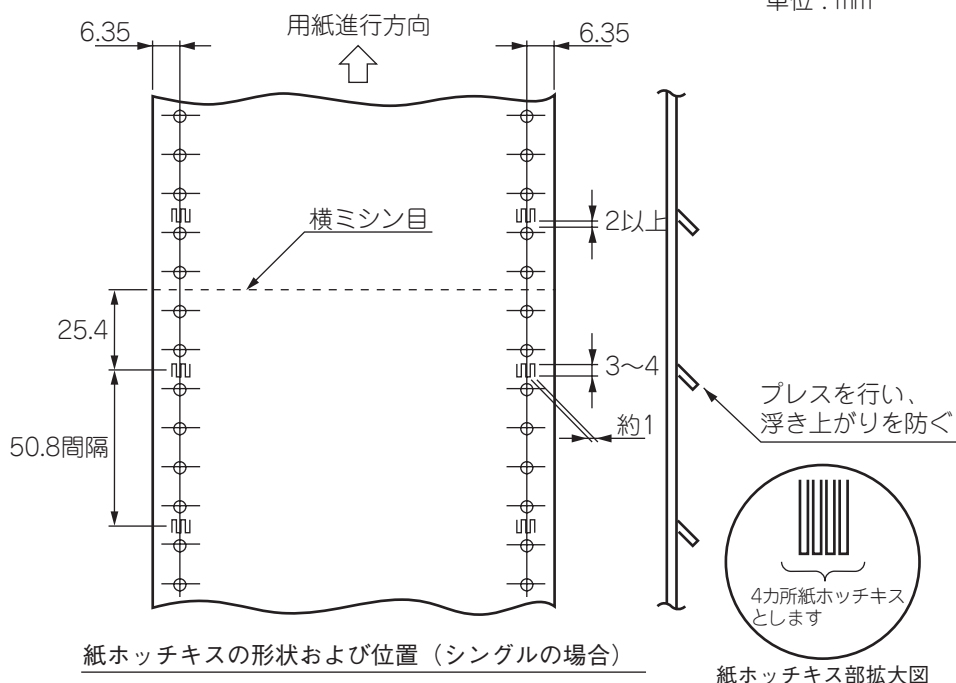
単位：mm

紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

付録

◆複写紙の組み合わせ

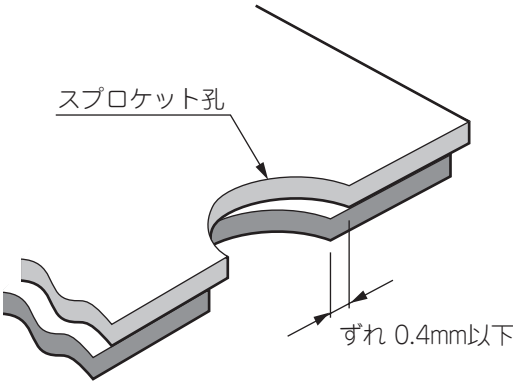
複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
ベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚
1枚目	34～55kg	34～43kg	34kg	34kg	34kg
2枚目	34～55kg	34～43kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		34～43kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			34～43kg	34kg	34kg
5枚目				34～43kg	34kg
6枚目					34～43kg

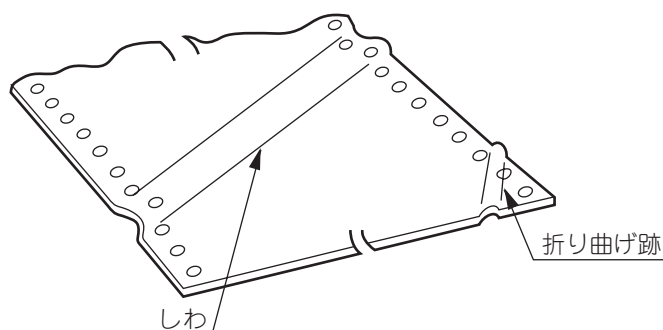
◆スプロケット孔

スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm以下のものを使用してください。

◆スプロケット孔の層間ずれ

複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm以下のものを使用してください。

スプロケット孔部の断面図

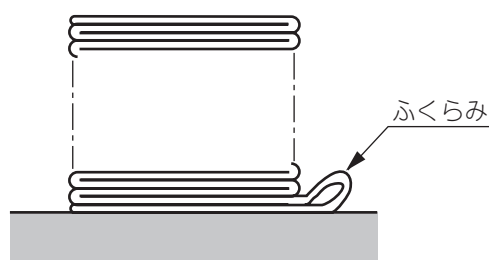
◆しわ、折り曲げ跡

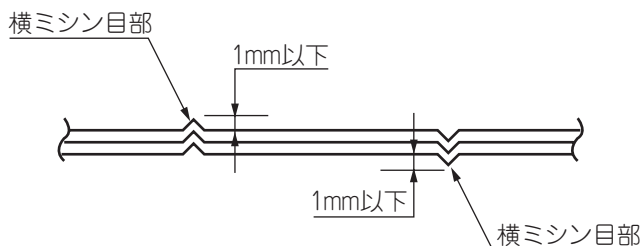
用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。用紙送り精度の乱れ、カールやジャム発生の原因になります。

◆用紙先端、下端のしわ、カール、折れ、めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ〜十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。

カール、折れ、曲がりの規定は192ページを参照ください。

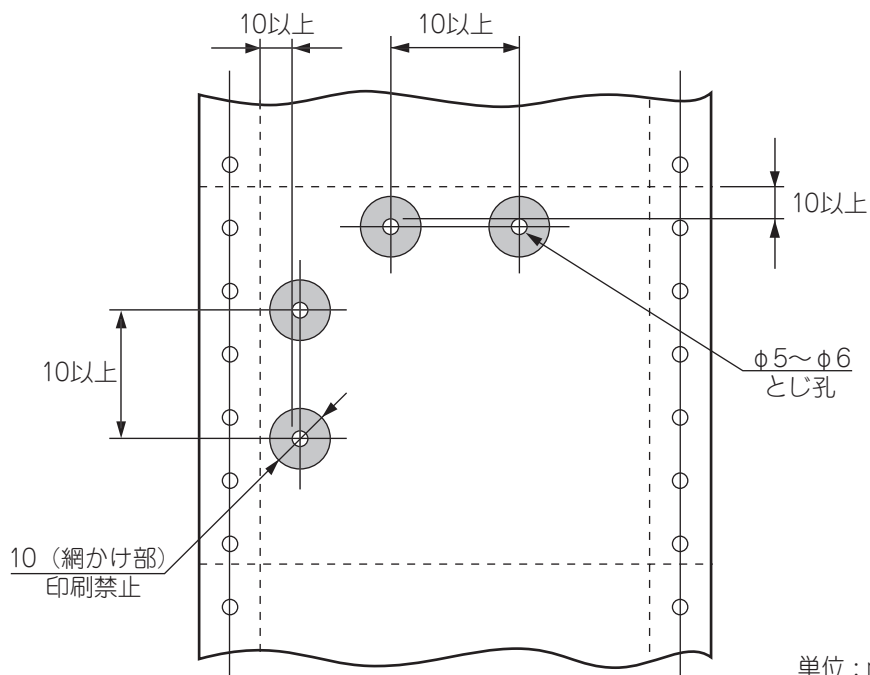
◆用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。

◆横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、用紙送り精度の乱れなど印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。
特に複写枚数が多くなると用紙送り精度が悪くなります。
盛り上がり高さは1mm以下になるようにしてください。

◆とじ孔

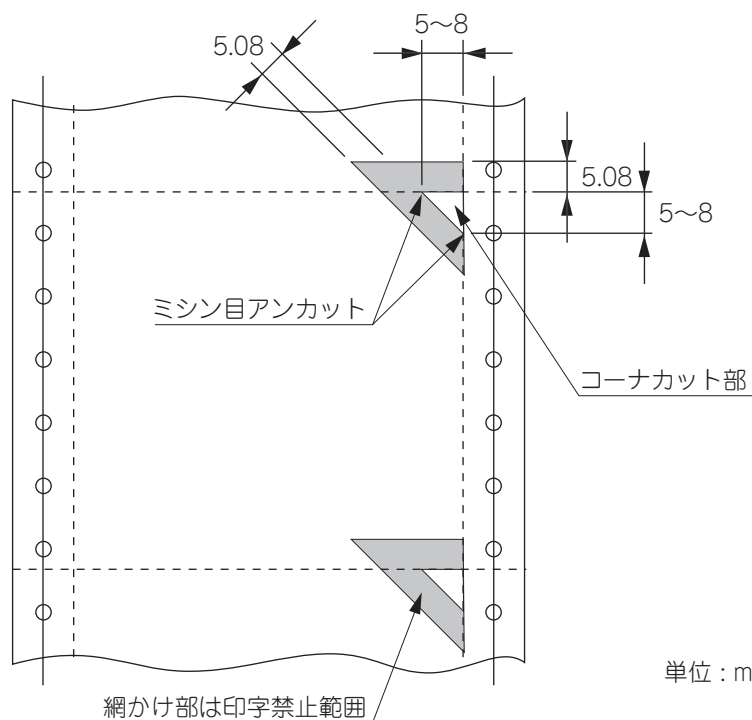
注 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

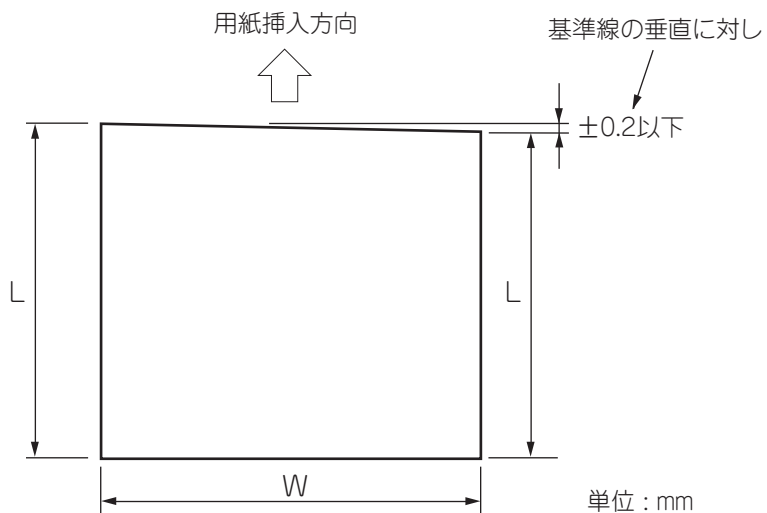
- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。また、紙厚測定エラーになることがあります。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆コーナカット

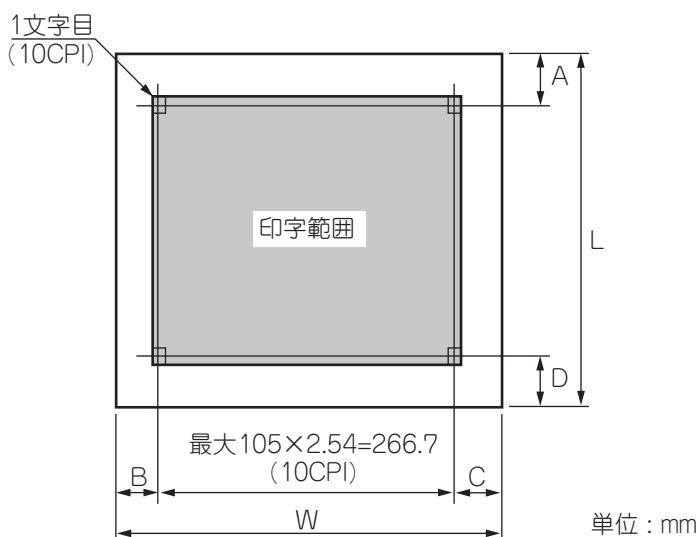
注✓ コーナカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

- コーナカット部の下図網かけ部範囲内には印字しないでください。
- コーナカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦/横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。
- コーナカットの位置は、下図によります。

●単票

◆縦横寸法

縦横寸法はA4判（W210mm×L297mm）を標準とします。使用可能範囲は、「用紙サイズおよび印字範囲」（185ページ）を参照してください。

◆単紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5、B4、A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	90～304.8mm（3.5～12インチ） オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182～297mm（7.2～11.7インチ）
L	用紙長さ	70～420mm（2.8～16.5インチ） ✐ テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182～364mm（7.2～14.3インチ）
A	頭出し位置	6.35mm（1/4インチ）以上 メニュー設定によります。 ✐✐
B	1文字目印字位置	6.35mm（1/4インチ）以上 ただし、用紙幅279.4mm（11インチ）以下のとき、6.35～28.6mm。（1/4～9/8インチ） 用紙幅304.8mm（12インチ）以下のとき、19.05～28.6mm。（3/4～9/8インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4インチ）
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4インチ） ✐✐

✐ A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✐✐ 印字精度保証は6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

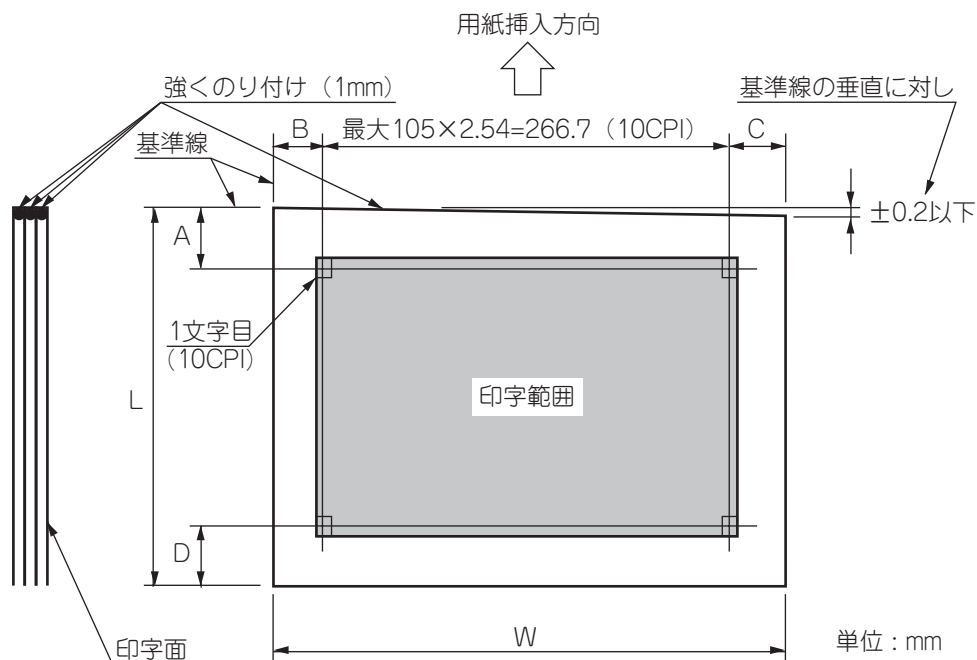
付録

○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45〜135kg（52〜209g/m^2）の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダでは用紙連量55〜70kg（64〜81g/m^2）の用紙が使用できます。和紙の使用は禁止。

- 45kg（52g/m^2）の用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1：2／3〜2とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

◆複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5、B4、A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	90〜304.8mm（3.5〜12インチ） オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182〜297mm（7.2〜11.7インチ）
L	用紙長さ	70〜364mm（2.8〜14.3インチ）✎ テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 182〜364mm（7.2〜14.3インチ）
A	頭出し位置	6.35mm（1/4インチ）以上 メニュー設定によります。✎✎
B	1文字目印字位置	6.35mm（1/4インチ）以上　ただし、用紙幅279.4mm（11インチ）以下のとき、6.35〜28.6mm。（1/4〜9/8インチ）用紙幅304.8mm（12インチ）以下のとき、19.05〜28.6mm。（3/4〜9/8インチ）
C	印字禁止範囲	6.35mm（1/4インチ）
D	印字禁止範囲	6.35mm（1/4インチ）✎✎

✎　A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎　印字精度保証は6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください）

○用紙連量

- 用紙連量34kg（40g/m²）の裏カーボン紙、または感圧紙を標準とします。
- 通常印字モードのとき、複写枚数は、最大6枚（オリジナル＋5枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
- カットシートフィーダでは、通常印字モードで複写枚数は最大5枚（オリジナル＋4枚）です。また、全体の用紙厚さは0.325mmを超えないようにしてください。

注

- 用紙の縦横比は、1：2／3〜2とします。
- テーブルから挿入した用紙はシートスタッカに排出してください。
  テーブル排出の場合、薄い用紙や複写紙は印字により下端がカールし、排出時、折れやジャムが発生する場合があります。
  カットシートフィーダから吸入した場合は自動的にスタッカ排出になります。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端にのり付けしてください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

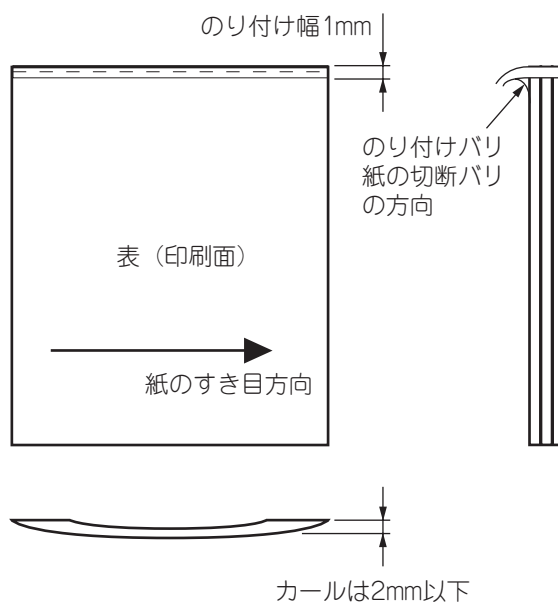
◆複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
1枚目とベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外も使用可能ですが、用紙送り精度が悪くなるため、保証外とします。

最大複写枚数	手差し				
	カットシートフィーダ				
	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚
1枚目	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)
2枚目	43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg
4枚目			43〜55kg (34kg)	34kg	34kg
5枚目				43〜55kg (34kg)	34kg
6枚目					43〜55kg (34kg)

(　)内の用紙も使用可能です

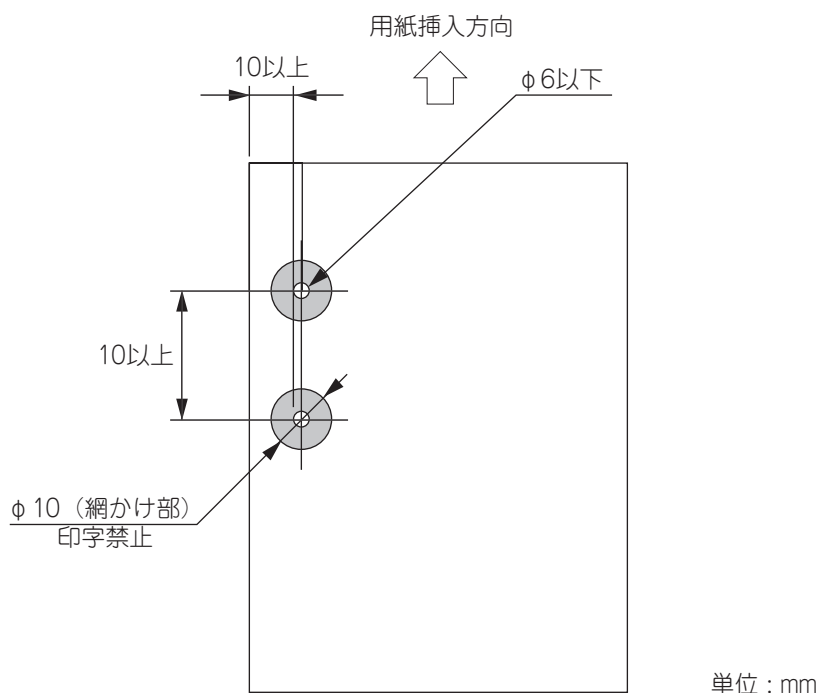
◆複写紙の重ね合わせの固定方法

- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅1mmの線のり付けとします。（天のり）
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわやばりがあってはなりません。

注
- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。
  カールは2mm以下とします。
- のり付け幅は基本的に1mmとしてください。
- とじ孔は印字領域内には開けないでください。

◆とじ孔

注✓ とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆ミシン目

注✓ ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

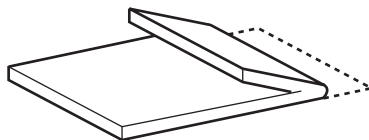
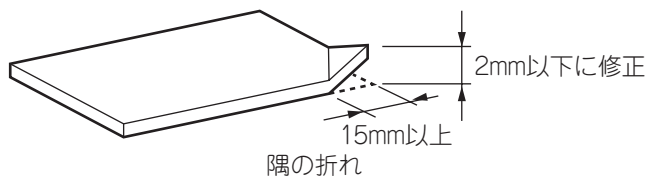
やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲5.08mm以内は印字しないでください。

◆折れ（単票・連続紙）

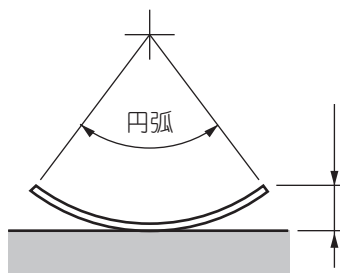
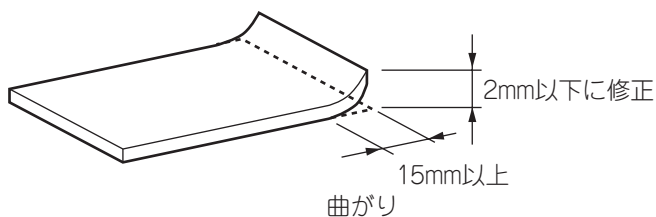
- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては2mm以下に修正してください。
  ただし、カットシートフィーダの場合（単票）は修正しても使用不可です。

全幅に渡って折れたものは使用不可

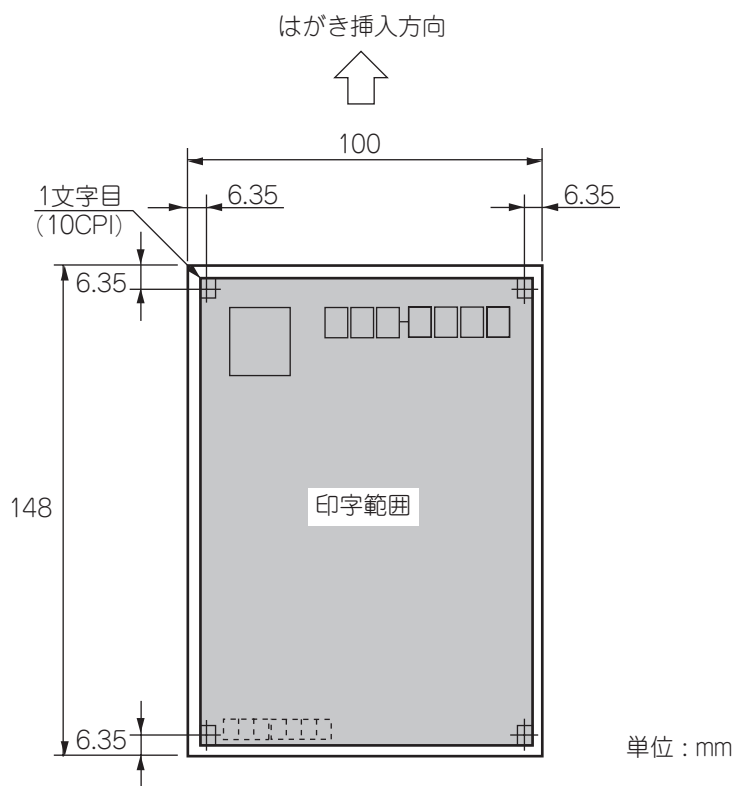
隅の折れ

◆カール、曲がり（単票・連続紙）

- 全面的なカールは5mm以下［メニュー設定でTOF位置または、オートロード位置を2.12mm（1/12"）に設定する場合、紙づまりが発生するため2mm以下］、カットシートフィーダの場合（単票）は2mm以下なら使用可です。（はがきの場合も2mm以下です）
- 用紙端から15mm以内で2mm以上の曲がりは使用不可です。

全面的なカール

曲がり

●はがき

◆用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

○通常はがき横挿入

○往復はがき縦挿入

○往復はがき横挿入

はがき挿入方向

200

1文字目
（10CPI）

6.35

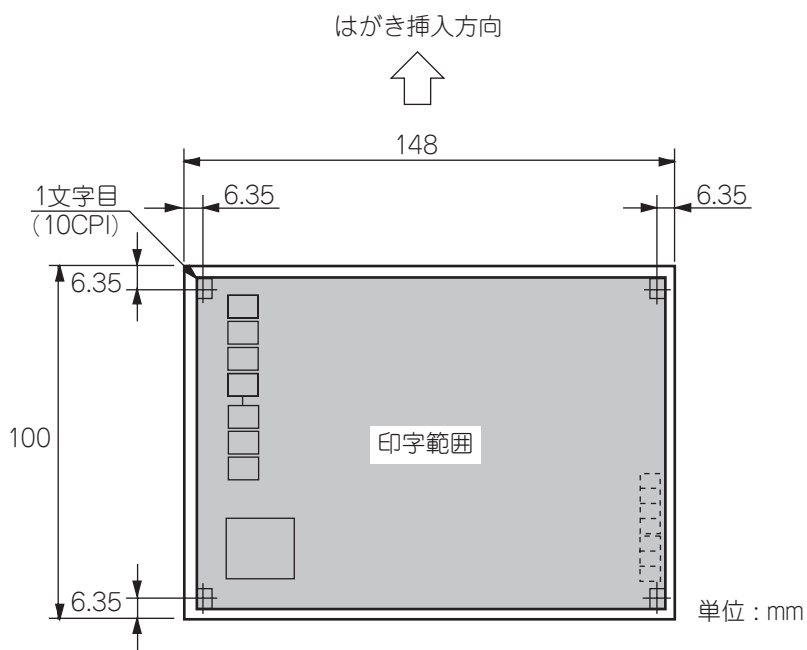
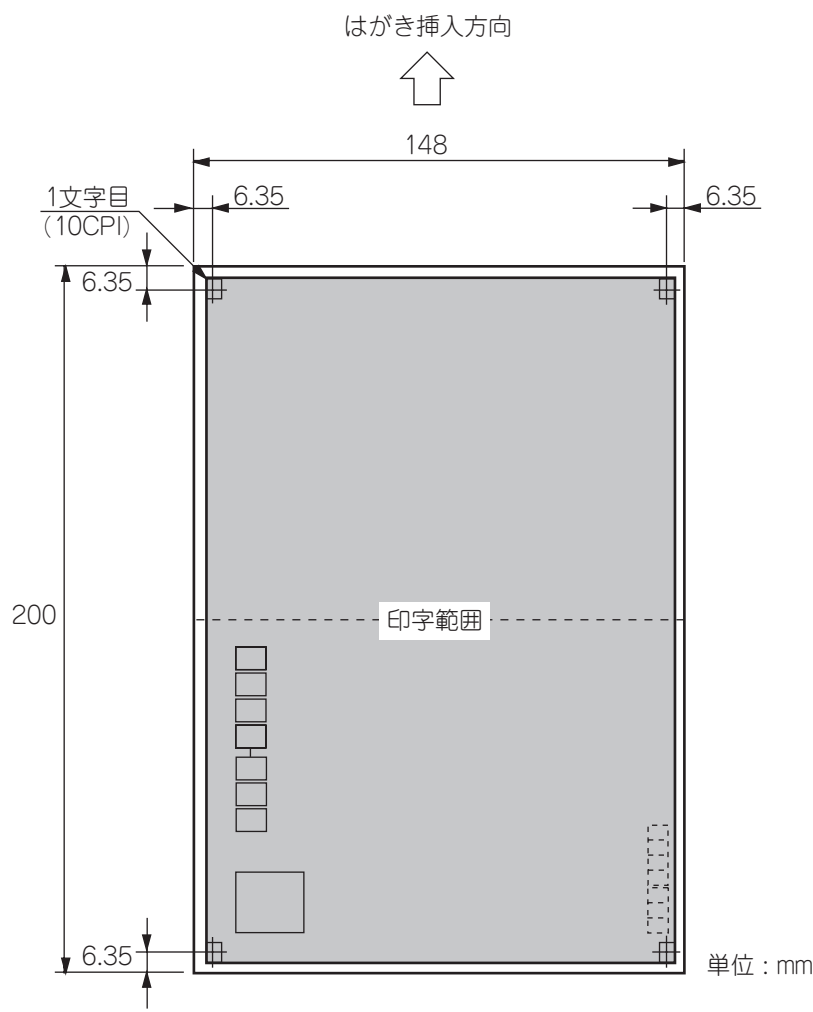
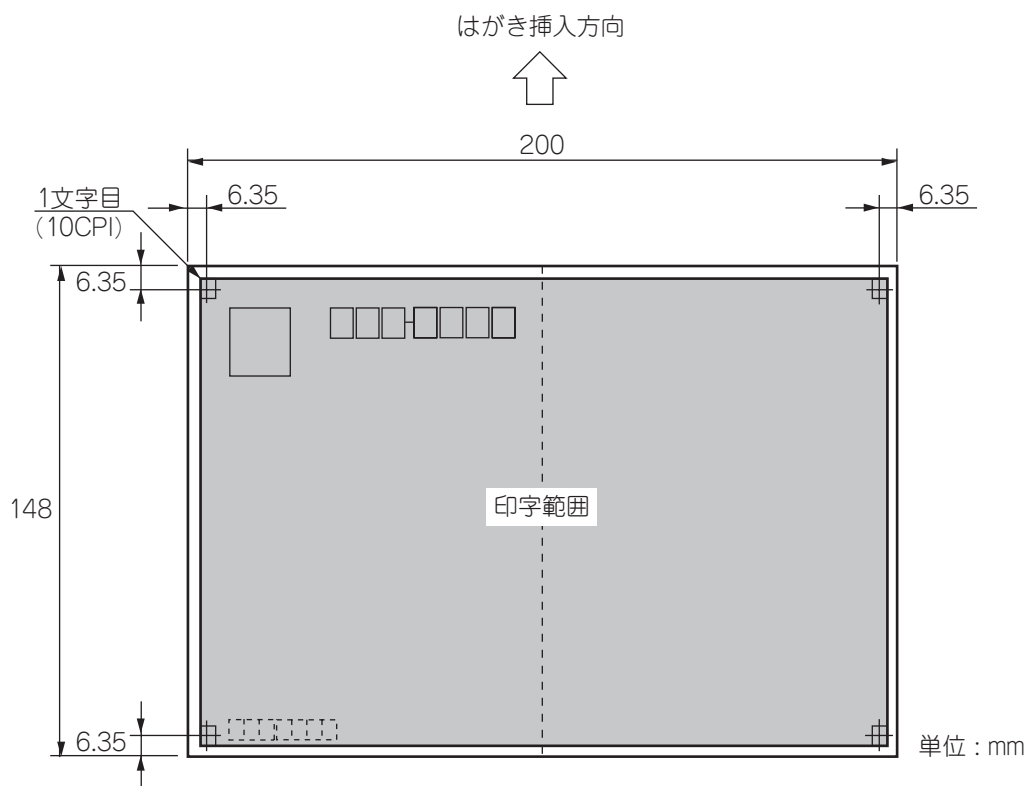
6.35

6.35

148

印字範囲

6.35

単位：mm

注 カットシートフィーダでは、往復はがき横挿入は使用できません。

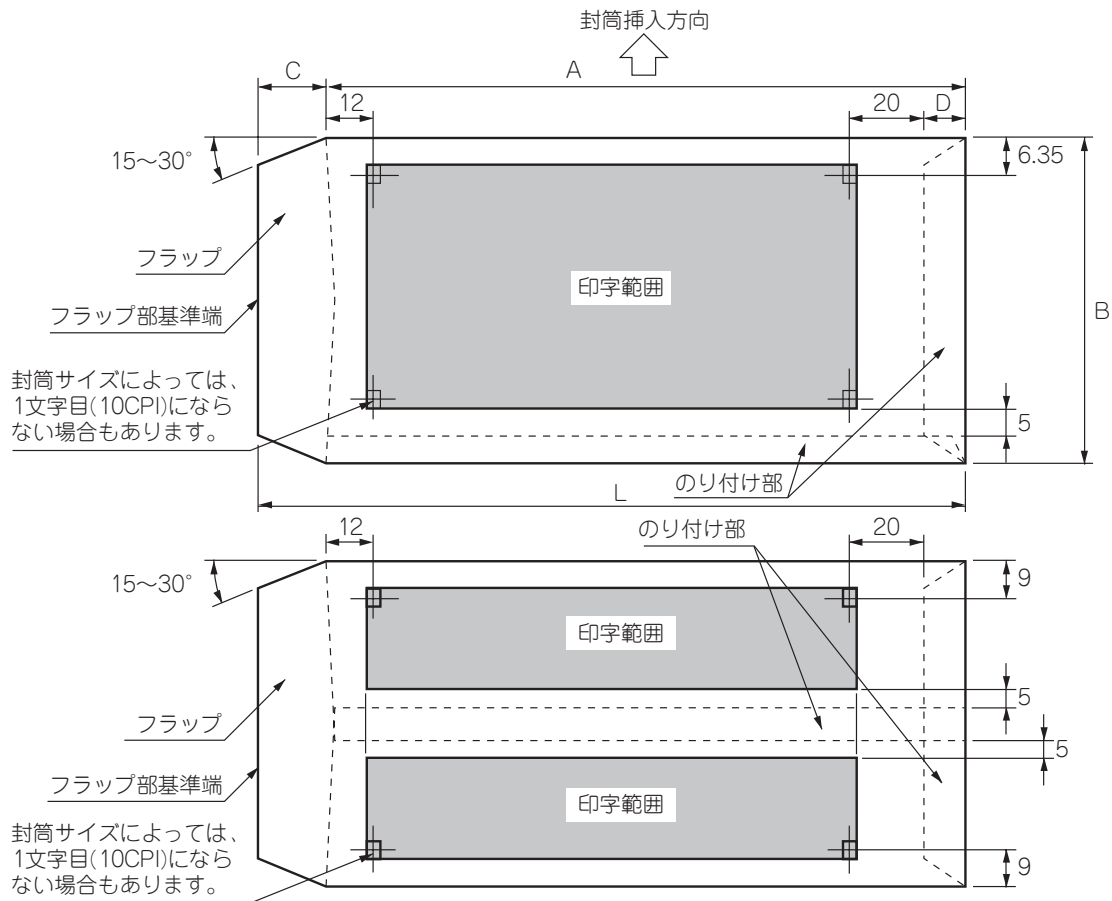
付録

◆使用はがき

郵便はがき
　坪量　190g/m^2（連量163kg相当）
　厚さ　0.23mm

- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは2mm以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。

●封筒

型＼寸法	A	B	C	D	L
長方形2号	277	119	15〜25	8〜20	292〜302
長方形3号	235	120	15〜25	8〜20	250〜260
長方形4号	205	90	15〜20	8〜20	220〜225
角形3号	277	216	15〜30	10〜20	292〜312
角形4号	267	197	15〜30	10〜20	282〜297
角形5号	240	190	15〜30	10〜20	255〜270
角形6号	229	162	15〜30	10〜20	244〜259
角形7号	205	142	15〜30	10〜20	220〜235
角形8号	197	119	15〜30	10〜20	212〜227

注✓

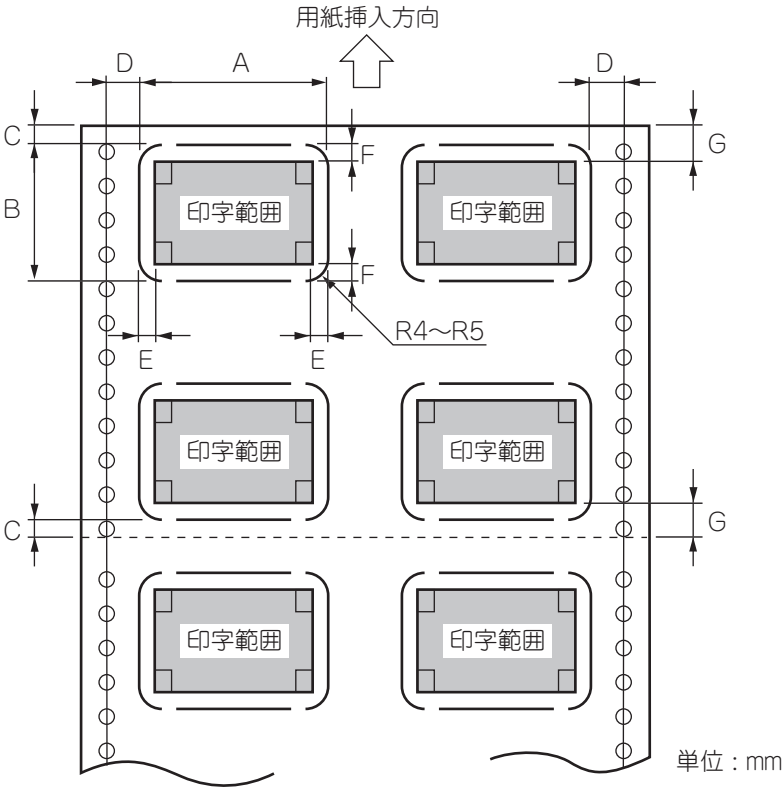
- 封筒は、JIS S 5502「封筒」に準拠した一重封筒とします。
- マニュァルギャップ調整で最大紙厚（中央重ね合わせ部）に合ったレンジを設定してください。（使用可能な封筒の最大紙厚は0.36mmです。）
- フラップ部基準端を有する形状のものを使用してください。
- 上端または下端でのり付けされている場合は、その面および前後各5mm以内での印字はさけてください。
- 破線部のくい込みが封筒肩より12mm以上の場合は、破線部の右側で印字を行ってください。
- 次のような封筒の使用は禁止します。
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップ部が折り返されている封筒
  - ・フラップ部にのり付け加工処理されている封筒
  - ・二重封筒
- 封筒ののり付け部近くまで印字した場合、印字範囲であってものり付け部の状態（特にエッジ部の折れ、ふくらみ）によっては印字汚れがつく場合があります。
- 用紙厚の調整をする場合、用紙厚は最大の箇所（中央重ね合わせ部）で合わせてください。（「用紙の厚さに応じた調整方法」100ページ参照）

●ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

注 ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。

◆用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」（175ページ）、「単票」（185ページ）の規格に準じますが、下記にラベル紙固有の条件を示します。

記号	名称	規格値
A	ラベル幅	50mm以上
B	ラベル長さ	25mm以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm（1/4インチ）以上　12.7mm（1/2インチ）以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	6.35mm（1/4インチ）以上
E	印字禁止範囲	3.81mm以上
F	印字禁止範囲	4mm以上
G	印字禁止範囲	10.58mm（5/12インチ）以上 印字精度保証は25.4mm（1インチ）以上

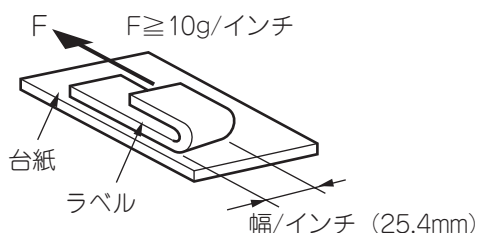
◆用紙連量

ラベルは上質紙で連量55kg、厚さ0.1mm以下。台紙ははくり紙で厚さ0.06〜0.08mm以下です。

◆最大用紙厚さ

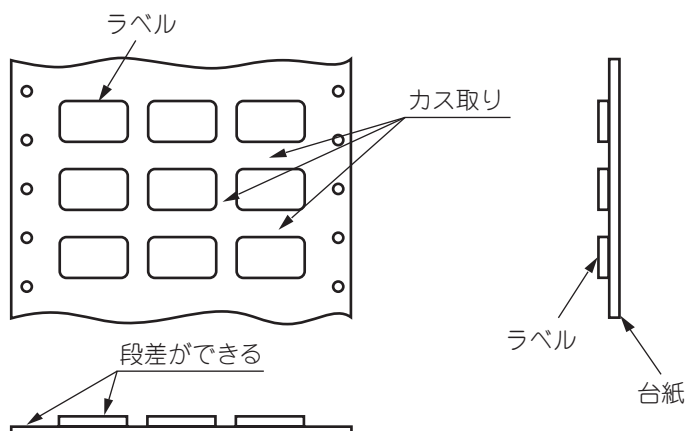
0.2mm

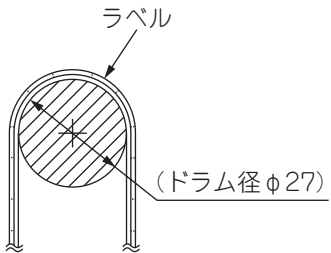
◆粘着剤

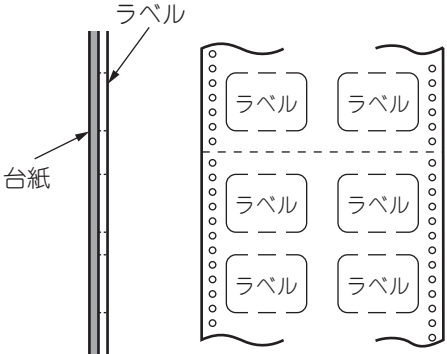
- はくり強度10g/インチ以上。
- 直径27mmの円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

◆カット

- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1〜2mmにはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に0.5〜1mm程度のアンカット部を設けてください。

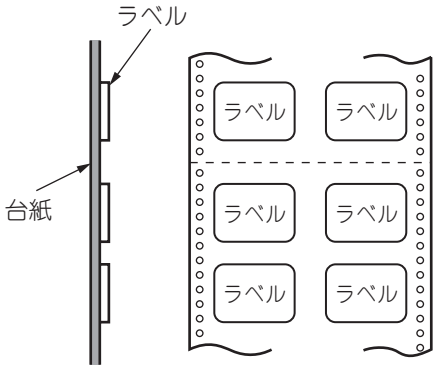
◆ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
［ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと］
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

- ラベル紙と台紙の厚さは、合計0.2mm以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも0.1mm以下とします。
- 直径27mmの円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。
  ラベルの貼付強度
  次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）

付録

●再生紙

再生紙は製造メーカや紙質により特性が異なりますので、ご使用に際しては以下の注意事項をご確認の上ご使用ください。

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。
- 再生紙は用紙の引張強度や剛性が弱いため、用紙ジャム率、用紙スキュー、重送率等が増加します。
- 再生紙は紙厚が厚くなる傾向がありますので、ホッパやカットシートフィーダへのセット枚数が減少します。

●宅配伝票

宅配伝票を使用する場合の注意点を示します。

- 用紙サイズおよび印字範囲は、連続紙および単票の規格に準じます。

- 複写能力、印字精度は保証外です。
- 厚さが不均一な伝票は、印字汚れやスキューの原因になりますので使用しないでください。

●和紙

注 和紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず、使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
オプションのカットシートフィーダはユニカ製ハイパー墨染和紙のみです。ただし、最後紙が重送する場合があります。また、和紙は湿度の影響を受けやすいため、以下に和紙使用時の注意点を示します。

- 湿度の影響を受けやすいため、高湿度の環境での使用は避けてください。
- 低湿度の環境では、静電気が帯電しやすいため、低湿度の環境での使用は避けてください。
- 和紙は紙粉が発生しやすいため、清掃は通常の清掃周期（稼働期間6か月または400時間）より短い周期で行ってください。

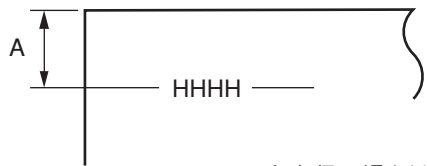
●印字規格

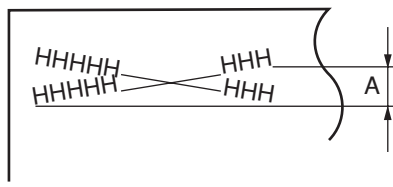
◆用紙の頭出し位置

自動給紙したときの用紙上端から1行目中心までの位置精度。

A
HHHH

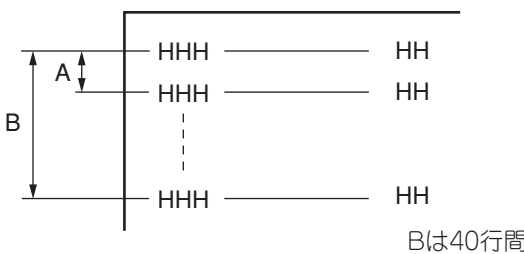
単位：mm

用　紙		A
連続紙	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2
単票	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2

- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

◆印字行の傾き

単位：mm

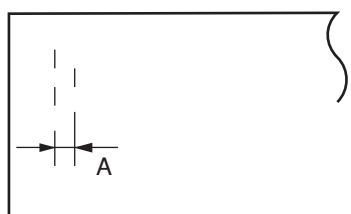
用　紙	文字数	A
連続紙	106	1.0以下
単票	60	1.5以下
郵便はがき	36	1.5以下

◆改行精度

Bは40行間

単位：mm

用　紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	±0.5	±1.0
	複写紙	±0.8	―――
単票	単紙	±0.5	±2.0
郵便はがき		±0.5	―――

◆縦罫線のずれ

単位：mm

印刷方向	A
片方向	0.15以下
両方向	0.3以下

◆連続複写紙の層間ずれ

5枚複写紙の1枚目と5枚目の印字ずれは2mm以下

Windowsプリンタドライバの印字範囲

Windowsプリンタドライバでは次に示す用紙サイズおよび印字範囲をサポートしています。

単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
A4	210.00	297.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A4 横	297.00	210.00	4.37	4.94	4.94	22.72
A3	297.00	420.00	4.37	4.94	4.94	22.72
A5	148.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5 横	210.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6	105.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6 横	148.00	105.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4	257.00	364.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B5	182.00	257.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B5 横	257.00	182.00	4.37	4.94	4.94	4.94
Letter	215.90	279.40	4.37	4.94	4.94	4.94
Legal	215.90	355.60	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき	100.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき 横	148.00	100.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき	200.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき 横	148.00	200.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 長形4号 横	205.00	90.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 長形3号 横	235.00	120.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 角形3号 横	277.00	216.00	4.37	4.94	4.94	4.94
10×11 ｲﾝﾁ	254.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
12×11 ｲﾝﾁ	304.80	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
10×5 ｲﾝﾁ *[1]	254.00	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
10.1×5 ｲﾝﾁ *[1]	256.54	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
10.5×5 ｲﾝﾁ *[1]	266.70	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
11×5 ｲﾝﾁ *[1]	279.40	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
12×1 5/6 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	46.57	4.37	0.00	17.78	17.78
12×2 1/5 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	55.88	4.37	0.00	17.78	17.78
12×2 1/2 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	63.50	4.37	0.00	17.78	17.78
12×2 3/4 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	69.85	4.37	0.00	17.78	17.78
12×3 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	76.20	4.37	0.00	17.78	17.78
12×3 1/4 ｲﾝﾁ *[2]	304.80	82.55	4.37	0.00	17.78	17.78
12×3 1/3ｲﾝﾁ *[2]	304.80	84.67	4.37	0.00	17.78	17.78
12×3 1/2ｲﾝﾁ *[2]	304.80	88.90	4.37	0.00	17.78	17.78
12×3 2/3ｲﾝﾁ *[2]	304.80	93.13	4.37	0.00	17.78	17.78

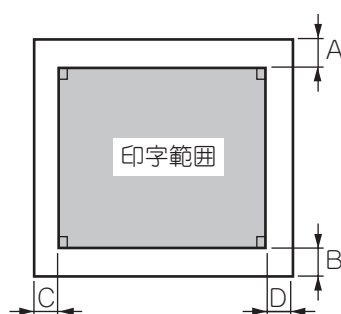
単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
12×4 ｲﾝﾁ *2	304.80	101.60	4.37	4.94	4.94	4.94
12×4 1/2ｲﾝﾁ *2	304.80	114.30	4.37	4.94	4.94	22.72
12×4 2/3ｲﾝﾁ *2	304.80	118.53	4.37	4.94	4.94	22.72
12×5 ｲﾝﾁ *2	304.80	127.00	4.37	4.94	4.94	4.94
12×5 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	139.70	4.37	4.94	4.94	4.94
12×5 2/3 ｲﾝﾁ *2	304.80	143.93	4.37	4.94	4.94	4.94
12×6 ｲﾝﾁ *2	304.80	152.40	4.37	4.94	4.94	4.94
12×6 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	165.10	4.37	4.94	4.94	4.94
12×6 2/3 ｲﾝﾁ *2	304.80	169.33	4.37	4.94	4.94	4.94
12×7 ｲﾝﾁ *2	304.80	177.80	4.37	4.94	4.94	4.94
12×7 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	190.50	4.37	4.94	4.94	4.94
12×8 ｲﾝﾁ *2	304.80	203.20	4.37	4.94	4.94	4.94
12×8 1/4 ｲﾝﾁ *2	304.80	209.55	4.37	4.94	4.94	4.94
12×8 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	215.90	4.37	4.94	4.94	4.94
12×9 ｲﾝﾁ *2	304.80	228.60	4.37	4.94	4.94	4.94
12×10 ｲﾝﾁ *2	304.80	254.00	4.37	4.94	4.94	4.94
12×10 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	266.70	4.37	4.94	4.94	4.94
12×11 1/2 ｲﾝﾁ *2	304.80	292.10	4.37	4.94	4.94	4.94
12×11 2/3 ｲﾝﾁ *2	304.80	296.33	4.37	4.94	4.94	4.94
12×12 ｲﾝﾁ *2	304.80	304.80	4.37	0.00	17.78	17.78
12×13 ｲﾝﾁ *2	304.80	330.20	4.37	0.00	17.78	17.78
12×14 ｲﾝﾁ *2	304.80	355.60	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦3inch *3	304.80	76.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦4inch *3	304.80	101.60	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦4.5inch *3	304.80	114.30	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦5inch *3	304.80	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦6inch *3	304.80	152.40	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦7inch *3	304.80	177.80	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦8inch *3	304.80	203.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦9inch *3	304.80	228.60	4.37	0.00	17.78	17.78

単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
連続紙 縦10inch *3	304.80	254.00	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦10.5inch *3	304.80	266.70	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦11inch *3	304.80	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦12inch *3	304.80	304.80	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦13inch *3	304.80	330.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦14inch *3	304.80	355.60	4.37	0.00	17.78	17.78
ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ *4	76.20	25.40	4.37	4.94	4.94	4.94

- *1、*2の用紙は、Windows3.1にはありません。*3の用紙をお使いください。
- *3の用紙は、WindowsMe/98/95/NT4.0/2000/XP/Server2003/Vistaにはありません。*1、*2の用紙をお使いください。
- *4の用紙はWindowsNT4.0/2000/XP/Server2003/Vistaにはありません。サーバのプロパティで作成してください。ユーザー定義サイズの寸法はデフォルト値です。用紙長25.40～421.60mm、用紙幅76.20～304.80mmの間で設定可能です。
- ユーザー定義サイズとサーバのプロパティは、用紙サイズを自由に指定できますが、「用紙規格および印字範囲」（173ページ）の範囲内で使用してください。
- Windows3.1のユーザ定義サイズは単票を前提にしておりますので、給紙方法をトラクタフィーダに指定できません。
- 用紙長検出のバラツキにより、ボトムマージンに誤差を生じる場合があります。各アプリケーションソフトウェアにおけるボトムマージン値の設定においては、9mm以上を推奨します。
- 封筒を使用する場合のマージン値については、「用紙規格および印字範囲」●封筒（196 ページ）に合わせて調整してください。
- *2、*3の用紙は、用紙幅をすべて12inchに設定しております。使用する場合には「用紙規格および印字範囲」●連続紙（スプロケット紙）（175ページ）を参照のうえ、規格範囲内でライトマージンを適宜設定してください。
  また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションソフトウェアによりヘッダ、フッダの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションソフトウェアでヘッダ、フッダの位置を調整して印刷してください。

付録

文字コード表、コントロールコマンド一覧表について

ANK文字コード表、漢字コード表、コントロールコマンド一覧表、拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

消耗品およびオプション品の紹介

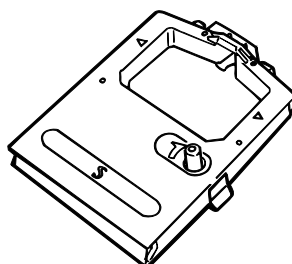
これらの消耗品およびオプション品は、販売店にて、型名を指定のうえ、お求めください。

●消耗品

◆リボンカートリッジ

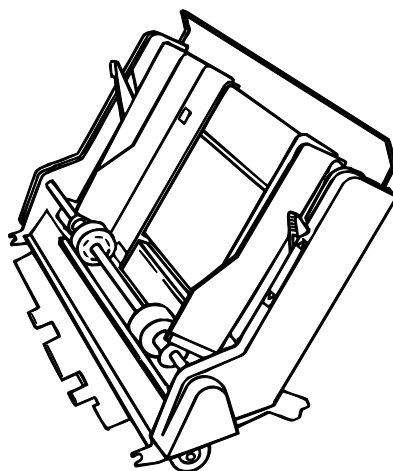
注 リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

リボンカートリッジの寿命は、約200万字（高速度ANK）です。ただし、包装を解いたり、長時間放置していると短くなります。また、印字が薄くなったり、ほつれたりした場合は、早めに交換してください。リボンカートリッジは製造年月1年以内に使用してください。

型名 : RN6-00-004（6個組）

●オプション品

◆カットシートフィーダ（CSF）

単票、はがきおよび封筒を自動給紙します。

型名 : ML5350SCSF

ユーザサポートサービスについて

●保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守期間中であっても有償になります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください)
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

●最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

●プリンタのご相談と修理について

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど、プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音させていただいております。

お客様相談センター　　0120-654-632

（携帯電話からは03-5846-5921）

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00月曜日～金曜日

9 : 00 ～ 17 : 00土曜日

(但し　祝日、年末年始等を除く)

※ 月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※ 上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは(株)沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

(個人情報の取り扱いについて)

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号などの保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿＿購入日: ＿＿年＿＿月

追加オプション：　なし　あり（　　　　　　　　）

コンピュータ環境

□ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿

□ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿＿

接続方法

□ パラレル	□ USB	□ RS232C	□ ネットワーク
□ TCP/IP	□ IPX/SPX	□ Ethertalk	□ NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

アプリケーション

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

●消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

●プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

●使用済みリボンカートリッジの回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

受付 No.　:
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

イメージドラムカートリッジ　：　　個
トナーカートリッジ　：　　個
廃棄トナーボックス　：　　個
ベルトユニット　：　　個
定着器ユニット　：　　個
インクリボンカートリッジ　：　　個
その他マイクロライン消耗品　：　　個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】

まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185
フリーダイヤル 0120-640991（携帯電話からもご利用いただけます）
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

付録

索　引

【数字】

【D】

【H】

【M】

【W】

【あ】

【い】

【お】

【か】

【こ】

索引

【し】

【せ】

【そ】

【た】

【つ】

【て】

【は】

【ふ】

【ほ】

【め】

【も】

【や】

【よ】

【ら】

【り】

【れ】

索引

MICROLINE 5350SE

ユーザーズマニュアル

発行日　2009年 4月　第10版

発行者　株式会社 沖データ

40695003EE

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）